

別添 6. 政府統計能力向上計画フェーズ 1 終了時評価表

1. 案件の概要	
国名：カンボジア	案件名：政府統計能力強化計画
分野：統計	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：社会開発部第一グループ社会制度・平和構築チーム	協力金額（評価時点）：1.8 億円
協力期間	2005 年 8 月～2007 年 3 月
	先方関係機関：計画省統計局
	日本側協力機関：総務省統計局
	他の関連協力：I CONS 国際協力株式会社 (財) 日本統計協会
<p>1-1 協力の背景と概要</p> <p>カンボジアの政府統計は、長期間に亘った内戦の影響から極めて整備が遅れていたが、1990 年代に入ってから国連等の支援により、徐々に整備が進められてきた。しかし、カンボジアの政府統計は、依然、体制整備が遅れており、統計の精度もドナー国や国際機関等から疑問視されていることも多い。また、カンボジアでは、新統計法が 2005 年 5 月、国王の署名を得て成立し、計画省統計局(NIS)の各種統計調査に対する実施権限が更に大きくなった。一方、能力的及び資金的な問題から、NIS は援助機関の協力なしには人口センサスを始めとする各種統計調査を実施することが困難な状況が続いている。</p> <p>このような状況のもと、カンボジア側は、NIS 及び計画省州事務所統計課(NIS の指示による州内の統計調査の実施、村およびコミュニティのデータ収集等を担当)の人材育成、及び国民経済計算のための経済統計の改善、及び 2008 年に実施が予定されている人口センサスへの技術的支援に係る技術協力プロジェクトを要請した。</p> <p>2005 年 5 月に JICA は事前評価調査を実施し、早急に必要とされている政府統計の精度の向上のために、NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び関係省庁統計担当職員に対して政府統計に関する研修を実施し、統計能力を向上することを目的とするプロジェクトを開始することに NIS と合意した。一方、NIS から要請のあった 2008 年人口センサスに対する技術協力およびこれを通じた人材育成の部分については、事前評価調査時点で、その詳細計画の作成が遅れていること、ドナーからの拠出金額が不足していること等が明らかになったため、2008 年人口センサスの実施が確定した後で、R/D の改訂または次期フェーズを検討し、その部分の協力を含むことで合意した。</p>	
<p>1-2 協力内容</p> <p>(1) 上位目標</p> <p>センサス及び政府統計調査が定期的かつ正確に実施され、政策策定者、行政官、学者、NGO 及び一般ユーザーに対して、適時に、より信頼性の高い統計データが提供される。</p> <p>(2) プロジェクト目標</p> <p>NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び主要関係省庁統計担当職員の政府統計に関する能力が向上する。</p>	

(3) 成果

1. NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び主要関係省庁統計担当職員の基礎統計に関する知識と能力が向上する。
2. NIS 職員の統計調査企画に係る能力が向上する。
3. NIS 職員の統計調査に係る集計技術が向上する。
4. NIS 職員が統計調査の分析手法を習得する。
5. 統計調査結果の提供が促進され、統計調査の結果が主要官庁により利用される。
6. 経済統計調査結果が適切に評価され、事業所調査に係る NIS の能力が向上する。
7. 主要州の統計担当職員の統計に係る能力が向上する。

* 投入実績、プロジェクト活動実績は、参考資料 1 の「技術協力プロジェクト活動報告書」参照

2. 評価

(1) 妥当性

以下により本プロジェクトの妥当性は高かったと判断される。

カンボジアでは、社会経済開発計画、国家貧困削減戦略、カンボジア・ミレニアム開発目標等の国家の基本的な政策を掲げており、これらの政策を的確に立案・実施するためには精度の高い政府統計が必要とされている。本プロジェクトでは、開発指標の設定や開発政策を立案する際に重要な政府統計の精度向上及び分析能力向上のために、NIS、計画省州事務所統計課及び関係省庁統計担当部局の人材育成を実施し、カンボジアのニーズに合致したものである。統計分野の人材育成は、国別事業実施計画の重点課題「グッド・ガバナンスの推進」の一部である政府統計機能強化プログラムの目的とも合致している。更に、本プロジェクトは 2008 年人口センサス実施前の準備期間として、カンボジアの統計担当の公務員の人材育成及び能力向上を目指したものであり、2006 年 1 月に人口センサス令が施行され、人口センサスの実施が法的に確定したことから、実施時期についても適切である。

(2) 有効性

以下により本プロジェクトの有効性は高いと判断される。

本プロジェクトでは、政府統計に関する一連の研修を NIS 職員 225 人中 102 名、計画省州事務所統計担当職員 84 名、及び主要関係省庁統計担当職員 110 名に対して実施し、また、統計情報処理に関する研修（パソコン等を用いた研修）を NIS 職員 110 名、計画省州事務所統計担当職員 29 名、及び主要関係省庁統計担当職員 68 名に対して実施した（参考資料 1、2）。研修前後に全ての研修受講者に実施する理解度テストにおいて、研修前の理解度は平均 43.5%、研修後の理解度は平均 71.4%であり、研修受講後に 27.9%理解度が上昇している。同結果は、NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員、及び主要関係省庁統計担当職員の政府統計に関する能力が大幅に向上したことを示しており、政府統計の精度を向上させるための人材が育成され、プロジェクト目標の達成へ大きく貢献した（参考資料 1）。

研修は、講義形式のみならず、調査区設定、及び事業所リスティングについては OJT を積極的に取り入れたことが研修受講者の理解度を深めることにつながった。また、研修効果を上げるために、研修受講者のレベルに応じて、統計研修を初級、中級及び上級の3つのコースに分けて実施した。

商業省統計課、及び観光省統計課の統計課長及び研修受講生に対するヒアリング調査では、両省庁とも研修に満足しているとの回答であった（参考資料4）。また、Kampong Thom 州計画局統計課、及び Pursat 州計画局統計課に対するヒアリング調査では、研修に満足しているとの回答であった（参考資料5）。

但し、地方及び関係省庁においては、パソコン等の基本的機材が不足おり、電気や施設等の機材を配置する環境が整っていないため、主要州の統計担当職員、及び関係省庁統計担当職員の研修後の大幅な能力向上については、今後の課題である。

（3）効率性

本プロジェクトでは、概ね予定どおり短期専門家 16 名を投入し、統計研修の講師となる能力のある NIS 職員を通訳として統計研修を実施しながら必要な技術移転を行い、今後は NIS 職員が中心となって統計研修を実施することが可能となり、効率性は高かったと判断される。

また、総務省統計局に NIS 職員 3 名を派遣し、さらに、インドネシア中央統計庁に NIS 職員 2 名を派遣して講師育成に努めた。これにより、21 名の NIS 職員が講師として育成された。

機材供与についても、統計研修の開始に合せて、適切な規模の研修室（最大 40 名まで受講可能）を整備した上で、受講者 1 人に対してパソコン 1 台の環境を実現し、統計研修の効率性を向上させた。

一方、NIS の慢性的な予算不足は国家全体の課題として残っており、予算的な面から NIS が単独で統計研修を実施することは、現時点では困難であると判断される。

3. 特記事項（提言・教訓等を含む）

（1）本プロジェクトでは、統計研修の実施のみならず、調査区設定や調査票作成への支援等、2008 年人口センサスに対する技術協力も併せて実施した。NIS は 2008 年人口センサスに対する支援を強く要望していることから、カンボジア側のニーズに極めて合致した技術協力であり、本プロジェクトのフェーズ 2 の円滑な実施に大きく貢献するものである。

（2）本プロジェクトの外、NIS の統計センター建設に対するノンプロジェクト無償資金協力見返り資金の使用申請が承認され、すでに着工されている。統計センターは、2008 年人口センサスの集計や研修に利用されるので、本プロジェクトのフェーズ 2 の円滑な実施に大きく貢献するとともに、長期間にわたって、NIS の集計、研修等の円滑な実施に寄与するものと判断される。

（3）本プロジェクトは、官民合同型のプロジェクトであり、官民それぞれの長所を生かしつつ、効率的に実施された。これが、本プロジェクトの成功に大きく貢献した要因の 1 つである。

(4) なお、本プロジェクトで作成した GIS 地図を活用するためのマニュアルは、電力プロジェクトにおいても活用されている。

4. 添付書類

- (1) 技術協力プロジェクト活動報告書 (参考資料 1)
- (2) PDM 評価指標表暫定版 (参考資料 2)
- (3) 各省庁からのヒアリング (参考資料 3-1~3-4)
- (4) 州計画局統計課からのヒアリング (参考資料 4-1~4-7)

独立行政法人国際協力機構

カンボジア国
政府統計能力向上計画
プロジェクト
技術協力プロジェクト活動報告書

平成18年11月

I C O N S 国際協力株式会社
財団法人日本統計協会

目 次

通貨換算率	
報告書概要	
第1章 プロジェクトの概要	1-1
第2章 業務の実施方法	2-1
2.1 直営専門家による業務内容	2-1
2.2 法人一括契約専門家による業務内容	2-1
2.3 本プロジェクトの活動における特記事項	2-13
2.4 活動実績	2-14
2.5 業務実績人月表	2-15
2.6 当初計画との変更点及びその理由	2-17
第3章 業務関連事項	3-1
3.1 技術移転実施方法	3-1
3.2 カウンターパート研修実績	3-1
3.3 現地業者再委託業務内容	3-2
第4章 技術移転の成果	4-1
4.1 政府統計研修の実施	4-1
4.2 政府統計研修に伴う成果品	4-3
4.3 現時点における成果指標測定結果	4-4
第5章 業務実施機材の供与品目リスト	5-1
第6章 合同調整委員会開催記録	6-1
第7章 今後の案件実施スケジュール	7-1
第8章 プロジェクト実施に関する特記事項	8-1
第9章 収集資料一覧表	9-1

別添 1 直営短期専門家 派遣報告書（第1回～第6回）

参考資料 1	第1回 JCC ミニッツ
参考資料 2	第2回 JCC ミニッツ
参考資料 3	政府統計研修プログラム
参考資料 4	調査区設定作業マニュアル
参考資料 5	本プロジェクトにおける成果指標
参考資料 6	NIS の統計調査に係るセミナー 議事次第
参考資料 7	セミナーにおける井上専門家発表内容
参考資料 8	政府統計研修におけるテスト・アンケート（例）
参考資料 9	事業所リスティング実習マニュアル
参考資料 10	電子地図サンプル

通貨換算率

2005年11月：	1米ドル=116.75円
2005年12月：	1米ドル=120.68円
2006年1月：	1米ドル=119.07円
2006年2月：	1米ドル=118.75円
2006年3月：	1米ドル=117.27円
2006年4月：	1米ドル=116.47円
2006年5月：	1米ドル=114.576円
2006年6月：	1米ドル=112.172円
2006年7月：	1米ドル=116.321円
2006年8月：	1米ドル=114.658円
2006年9月：	1米ドル=116.937円

報告書概要

報告書概要

1. 「カンボジア国政府統計能力向上計画」(以下、本プロジェクト)は、独立行政法人国際協力機構(以下、「JICA」)から派遣された4名の直営短期専門家(統計/チーフアドバイザー等)と11名の法人一括契約による専門家派遣、本邦研修により構成され、2005年8月より2007年3月までの予定で実施されている。

カウンターパート機関はカンボジア国計画省統計局(National Institute of Statistics、以下、「NIS」)である。本プロジェクトでは、カンボジア政府の統計関係職員(NIS職員、計画省州事務所統計担当職員並びに関連省庁職員)を対象に政府統計研修を開催するとともに、研修実施に関連した各種作業を行った。また、人口センサス及び事業所調査の実施に向けた実習を支援した。

2. 政府統計研修として、2006年9月までに以下の16コースを、カンボジア政府の統計関係職員延べ477人に対して実施した。
 - 政府統計基礎研修(第1回)
 - 政府統計基礎研修(第2回)
 - 政府統計基礎研修(第3回)
 - 統計調査企画研修(調査企画全般)
 - 統計調査企画研修(統計調査集計手法)
 - 統計調査企画研修(標本抽出法)
 - 統計調査集計研修(第1回)
 - 統計分析研修(第1回)
 - 統計分析研修(第2回)
 - 統計分析研修(第3回)
 - 統計利用手法研修(第1回)
 - 統計利用手法研修(第2回)
 - 調査結果利用研修(第1回)
 - 地域統計利用研修(第1回)
 - 地域統計利用研修(第2回)
 - 地域統計利用研修(第3回)

その他、研修実施に関連する作業として、「研修用教材の作成」、「研修評価」並びに「統計調査結果分析用システムの構築」を実施した。

3. 2008年に実施予定の人口センサスに向けたドナーとの連携強化を目的として、NIS主催の各種会議の場などにおいて、国連人口基金(以下、UNFPA)カンボジア事務所の担当者とともに実施した。第二年次における人口センサス準備作業は、JICAが調査区設定を、UNFPAが調査票設計及び試験調査をそれぞれ支援するとの役割分担で作業を行うこととなった。JICAは30名のNIS職員による調査区設定フィールドワークに加えて、14名のNIS職員による電子地図作成実習を

支援している。JICA 専門家は、UNFPA が主に支援している調査票設計にもアドバイスをしている。

4. 経済統計の強化に向けて、プロジェクトではプノンペン特別市における製造業等の事業所のリストニング作業を行うことにより、同市における網羅性のある事業所名簿を作成することとなり、20名のNIS職員等による調査実習を行っている。
5. 第一年次では、本邦研修（「Counterpart Training on Official Statistical System in Japan」）として、NIS職員3名に対して2006年1月28日から2月26日まで、日本における主要統計調査（国勢調査、事業所調査、労働力調査など）の実施方法及び分析・提供方法に関する研修を実施した。
6. 第二年次前半作業までの政府統計研修では、受講者の理解度は開始時と終了時で比較して平均64%向上するなど、研修参加者に専門知識の習得度に一定の成果が確認した。引き続き第二年次後半作業においても同研修は実施予定であるが、本プロジェクトの第1フェーズが同作業をもって完了予定となったことから、研修補佐を担当するNIS職員がNISにおける今後の研修を中核となって担えるよう、その能力向上を支援していく必要がある。また、引き続き、人口センサス及び事業所調査の実施に向けた実習を実施する。

本 文

第1章 プロジェクトの概要

カンボジア国の政府統計は、長期間に亘った内戦の影響から極めて整備が遅れていたが、1990年代に入ってから国連等の支援により、徐々に整備が進められてきた。1998年には、UNFPAの支援により、36年ぶりに人口センサスが実施され、統計整備の重要な第一歩となった。しかし、政府統計は依然として体制整備が遅れており、統計の精度もドナー国や国際機関等から疑問視されていることも多かった。また、開発指標の設定や支援効果の指標設定（Millennium Development Goals [MDGs]等の関連）等、開発政策を立案する際にも政府統計の精度が障害になっており、統計分野の組織強化や人材育成は重要であり、緊急な課題であった。

同国では、NISの各種統計調査に対する実施権限を拡大すべく新統計法草案が2003年に閣僚評議会を通過し、国会における審議を経て、2005年5月に国王の署名を得て新統計法（Statistics Law）が成立した。また、2008年には人口センサスの実施を計画している。人口センサスは国の基本統計の基盤をなすものであるが、援助機関の協力なしには能力的及び資金的に実施が困難な状況である。同様に、労働統計分野では労働力人口調査、経済統計分野では事業所調査、製造業生産調査等に関して、2001年まではアジア開発銀行（ADB）の支援により計画省統計局が主要省庁との連携体制を取りつつ調査を実施してきたが、ADBの支援が終了したことにより、援助機関の協力なしには実施できない状況にある。したがって、計画省統計局は、人口センサス分野のほか、経済統計分野においても人材育成を図りたいとしてきた。

そこで、本プロジェクトは、カンボジア国において早急に必要とされている政府統計の精度向上のために、NIS職員、計画省州事務所統計担当職員及び関連省庁職員に対して政府統計に関する研修を実施し、統計能力を向上することを目的として、2005年10月に開始された。本プロジェクト開始時は、2008年人口センサスの実施が確定していなかったため、第一年次（2005年10月～2006年3月）はNIS職員、計画省州事務所統計担当職員及び関係省庁統計担当職員に対し、政府統計に関する基礎研修を主に実施した。その上で、人口センサス実施の確定後にJICAとしての協力方針を検討することとされていた。

2006年2月、NISが人口センサスに関するナショナル・ワークショップを主催し、その場においてカンボジア国政府が2008年人口センサスの実施を正式に確定したことを踏まえ、本プロジェクトにおいても人口センサスの準備に関する実習を行った。また、2006年3月NIS及びUNFPAと人口センサス準備に関する役割分担について協議した結果、JICAは調査区設定作業実習に関する支援を主に担当する一方、UNFPAが試験調査、調査票作成等の作業を支援することを要請された。本プロジェクトの業務従事予定者には、総理府統計局（当時）において調査区設定作業に関する企画・実施を実施した経験があるなど当該分野に精通した者がいる上に、JICAは「カンボジア国地理情報整備調査」（2001～2003年）を実施するなどGISを利用した地図整備に取り組んでおり、当該作業でもその成果を活用できることから、この役割分担は妥当であった。

人口センサスの準備に関する研修実施にあたっては、本プロジェクトの政府統計研修の成果がその準備作業にも直接的に貢献するよう、実習に重点を置く研修（OJT：On the Job Training）を増やすほか、第一年次の経験に基づいて、研修プログラム全般についても日常業務の多忙な基幹的職員の参加を可能にするよう、研修内容、受講期間、受講者数及び選定基準等に関して必要な変更を加えた。

第2章 業務実施方法

本プロジェクトにおける業務実施プロセスを図2-1に示す。

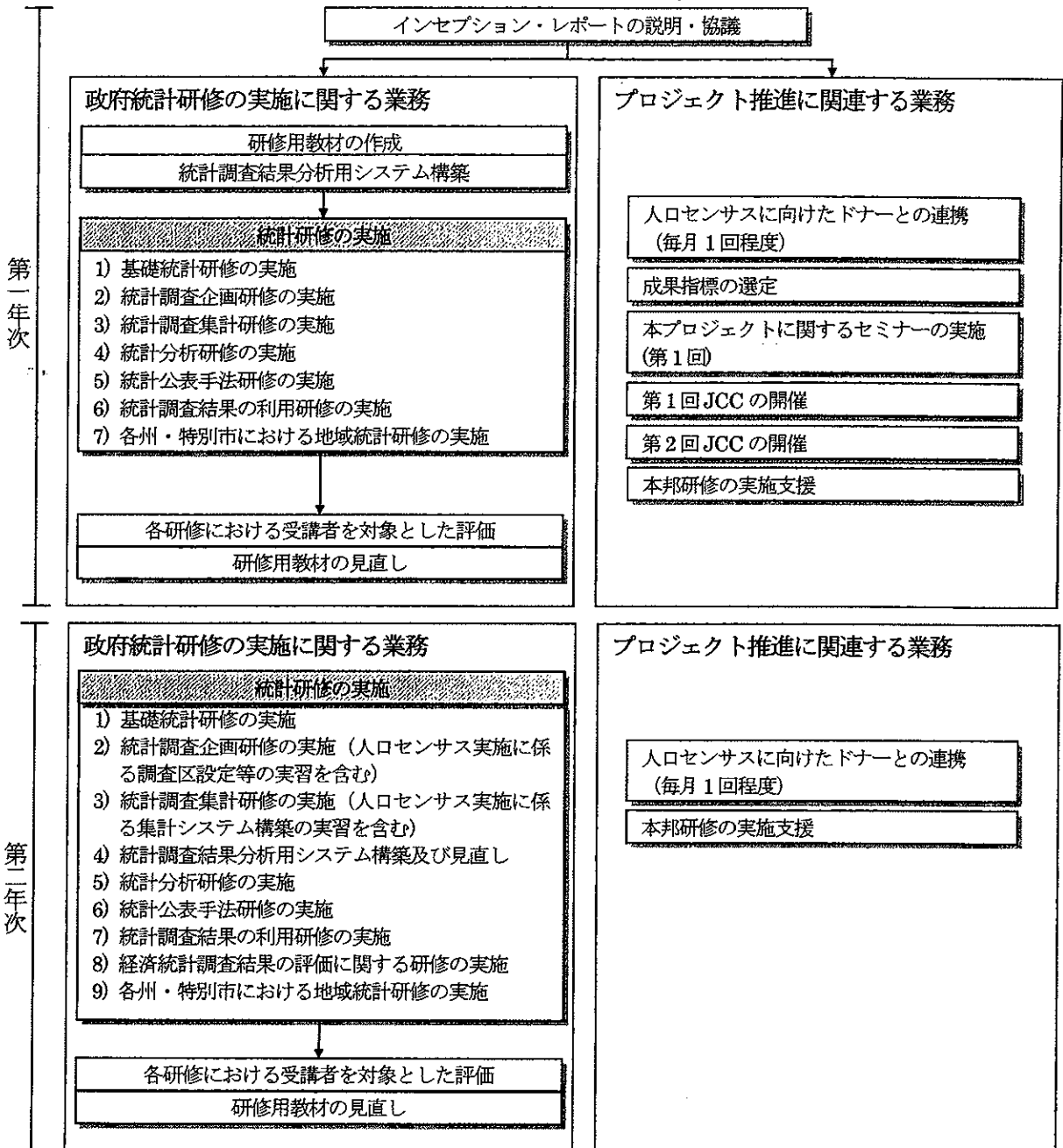


図2-1 本プロジェクトにおける業務実施プロセス

第一年次では、2005年11月にインセプションレポートの説明・協議を行い了承を得て、2005年11月10日より2006年3月14日まで一連の政府統計研修として、統計関係職員（NIS職員、計画省州事

務所統計担当職員並びに関連省庁職員)を対象に7種類(計8コース)の研修を開催した。各コースの講師を担当する各専門家は、準備作業並びに終了後の作業として、研修用教材の作成及び見直し、各研修における受講者を対象とした評価をそれぞれ実施した。また、政府統計研修の1コースである統計分析研修に関連して、統計調査結果分析用システム構築を行った。

その他、本プロジェクトの推進に関連する業務としては、合同調整委員会(Joint Coordinating Committee、以下「JCC」)を2005年11月と2006年3月に実施したほか、本プロジェクトに関するセミナーの実施、成果指標の設定並びに人口センサスに向けたドナーとの連携を実施した。

第二年次前半現地作業では、第一年次に引き続き政府統計研修を開催するとともに、2006年3月の第2回JCCでの承認内容通り、人口センサス及び事業所調査関連の実習を実施することとし、2006年5月にインセプションレポートの説明・協議を行い了承を得た、2006年5月29日より8月18日まで一連の政府統計研修として、統計関係職員(NIS、計画省各州統計事務所並びに主要関係省庁の統計関係部局に所属する者)を対象に6種類(計8コース)の研修を開催した。各コースの講師を担当する各専門家は、準備作業並びに終了後の作業として、第一年次に作成した研修用教材の見直し、各研修における受講者を対象とした評価をそれぞれ実施した。また、政府統計研修の1コースである統計分析研修に関連して、統計調査結果分析用システムの修正作業を実施した。

その他、人口センサスに向けたドナーとの連携として、カンボジア政府主催によるNational Census Committee(以下、「NCC」)及びCensus Technical Committee(以下、「CTC」)の場を利用するなどして、人口センサス準備作業に関する報告、人口センサス実施に関する技術面の検討、ドナー間の技術協力内容の分担等の検討を行った。

2.1 直営専門家による業務内容

別添1参照。

2.2 法人一括契約専門家による業務内容

ほぼ業務計画書に従い実施された。以下に実施状況を述べる。

2.2.1 第一年次

(1) インセプションレポートの説明・協議

2005年11月2日及び3日に、NIS側のプロジェクトリーダー(San Sy Than 局長)、プロジェクトマネージャー(Has Bunton 局次長)並びにカウンターパートに対して、インセプションレポートの説明・協議を行い、原案通り第一現地作業における政府統計研修並びにその他の業務を行うことが了承された。その際、San Sy Than 局長より、カンボジア統計局ではこれまでに例を見ない大規模かつ包括的な統計研修が実施されることに対して、JICA並びに専門家への謝意が表明されるとともに、NIS職員だけでなく計画省州事務所統計担当職員及び関連省庁職員への研修を拡充するように要請された。インセプションレポートは、2005年11月11日に開催された第1回JCCにおいて最終的に承認された(詳細は、「5.1 相手国との会議議事録」を参照のこと、また第1回JCCのミニッツは「参考資料1. 第1回JCC ミニッツ」を参照のこと)。

以上の検討を踏まえて、政府統計研修の各コースのうち「政府統計基礎研修」、「統計調査企画研修」、「統計調査集計研修」、「統計分析研修」並びに「統計利用手法研修」に関して、対象者を「計画省州事務所統計担当職員及び関連省庁職員」とすることとした。

【政府統計研修の実施に関する業務】

(2) NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び関連省庁職員に対する基礎統計に関する研修の実施

政府統計に関する基礎的な知識に関する研修を、NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員並びに関連省庁職員を対象に7週間ずつ、2グループ(受講者はともに43人)に対して実施した。第1回は2005年11月10日から2006年1月27日までのうち計7週間、第2回は2005年11月21日から2006年1月13日までのうち計7週間開催した。当コースにおいて開講した講義は以下の通りである(詳細については「参考資料3. 政府統計研修プログラム」を参照のこと)。

- 政府統計概論(政府統計概論並びに統計調査論):2週間(玄羽専門家)
- 統計利用の基礎(基礎数学、基礎統計):2週間(西村専門家)
- 政府統計とその利用(人口・社会統計、経済統計、国民経済計算等):1週間(井上専門家)
- 統計利用の手段(パソコンの使い方、Word及びExcelの基礎):2週間(柴沼専門家)

当コースにおいては、受講者に政府統計に関する知識・経験の少ない職員が多いことに特に留意し、講義資料のうち特に概念的な説明の多い部分をクメール語に翻訳した。

(3) NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び関連省庁職員に対する統計調査企画に関する研修の実施

統計調査の企画に関する研修について、NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員並びに関連省庁職員の計32人を対象に計6週間の研修コースのうち前半4週間分(2006年2月14日から3月10日まで)を実施した。当コースにおいて開講した講義は以下の通りである(詳細については「参考資料3. 政府統計研修プログラム」を参照のこと)。

- 標本抽出法、統計品質管理:2週間(大戸専門家)
- 統計調査企画並びに統計調査実務:2週間(井上専門家)

(4) NIS 職員に対する統計調査集計に関する研修の実施

データ処理、プログラミングなどの技術や結果表作成など集計に関する研修を、NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員並びに関連省庁職員の33人を対象に8週間(2005年12月19日から2006年2月10日まで)実施した。当コースにおいて開講した講義は以下の通りである(詳細については「参考資料3. 政府統計研修プログラム」を参照のこと)。

- 統計調査集計手法:1週間(伊藤専門家)
- 集計プログラム(Visual Basic、CSPro[人口センサス集計用言語])並びにネットワーク管理:4週間(高津専門家)
- Excelによる簡易集計技術:2週間(井上・柴沼両専門家)
- Accessによる簡易集計技術:1週間(柴沼専門家)

(5) NISにおける統計調査の結果分析用のシステムの構築および研修の実施

統計調査の結果を分析するためのシステムを Excel にて設計・構築した上で、当該システムを利用した統計分析に関する研修を、NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員並びに関連省庁職員の 33 人を対象に 12 週間の研修の前半 4 週間分（2006 年 2 月 15 日から 3 月 14 日まで）を実施した。当コースにおいて開講した講義は以下の通りである（詳細については「参考資料 3. 政府統計研修プログラム」を参照のこと）。

- 人口・社会統計分析：4 週間（早瀬専門家）

(6) NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び関連省庁職員に対する統計調査の結果利用に関する研修の実施

統計調査結果の活用を促すため、報告書・CD やホームページ等を用いた編集に関する研修を、NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員並びに関連省庁職員の 33 人を対象に 7 週間（2005 年 12 月 26 日から 2006 年 2 月 10 日まで）の研修を実施した。当コースにおいて開講した講義は以下の通りである（詳細については「参考資料 3. 政府統計研修プログラム」を参照のこと）。

- 統計編集（統計調査報告書編集並びに総合統計書編集）：2 週間（大友専門家）
- 統計地図：2 週間（阿部専門家）
- 統計グラフ：1 週間（井上専門家）
- 発表手法・ウェブコンテンツ編集（PowerPoint、HTML）：2 週間（柴沼専門家）

(7) 関係省庁職員に対する調査結果利用分析研修の実施

NIS 及び関係省庁が作成する統計データの適切な利用を図るため、統計調査結果利用に関する研修を、関係する省庁の職員 36 人を対象に 2 週間（2006 年 2 月 14 日から 2 月 24 日まで）実施した。当コースにおいて開講した講義は以下の通りである（詳細については「参考資料 3. 政府統計研修プログラム」を参照のこと）。

- 人口センサス結果：1 週間（井上専門家）
- 経済関連統計調査結果：1 週間（井上専門家）

(8) 計画省州事務所統計担当職員に対する地域統計に関する研修の実施

州、District、Commune 等の行政区域において、コンピューターを利用して小地域統計に関する研修を計画省州事務所統計担当職員に対して行うにあたり、対象とするモデル州として第一年次にはプノンペン特別市を選定した（第二年次にはシムリアップ州、バットンバン州、コンポンチャム州、シハヌークビル特別市等で開催することを想定している）。その上で、地域統計に関する研修を、プノンペン特別市事務所統計担当職員 21 人を対象に 1 週間（2006 年 1 月 16 日から 2006 年 1 月 20 日まで）実施した。当コースにおいて開講した講義は以下の通りである。

- 政府統計入門並びに地域統計指標・分析の基礎：1 週間（井上・大友両専門家）

表 2-1 に示した通り、第一年次は合計 40 週間にわたり延べ 274 人の受講者に対して講義を行った。

表 2-1 第一年次における政府統計研修の実施内容

No	コース名称	受講者数		期間			備考
		計画	実績	週数	開始日	終了日	
1	政府統計基礎研修 (第1回)	40	43	7	2005年 11月10日	2006年 1月27日	途中4週間の 中断あり
2	政府統計基礎研修 (第2回)	40	43	7	2005年 11月21日	2006年 1月13日	途中1週間の 中断あり
3	統計調査企画研修 (調査企画全般)	30	32	4	2006年 2月14日	2006年 3月10日	
4	統計調査集計研修 (第1回)	30	33	8	2005年 12月19日	2006年 2月10日	
5	統計分析研修 (第1回)	30	33	4	2006年 2月15日	2006年 3月14日	
6	統計利用手法研修 (第1回)	30	33	7	2005年 12月26日	2006年 2月10日	
7	調査結果利用研修 (第1回)	40	36	2	2006年 2月14日	2006年 2月24日	関連省庁職員 に対して 実施
8	地域統計利用研修 (第1回)	10	21	1	2006年 1月16日	2006年 1月20日	プノンペン 特別市にて 開催
	合計	250	274	40	—	—	—

【プロジェクト推進に関連する業務】

(9) 人口センサスに向けたドナーとの連携

表 2-2 の通り、人口センサスの準備状況、支援における役割分担等に関して UNFPA との連携を目的にした打合せを実施した。

本プロジェクトでは、UNFPA 及び NIS に対する 2008 年人口センサスに関する作業計画策定の準備状況について 2005 年 11 月以来確認してきたが、UNFPA 側の正式なコミットメントを確認できない状況が続いていた。そのため、2006 年 1 月までは過去の人口センサス及び中間年人口調査 (Intercensal Population Survey) 等における調査区設定並びに集計方法に関する情報を収集し、2008 年人口センサスにおける実施方法 (案) に関する意見交換を行った。その後、2006 年 2 月 27 日に NIS 主催による人口センサス準備のためのナショナル・ワークショップが開催され、NIS による人口センサス作業計画及び UNFPA による 150 万ドルの拠出が正式に表明された。これを受けて、従来より専門家により検討されていた JICA による人口センサスの支援分野 (調査区設定等) について NIS と本格的な討議を開始し、実現可能な実施案を提示して UNFPA 及び NIS と検討を進めるに至っている (現時点での調査区設定実施案を「参考資料 4. 2008 年人口センサス調査区設定作業方法 (案)」として示す)。

表 2-2 第一年次における UNFPA との間で実施した主要な打合せ

#	日付	参加者	主な討議内容
1	2005年 11月3日	[NIS] San Sy Than 局長 Seng Soeum 局次長 Hang Lina 局次長 Has Bunton 局次長 Hor Darith 部長 Vy Heang 部長 [UNFPA] Chap Rathana 職員	<ul style="list-style-type: none"> 2008年人口センサスに向けた2006年中の準備作業について 人口センサス用調査区地図作成に関連する過去の作成・入手資料等について 人口センサス用副政令 (subdecree) の準備状況について
2	2005年 11月8日	[UNFPA] Bettina Maas カンボジア事務所長 Sok Vanna 職員	<ul style="list-style-type: none"> 人口センサスに向けた各ドナーの動向について JICA と UNFPA の協力関係の確認について
3	2005年 12月22日	[UNFPA] Chap Rathana 職員	<ul style="list-style-type: none"> 過去の人口センサス及び中間年人口調査 (Intercensal Population Survey) における集計方法について
4	2006年 1月22日	[NIS] Hang Lina 局次長 Has Bunton 局次長 Hor Darith 部長 Sok Kosal 課長 他多数 [UNFPA] Sok Vanna 職員 Chap Rathana 職員	<ul style="list-style-type: none"> UNFPA の協力による、過去の人口センサス及び中間年人口調査における調査区地図設定方法について NIS における2008年人口センサス作業計画の検討状況及び同計画への UNFPA の協力について JICA 及び UNFPA における人口センサスへの協力の検討内容について
5	2006年 2月27日	[NIS] Chhay Than 計画省大臣 Ouk Chay 副大臣 San Sy Than 局長 Seng Soeum 局次長 Hang Lina 局次長 Has Bunton 局次長 他多数 [UNFPA] Sultan A. Aziz アジア・太平洋局部長 Bettina Maas カンボジア事務所代表 Alice Levisay カンボジア事務所副代表 Sok Vanna 職員 Chap Rathana 職員	<p>(人口センサスに関するナショナル・ワークショップ及び以後の昼食会)</p> <ul style="list-style-type: none"> 首相による人口センサス準備開始へのカンボジア政府のコミットメント UNFPA による人口センサスへのコミットメントの確認 NIS 提示の人口センサス作業計画の確認 他ドナーの人口センサスへの参加表明について
6	2006年 3月1日	[NIS] San Sy Than 局長 [UNFPA] Sok Vanna 職員 Christine Chen 職員 Chap Rathana 職員	<ul style="list-style-type: none"> 人口センサス作業計画における JICA 並びに UNFPA の貢献希望分野について 人口センサスに向けた調査区設定作業の実施方法について

(10) 成果指標の確定

本プロジェクト協力実施期間中における成果目標に対する進捗度・達成度をモニタリングが可能となるよう、第一年次及び第二年次の成果に係るより具体的な指標(案)をNISとの協議を経て作成し、JICAカンボジア事務所及び本部と協議した。作成した指標(案)は2006年3月14日に開催の第2回JCCにて承認された(「参考資料5. 本プロジェクトにおける成果指標」を参照のこと)。

(11) NISの統計調査に係るセミナーの開催

2006年1月26日に、プロジェクト活動の紹介として、NISと協力し、カンボジア側の政策決定者、行政官、研究者、ドナー等を対象としてセミナーを実施し、74名の参加を得た。セミナーは、カンボジア政府統計の発展に向けた人材育成の必要性に関して共通理解を醸成し、NISにおける過去の人材育成施策のレビューを行うとともに、現在及び将来における政府統計人材の育成計画について討議することを目的に開催された。カンボジア側からは計画省 Ouk Chay 副大臣、San Sy Than 局長及び Has Bunton 局次長が、日本側からは総務省統計局の高橋雅夫専門家及び井上俊一専門家が発表を行った(当日のアジェンダについては「参考資料6. NISの統計調査に係るセミナー議事次第」を、井上俊一専門家の発表内容は「参考資料7. セミナーにおける井上専門家発表内容」をそれぞれ参照のこと)。参加者との討議においては、「NISは統計調査の品質を着実に向上させていると思うが、他の業務統計との齟齬が見られる点があるため、調査実施方法の違いなどを職員が外部に説明できるよう人材育成を進めてほしい」、「本プロジェクトではNISだけでなく他省庁の統計関連職員も対象に含めて政府統計研修を実施しており、大変評価できる。今後も関連省庁を含めた政府統計システム全体の人材育成に努めてほしい」など、活発な意見交換がなされた。

(12) 第1回、第2回のJCCの開催

NISが開催した第1回JCC(2005年11月11日)並びに第2回JCC(2006年3月14日)を支援した(第1回JCCのミニッツを「参考資料1. 第1回JCCミニッツ」、第2回JCCのミニッツを「参考資料2. 第2回JCCミニッツ」としてそれぞれ示す)。

第1回JCCでは、インセプションレポートが承認され、第一年次の政府統計研修の実施内容が確定した。その際、San Sy Than 局長より、カンボジア統計局ではこれまでに例を見ない大規模かつ包括的な統計研修が実施されることに対して、JICA並びに専門家への謝意が表明されるとともに、NIS職員だけでなく計画省州事務所統計担当職員並びに関連省庁職員への研修を拡充するように要請された。

第2回JCCでは、第一年次の活動報告が報告され、第1回プロジェクト進捗報告書が承認された。また、第二年次のプロジェクト計画が議論され、2008年人口センサスの実施に向けた準備作業の一環として政府統計研修の一部(統計調査企画研修並びに統計調査集計研修)を実習(on-the-job training)に充てることが承認された。それに伴い、プロジェクト・デザイン・マトリックス(Project Design Matrix)及び業務計画(Plan of Operation)の変更も承認された。

(13) 本邦研修の実施支援

第一年次の本邦研修について、JICAカンボジア事務所及びJICA本部担当部の意向を確認しつつ、チーフアドバイザーと連携し、その候補者の人選および研修内容についてNISに助言し調整した。また、受入に係る要望調査票および要請書(A2A3フォーム)の作成に協力した。

2.2.2 第二年次

【政府統計研修の実施に関する業務】

(1) NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び関連省庁職員に対する基礎統計に関する研修の実施

政府統計に関する基礎的な知識に関する研修を、NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員並びに関連省庁職員の計 40 名を対象に 7 週間（2006 年 5 月 29 日から 7 月 14 日まで）実施した。当コースにおいて開講した講義は以下の通りである。

- 政府統計概論（政府統計概論並びに統計調査論）：2 週間（玄羽専門家）
- 統計利用の基礎（基礎数学、基礎統計）：2 週間（西村専門家）
- 政府統計とその利用（人口・社会統計、経済統計、国民経済計算等）：1 週間（井上専門家）
- 統計利用の手段（パソコンの使い方、Word 及び Excel の基礎）：2 週間（柴沼専門家）

当コースにおいては、受講者に政府統計に関する知識・経験の少ない職員が多いことに特に留意し、講義資料のうち特に概念的な説明の多い部分をクメール語に翻訳した。

(2) NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び関連省庁職員に対する統計調査企画に関する研修の実施

人口センサス準備にかかる調査区設定作業を支援するために、2006 年 5 月 29 日より、井上・大友・山屋・柴沼の各専門家が NIS と調査区設定の具体的方法について検討を開始した。カンボジアで現時点で入手可能な数種類の衛星写真、航空写真より、調査区地図の base map として利用可能なものとして、JICA カンボジア事務所が購入し、電力セクター育成プロジェクトでも利用している航空写真（SPOT5、2.5m 相当の解像度）を選定した。同航空写真を利用した調査区設定作業の試験調査を、6 月 5 日・6 日に 30 名の NIS 人口センサス担当職員とともにプノンペン特別市ダンカオ郡にて実施した。

その結果をもとに実施方法の検討及びマニュアルの作成作業を進める一方、NIS 職員に対して 1998 年人口センサス等で作成した調査区地図の整理及び活用方法に関する指導を進めた。7 月 4 日～10 日には第二次試験調査と担当者研修を兼ねたフィールドワークをプノンペン特別市ミエンチェイ郡、チャムカーモン郡並びにチャトモック郡、カンダール州カンダールストウン郡にてそれぞれ実施した。その後、全国における調査区設定実習を 7 月 16 日に開始した（本年度は全国的に洪水に見舞われており、村落での作業に時間がかかっているが、9 月末現在（12 週間経過）で全 24 州のうち 8 州分完了し、さらに 4 州分の作業を実施中である）。

また、調査区設定に必要な GIS 技術を習得するための電子地図作成実習を、山屋専門家が 6 月 19 日より開始した。6 月 19 日から 7 月 14 日までの日程で 20 名の NIS 人口センサス担当職員に対して集合研修を行った後、専門家が選抜された 14 名の職員による実習を支援し、村落地図の作成や村落境界線の変更作業などを行っている。

電子地図作成実習に伴う既存の区（Commune）地図の電子化作業は、山屋・柴沼両専門家により NIS 職員とともに仕様を検討した上で、6 月 19 日に再委託公示を行った。3 社から技術仕様書及び見積書を取得し比較した結果、ARUNA Technology Ltd.を契約交渉第 1 順位として選定した。契約交渉の結果、7 月 21 日に同社と契約を締結し、同日より作業を開始している。

人口センサスの企画に関する研修について、NIS 職員を対象に2週間の研修コースを2種類（統計調査集計手法 [2006年7月24日から8月4日まで]、標本抽出法 [2006年8月7日から8月18日まで]）実施した。当コースにおいて開講した講義は以下の通りである。

- 統計調査集計手法：2週間（伊藤専門家）
- 標本抽出法：2週間（大戸専門家）

(3) NIS における統計調査の結果分析用のシステムの構築および研修の実施

第一年次で利用した統計調査の結果を分析するためのシステムを修正し、当該システムを利用した統計分析に関する研修を、NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員並びに関連省庁職員に対して2回、4週間ずつ実施した（第1回は30名を対象に2006年7月17日から8月11日まで、第2回は2006年7月17日から8月18日まで [1週間の休止期間を含む]）。当コースにおいて開講した講義は以下の通りである。

- 人口・社会統計分析：2週間（早瀬専門家）
- 経済統計分析：1週間（井上専門家）
- 地域統計分析：1週間（阿部専門家）

(4) NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び関連省庁職員に対する統計調査の結果利用に関する研修の実施

統計調査結果の活用を促すため、報告書・CD やホームページ等を用いた編集に関する研修を、NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員並びに関連省庁職員の31人を対象に4週間（2006年6月5日から2006年6月30日まで）の研修を実施した。当コースにおいて開講した講義は以下の通りである。

- 統計表編集（統計調査報告書編集）：1週間（大友専門家）
- 統計表編集（Excel 計算）：1週間（柴沼専門家）
- 発表手法・統計表現・ウェブコンテンツ編集（PowerPoint、HTML）：2週間（柴沼専門家）

(5) 経済統計評価・事業所調査研修の実施

事業所調査の実施について、2006年5月30日より井上・大友・柴沼の各専門家がNIS とともに検討を開始した。本年度はプノンペン特別市における製造業等の事業所のリスティング作業を行うことにより、同市における網羅性のある事業所名簿を作成することでNIS と合意し、8月2日よりNIS の経済統計担当職員とともに詳細な手順の確認、マニュアル及び地図の整備、調査の準備等を実施している。9月18日から20日まで試験調査をプノンペン特別市内にて実施した。調査に向けたNIS 職員への集合研修を10月16日から、調査実習を10月19日から実施予定である。

(6) 計画省州事務所統計担当職員に対する地域統計に関する研修の実施

州、District 等における統計に関する業務を実施している計画省州事務所統計担当職員に対して地域統計研修を、第一年次にモデル州として選定した諸州（プノンペン特別市、シェムリアップ州、コンポンチャム州、バットアンバン州、シハヌークビル特別市等）のうち、第二年次前半作業ではコンポンチャム州、バットアンバン州にてそれぞれ実施した。コンポンチャム州では、同州の他にラタナキリ州、モンドルキリ州、クラチェ州並びにストゥントレン州からの職員の合計25名に対して、6月12日か

ら6月16日まで1週間に亘り実施した。バットンバン州では、同州の他にバンティアイミエンチェイ州、パイリン特別市、プルサット州からの職員の合計25名に対して、6月19日から6月23日まで1週間に亘り実施した。当コースにおいて開講した講義は以下の通りである。

- 政府統計入門並びに地域統計指標・分析の基礎：1週間（井上・玄羽・西村各専門家）

表2-3に示した通り、第二年次前半作業では合計25週間にわたり延べ203人の受講者に対して講義を行った。

表2-3 第二年次における政府統計研修の実施内容

No	コース名称	受講者数		期間			備考
		計画	実績	週数	開始日	終了日	
1	政府統計基礎研修 (第3回)	40	40	7	2006年 5月29日	2006年 7月14日	
2	統計調査企画研修 (統計調査集計手法)	10	11	2	2006年 7月24日	2006年 8月4日	
3	統計調査企画研修 (標本抽出法)	10	10	2	2006年 8月7日	2006年 8月18日	
4	統計分析研修 (第2回)	30	30	4	2006年 7月17日	2006年 8月11日	
5	統計分析研修 (第3回)	30	31	4	2006年 7月17日	2006年 8月18日	途中1週間の 休講期間あり
6	統計利用手法研修 (第2回)	30	31	4	2006年 6月5日	2006年 6月30日	
7	地域統計利用研修 (第2回)	25	25	1	2006年 6月12日	2006年 6月16日	コンボンチ ヤム州にて 開催
8	地域統計利用研修 (第3回)	20	25	1	2006年 6月19日	2006年 6月23日	バットンバ ン州にて開 催
	合計	195	203	25	—	—	—

【プロジェクト推進に関連する業務】

(7) 人口センサスに向けたドナーとの連携

表2-4の通り、人口センサスの準備状況、支援における役割分担等に関して UNFPA との連携を目的にした打合せを実施した。

第二年次における人口センサス準備作業は、JICA が調査区設定を、UNFPA が調査票設計及び試験調査を支援するとの役割分担で作業を続けている。JICA 専門家は、UNFPA が主に支援している調査票設計にもアドバイスをしている。2006年8月8日に実施された調査票設計に関するユーザー向けワークショップにも参加し、通勤・通学等に関する調査事項などについては JICA 専門家の助言が採用されている。

また、NIS が主催する NCC 及び3回にわたる CTC にも参加し、センサスの準備状況や次年度以降

のドナーによる技術支援等の役割分担についての確認及び検討を続けている。

表 2-4 第二年次における UNFPA との間で実施した主要な打合せ

#	参加者	内容
1. National Census Committee (2006年5月22日)		
	<p>[RGC] Sar Kheng 副首相 Chhay Than 計画省大臣 及び主要関連省庁大臣、副大臣</p> <p>[NIS] San Sy Than 局長 Hang Lina 局次長 Has Bunton 局次長 Hor Darith 部長</p> <p>[UNFPA] Nott Rama Rao 専門家</p> <p>[JICA] 井上 俊一 専門家 柴沼 晃 専門家</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Census Technical Committee の設立について • センサスの準備作業に関する報告について • ドナーによるセンサス支援に関する報告について • 今回のセンサスにおける新たな技術の導入について (JICA の技術指導による GIS 利用など) • センサスデータの活用に関する重要性について • センサスにおける調査事項について
2. Census Technical Committee (2006年5月31日)		
	<p>[RGC] Chhay Than 計画省大臣 Ouk Chay 副大臣 In Saroeung 計画省政務官 Ith Sotha 土地管理省職員 Chan Rozik 内務省職員</p> <p>[NIS] San Sy Than 局長 Seng Soeum 局次長 Hang Lina 局次長 Hor Darith 部長</p> <p>[UNFPA] Alice Linsey カンボジア事務所副代表 Christine Chen 職員 Chap Rathana 職員</p> <p>[JICA] 笠原 奈美 企画調査員 西 文彦 専門家 井上 俊一 専門家 大友 篤 専門家 柴沼 晃 専門家</p>	<ul style="list-style-type: none"> • センサスの準備作業に関する進捗について (調査票設計、Village Frame の改訂、調査区設定等) • センサス実施経費の不足について
3. Census Technical Committee (2006年7月21日)		
	<p>[RGC] Chhay Than 計画省大臣 Ouk Chay 副大臣 Ith Sotha 土地管理省職員 Mr. Chan Rozik 内務省職員</p> <p>[NIS] San Sy Than 局長 Seng Soeum 局次長 Hang Lina 局次長 Has Bunton 局次長 Hor Darith 部長</p>	<ul style="list-style-type: none"> • センサスの準備作業に関する進捗について (調査票設計、Village Frame の改訂、調査区設定等) • UNFPA による「Report on Resource Mobilization Workshop for 2010 Round Population Census」実施について • NIS による「Workshop for Questionnaire Design」について • JICA と NIS による、センサス支援を目的としたプロジェクトの新フェーズについて • ドナーからのコンサルタントの役割分担に

#	参加者	内容
	[UNFPA] Bettina Maas カンボジア事務所代表 Christine Chen 職員 Chap Rathana 職員 [JICA] 笠原 奈美 企画調査員 西 文彦 専門家 柴沼 晃 専門家	ついて
4. Census Technical Committee (2006年8月24日)		
	[RGC] Chhay Than 計画省大臣 Ouk Chay 副大臣 Ith Sotha 土地管理省職員 Duch Sonn 内務省職員 [NIS] San Sy Than 局長 Seng Soeum 局次長 Hang Lina 局次長 Has Bunton 局次長 Hor Darith 部長 [UNFPA] Bettina Maas カンボジア事務所代表 Harry Lode 専門家 Christine Chan 職員 Chap Rathana 職員 [JICA] 柴沼 晃 専門家	<ul style="list-style-type: none"> センサスの準備作業に関する進捗について (調査票設計、Village Frame の改訂、調査区設定等) Harry Lode 専門家による「Draft Data Processing Plan」について 調査票仕様の決定について ドナーからのコンサルタントの役割分担について

(13) 本邦研修の実施支援

第二年次の本邦研修について、JICA カンボジア事務所及び JICA 本部担当部の意向を確認しつつ、チーフアドバイザーと連携し、その候補者の人選および研修内容について NIS に助言し調整した。当初計画されていた総務省統計局及び独立行政法人統計センターでの 6 ヶ月間研修 (1 名) を総務省側の申し出に基づき変更する方向で検討している。同機関において 2007 年 1 月～2 月にかけて、人口センサスの集計及び製表に関して約 2 ヶ月の研修 (2 名) を行う予定で研修計画の素案を作成している。

2.3 本プロジェクトの活動における特記事項

- ・ 政府統計研修の実施：NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員並びに関連省庁職員からの広範な参加を得て、NIS にとって初めてとなる初級レベルから上級レベルまでの包括的な研修プログラムを成功裏に実施した。
 - ✓ 計画省州事務所統計担当職員は、NIS 職員と比べて統計調査業務への参画やそれに伴う研修への参加頻度が低かったため、本プロジェクトにて提供した政府統計研修が特に重要な研修機会となった。
 - ✓ 関連省庁職員は、通常業務における統計関連作業の割合や政府統計に関する知識に大きな差があった。本プロジェクトにて提供した政府統計研修において、政府統計職員に必要な標準的知識及びスキルを提示した上で能力向上につなげることができたことには大きな意味がある。
 - ✓ 政府統計職員とはいえ、業務上で交流の少ない NIS 職員と関連省庁職員が同じ研修コースを受講し、情報交換を行う場を提供できたという副次的効果もあった。
- ・ 人口センサス準備にかかる調査区設定作業への支援：人口センサス実施において必要となる調査区（各調査員の受け持ち区域 [おおよそ 100 世帯程度]）を確定するため、調査区設定作業を支援した。
 - ✓ 調査区設定作業では、NIS において UNICEF 等の支援により実施された Health Facility Mapping Project の成果物である Commune 地図（Village 境界入り）及び 1998 年人口センサスにて作成された Village 地図を参考に調査区設定作業を行うための指導を行った。
 - ✓ また、JICA が購入した衛星写真地図をもとにして作成された 1:5,000 相当の縮尺の電子地図を利用して、主に都市部の Village 地図を作成する指導を行った。

2.4 活動実績

本プロジェクトにおける活動実績は表 2-5 の通りである。

表 2-5 活動実績

Output	2005					2006												2007		
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 Knowledge and capacity on basic statistics of the NIS staff, the provincial statistical staff, and the statistical staff of the main line ministries are improved.				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
2 Capacity of the NIS staff for the planning of the statistical surveys is improved	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
3 Data processing skill of the NIS staff on the statistical surveys is improved.	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
4 The NIS staff acquires the methods of the analysis of the statistical surveys.						■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
5 Dissemination of survey results is increased and the results of statistical surveys are utilized by the main line ministries.				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
6 The results of the economic statistical surveys are evaluated properly and NIS' capacity on establishment surveys is improved.										■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
7 Statistical capacities of the major provincial statistical staff are improved.				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
Activities																				
1 [Basic statistics]																				
1-1 Trainings on basic statistics to the NIS staff, the provincial statistical staff, and statistical staff of the main line ministries				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
2 [Planning of statistical surveys]																				
2-1 Trainings on the planning of statistical surveys to the NIS staff	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2-2 Trainings on the design of the questionnaires of statistical surveys to the NIS staff							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
2-3 Coordination with the line ministries and the donors on the population census	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
3 [Data processing]																				
3-1 Trainings on the data processing for statistical surveys to the NIS staff	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
4 [Statistical analysis]																				
4-1 Development of systems for the analysis of the results of statistical surveys in the NIS				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
4-2 Trainings on the analysis of the results statistical surveys to the NIS staff								■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
6 [Dissemination of statistical data]																				
5-1 Trainings on the editing of publication, CD, and website, to the NIS staff							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
5-2 Trainings on the utilization of the results of the statistical surveys to the statistical staff of the main line ministries									■	■	■	■	■	■	■	■	■			
6 [Improvement of economics statistics]																				
6-1 Trainings on the evaluation of the existing results of the economic statistical surveys to the NIS staff										■	■	■	■	■	■	■	■			
6-2 Trainings on the establishment surveys to the NIS staff											■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
7 [Capacity development of provincial statistical offices]																				
7-1 Selection of model provinces	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
7-2 Trainings on the regional statistics for the staff of the model provincial statistical staff							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			

2.5 業務実績人月表

法人一括契約による専門家の業務実績人月表を表 2-6、表 2-7 に示す。各年次において当初計画からは変更はなかった。尚、直営専門家の派遣実績は別添 1 に示す。

表 2-6 第一年次業務実施人月表

氏名	担当業務	派遣期間	現地 (M/M)	国内 (M/M)	合計 (M/M)
井上 俊一	経済統計/総括	2005年10月29日 ～ 2005年12月15日 2006年1月7日 ～ 2006年3月16日	3.90	0.10	4.00
早瀬 保子	統計分析 I	2006年2月10日 ～ 2006年3月16日	1.17	0.10	1.27
玄羽 昭	統計研修 I	2005年10月29日 ～ 2005年12月3日	1.20	0.10	1.30
西村 邦雄	統計研修 II	2005年11月6日 ～ 2005年12月3日 2006年1月1日 ～ 2006年1月28日	1.87	—	1.87
大戸 隆信	統計調査集計 I	2006年2月11日 ～ 2006年2月25日	0.50	0.10	0.60
伊藤 彰彦	統計調査集計 II	2005年12月17日 ～ 2005年12月24日	0.27	—	0.27
高津 宏幸	統計調査集計 III	2005年12月23日 ～ 2006年1月21日	1.00	—	1.00
大友 篤	統計調査結果提供 I	2005年10月29日 ～ 2005年11月5日 2006年1月7日 ～ 2006年1月21日	0.77	0.10	0.87
阿部 隆	統計調査結果提供 II	2005年12月24日 ～ 2006年1月14日	0.73	—	0.73
柴沼 晃	統計調査結果提供 III	2005年10月29日 ～ 2006年2月11日	1.63	—	1.63
	業務調整	2006年2月26日	2.00	—	2.00
	業務調整 (自社負担)	～ 2006年3月16日	—	—	—
合計			15.04	0.50	15.54

表 2-7 第二年次前半作業業務実施人月表

氏名	担当業務	派遣期間	現地 (M/M)	国内 (M/M)	合計 (M/M)
井上 俊一	経済統計/総括	2006年5月16日 ～ 2006年7月23日	2.30	—	2.30
早瀬 保子	統計分析 I	2006年7月22日 ～ 2006年8月20日	1.00	—	1.00
玄羽 昭	統計研修 I	2006年5月27日 ～ 2006年6月18日	0.77	—	0.77
西村 邦雄	統計研修 II	2006年6月10日 ～ 2006年7月8日	0.97	—	0.97
大戸 隆信	統計調査集計 I	2006年8月4日 ～ 2006年8月20日	0.57	—	0.57
伊藤 彰彦	統計調査集計 II	2006年7月21日 ～ 2006年8月6日	0.57	—	0.57
大友 篤	統計調査結果提供 I	2006年5月27日 ～ 2006年6月11日	0.53	—	0.53
阿部 隆	統計調査結果提供 II	2006年7月29日 ～ 2006年8月12日	0.50	—	0.50
山屋 浩三	統計調査 結果提供 III	2006年5月29日 ～ 2006年6月9日	1.27	—	1.27
柴沼 晃	統計調査結果提供 IV	2006年5月16日 ～ 2006年9月30日 (派遣継続中)	1.80	—	1.80
	業務調整		1.00	—	1.00
	業務調整 (自社負担)		—	—	—
合計			11.28	0.00	11.28

2.6 当初計画との変更点及びその理由

JICA カンボジア事務所の了解を得て、表 2-8 の各点について当初計画（特記仕様書記載事項）を変更した。

表 2-8 当初計画との変更点及び理由

No.	特記仕様書記載事項の変更点	理由
1	「第 8 条 業務の内容」の【第一次現地作業】「ウ NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員に対する基礎統計に関する研修の実施（2回）」について、対象者を NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び関連省庁職員とする。	<p>専門家が現地到着後に実施した NIS との協議並びに現状調査の結果を踏まえ、本プロジェクトにて実施する各研修の対象範囲を拡大することがプロジェクト目標を達成する上で効果的であると判断したため。</p>
2	「第 8 条 業務の内容」の【第一次現地作業】「エ NIS 職員に対する統計調査企画に関する研修の実施（1回目の前半）」について、対象者を NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び関連省庁職員とする。	
3	「第 8 条 業務の内容」の【第一次現地作業】「オ NIS 職員に対する統計調査集計に関する研修の実施（1回）」について、対象者を NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び関連省庁職員とする。	
4	「第 8 条 業務の内容」の【第一次現地作業】「キ NIS における統計調査の結果分析用のシステムの構築および研修の実施」について、対象者を NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び関連省庁職員とする。	
5	「第 8 条 業務の内容」の【第一次現地作業】「ク NIS 職員に対する統計調査の結果利用に関する研修の実施（1回）」について、対象者を NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び関連省庁職員とする。	

また、PDM の一部事項について、第 2 回 JCC（2006 年 3 月 14 日（火）開催）での承認を得て、成果 1 及び成果 3 にかかる指標を変更した。変更後の PDM は、表 2-9 のとおりである。これは、NIS の要請により、本プロジェクトの活動に人口センサスの準備に関する実習実施を含めることとし、その成果を測定することとしたことに関連する措置である。

表 2-9 プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM)

プロジェクト名：カンボジア政府統計能力向上計画 実施機関：計画省統計局(NIS)

ターゲットグループ：NIS 職員、州統計職員、主要関係省庁統計担当職員

Ver.2

プロジェクトの要約	指 標	入手手段	外部条件
<p>上位目標 センサ及び政府統計調査が定期的かつ正確に実施され、政策策定者、行政官、学者、NGO 及び一般ユーザーに対して、適時に、より信頼性の高い統計データが提供される。</p>	<p>1. NIS の実施する統計調査数・頻度 2. NIS が作成する統計資料数・作成頻度 3. 統計刊行物の発行部数及び販売数 4. NIS ホームページの更新頻度、アクセス数</p>		
<p>プロジェクト目標 NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び主要関係省庁統計担当職員の政府統計に関する能力が向上する。</p>	<p>1 NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び主要関係省庁統計担当職員のうち、政府統計について一定の知識・能力のある職員数 2 NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び主要関係省庁統計担当職員のうち、統計ソフトウェア、パーソナルコンピュータについて一定の知識・能力のある職員数</p>		
<p>成果</p> <p>1 NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び主要関係省庁統計担当職員の基礎統計に関する知識と能力が向上する。</p> <p>2 NIS 職員の統計調査企画に係る能力が向上する。</p> <p>3 NIS 職員の統計調査に係る集計技術が向上する。</p> <p>4 NIS 職員が統計調査の分析手法を習得する。</p> <p>5 統計調査結果の提供が促進され、統計調査の結果が主要官庁により利用される。</p> <p>6 経済統計調査結果が適切に評価され、事業所調査に係る NIS の能力が向上する。</p> <p>7 主要州の統計担当職員の統計に係る能力が向上する。</p>	<p>1-1 基礎統計に関する研修実施回数、参加者数 1-2 研修参加者の基礎統計に関する理解度</p> <p>2-1 NIS 職員に対する統計調査企画に関する研修実施回数、参加者数 2-2 <u>研修参加者により実施された統計調査企画作業の達成度</u></p> <p>3-1 集計に関する研修実施回数、参加者数 3-2 <u>研修参加者により実施された集計プログラム作成作業の達成度</u></p> <p>4-1 統計調査の分析手法に関する研修実施回数、参加者数 4-2 研修参加者の統計調査の分析手法に関する理解度</p> <p>5-1 統計調査の結果提供に関する研修実施回数、参加者数 5-2 研修参加者の統計調査の結果提供に関する理解度 5-3 NIS の統計調査結果の提供数 5-4 主要関係省庁における NIS の統計調査結果の利用数</p> <p>6-1 経済統計調査結果の評価及び事業所調査に関する研修実施回数、参加者数 6-2 研修参加者の経済統計調査結果の評価及び事業所調査に関する理解度</p> <p>7-1 地域統計に関する研修実施回数、参加者数 7-2 研修参加者の地域統計に関する理解度</p>		

注：下線部分が変更内容

第3章 業務関連事項

3.1 技術移転実施方法

政府統計研修の実施に際しては、以下の2種類の手法にて技術移転を実施した。

- 難易度別に編成されたコースを順番に受講させることによる段階的な知識・スキルの習得
- 各コースにおいて講師を補佐する受講者を配置することによる中核人材の育成

政府統計研修の各コースは、初級（政府統計基礎研修、地域統計利用研修並びに調査結果利用研修）と中・上級（統計調査企画研修、統計調査集計研修、統計分析研修並びに統計利用手法研修）に分かれる。中・上級の各研修は初級の研修の中でも「政府統計基礎研修」を修了後に受講することで、基礎的な内容からスタートして徐々に発展的な内容に触れることができ、段階的な知識・スキル獲得が可能になるように設計されている。一方、すでに初級の内容を身につけている職員は中・上級からの参加を許可した。

また、各コースの講義においては、NISの推薦により1名の講師補佐を選び、講師による講義の補足説明や実習の指導を行ってもらった。講師補佐は海外での研修受講経験等を持ち、当該分野で実務経験のある職員から主に選ばれているため、理論を理解した上でカンボジアの政府統計システムの実情に合わせた補足説明を行える利点がある。将来は、これらの講師補佐がNISにおける政府統計研修の中心的存在となることが期待されている。

3.2 カウンターパート研修実績

本プロジェクトにおいては、政府統計研修として表2-1、表2-3の通り、現時点までで16コース、延べ477人に対して研修を実施した。また、本邦研修（「Counterpart Training on Official Statistical System in Japan」）として、NIS職員3名に対して2006年1月28日から2月26日まで、日本における主要統計調査（国勢調査、事業所調査、労働力調査など）の実施方法及び分析・提供方法に関する研修を実施した。本邦研修の参加者は表3-1、研修実施内容は表3-2の通りである。

表3-1 本邦研修参加者

No.	氏名	役職
1	Mr.Long Chinth	NIS 人口統計課 課長補佐
2	Ms.Tong Chhay Rine	NIS 経済統計課 課長補佐
3	Mr.Khin Sovorlak	NIS 経済統計課 係長

表 3-2 本邦研修実施内容

No.	氏名	実施内容
1	Mr.Long Chintha	国勢調査（企画、調査区設定） 国勢調査の集計 地理情報システムによる提供 統計情報データベースによる提供 ホームページによる提供 人口推計、人口分析 GISの概要 人口動態統計
2	Ms.Tong Chhay Rine	労働力調査（企画、集計） 事業所調査（企画、調査区設定、集計） 職業分類 産業分類 事業所データベースの利用 統計情報データベースによる提供 ホームページによる提供 地理情報システムによる提供 農業センサス、水産統計・作物統計 GISの概要 商業・工業統計
3	Mr.Khin Sovorlak	労働力調査（企画、集計） 事業所調査（企画、調査区設定、集計） 事業所データベースの利用 統計情報データベースによる提供 ホームページによる提供 地理情報システムによる提供 標本抽出 農業センサス、水産統計・作物統計 GISの概要 商業・工業統計

3.3 現地業者再委託業務内容

前述 2.1.2 第二年次【政府統計研修の実施に関する業務】(2) の通り、電子地図作成実習に伴う既存の区 (Commune) 地図の電子化作業は、山屋・柴沼両専門家により NIS 職員とともに仕様を検討した上で、6 月 19 日に再委託公示を行った。3 社から技術仕様書及び見積書を取得し比較した結果、ARUNA Technology Ltd.を契約交渉第 1 順位として選定した。契約交渉の結果、7 月 21 日に同社と契約を締結し、同日より作業を開始している。

第4章 技術移転の成果

4.1 政府統計研修の実施

これまで一連の政府統計研修の結果、65週間にわたる16の研修コースで延べ477人の統計関連職員が講義を受講した（表4-1を参照のこと）。

表4-1 政府統計研修の実施内容

No	コース名称	受講者数		週数	期間		備考
		計画	実績		開始日	終了日	
1	政府統計基礎研修 (第1回)	40	43	7	2005年 11月10日	2006年 1月27日	途中4週間の 中断あり
2	政府統計基礎研修 (第2回)	40	43	7	2005年 11月21日	2006年 1月13日	途中1週間の 中断あり
3	政府統計基礎研修 (第3回)	40	40	7	2006年 5月29日	2006年 7月14日	
4	統計調査企画研修 (調査企画全般)	30	32	4	2006年 2月14日	2006年 3月10日	
5	統計調査企画研修 (統計調査集計手法)	10	11	2	2006年 7月24日	2006年 8月4日	
6	統計調査企画研修 (標本抽出法)	10	10	2	2006年 8月7日	2006年 8月18日	
7	統計調査集計研修 (第1回)	30	33	8	2005年 12月19日	2006年 2月10日	
8	統計分析研修 (第1回)	30	33	4	2006年 2月15日	2006年 3月14日	
9	統計分析研修 (第2回)	30	30	4	2006年 7月17日	2006年 8月11日	
10	統計分析研修 (第3回)	30	31	4	2006年 7月17日	2006年 8月18日	途中1週間の 中断あり
11	統計利用手法研修 (第1回)	30	33	7	2005年 12月26日	2006年 2月10日	
12	統計利用手法研修 (第2回)	30	31	4	2006年 6月5日	2006年 6月30日	
13	調査結果利用研修 (第1回)	40	36	2	2006年 2月14日	2006年 2月24日	
14	地域統計利用研修 (第1回)	10	21	1	2006年 1月16日	2006年 1月20日	プノンペン 特別市
15	地域統計利用研修 (第2回)	25	25	1	2006年 6月12日	2006年 6月16日	コンボンチ ヤム州
16	地域統計利用研修 (第3回)	20	25	1	6月19日	6月23日	バタンバン 州
	合計	445	477	65	—	—	—

一連の研修は、定期的な研修活動が行われていなかったカンボジア統計局では唯一の包括的な人材育成業務である。つまり、NISをはじめとするカンボジア政府の統計関係職員にとっては唯一の包括的な学習機会でもあり、政府統計に関する一定の知識・スキルを身につけた職員が育成されることにより今後の統計調査の品質向上が期待できる。今後も政府統計研修を継続することにより、一層の効果創出が期待される。

また、これら一連の研修において、受講者の理解度は開始時と終了時で比較して平均64%向上したことが測定された（各コースにおける平均理解度の向上については表4-2を参照のこと）。

表4-2 講義開始時と終了時を比較した受講者の平均理解度及び伸び率

No.	コース名称	受講者の平均理解度 (0-100)			備考
		開始時 (A)	終了時 (B)	伸び率 (%) (B/A)	
1	政府統計基礎研修 (第1回)	53.4	76.1	42.5%	
2	政府統計基礎研修 (第2回)	46.4	76.9	65.7%	
3	政府統計基礎研修 (第3回)	41.2	67.6	64.1%	
4	統計調査企画研修 (調査企画全般)	41.0	81.5	98.8%	
5	統計調査企画研修 (統計調査集計手法)	30.7	53.6	74.6%	
6	統計調査企画研修 (標本抽出法)	41.7	56.5	35.5%	
7	統計調査集計研修 (第1回)	24.6	63.8	159.3%	
8	統計分析研修 (第1回)	50.9	73.2	43.8%	
9	統計分析研修 (第2回)	45.4	70.2	54.6%	
10	統計分析研修 (第3回)	45.4	74.1	63.2%	
11	統計利用手法研修 (第1回)	40.9	71.0	73.6%	
12	統計利用手法研修 (第2回)	22.7	49.7	118.9%	
13	調査結果利用研修 (第1回)	50.7	84.0	65.7%	
14	地域統計利用研修 (第1回)	39.7	74.8	88.4%	
15	地域統計利用研修 (第2回)	61.2	81.9	33.8%	
16	地域統計利用研修 (第3回)	60.1	86.8	44.4%	
全コース平均		43.5	71.36	64.0%	各コースの受講者 平均理解度を単純 平均して算出

各講義において、専門家は自らの講義の開始時と終了時に、受講者の理解度を測定するための同じテストまたは自己評価アンケートを行った（テストの場合、問題文中の数字を変更する程度の変更は行った）。テストの場合は多肢選択式で正しい（あるいは正しくない）解答を選択する方式であり、各受講者の正答率の平均値を理解度とした。一方、自己評価アンケートの場合は、特定のトピックに対する知識・スキルレベルを多肢選択式で「全く問題なく作業できる（十分理解している）」から「作業したことがない（または、聞いたことがない、全く理解していない）」までのいずれかの選択肢を選択させるという方式である。各選択肢に100ポイント（例：「十分理解している」）から0ポイント（例：「全く理解していない」）までの評点を与え、各受講者の評点の平均値をもって理解度とした。評価に際してテストを実施するか、自己評価アンケートを行うかは各専門家の判断に委ねられたが、多くの場合、テストは受講者の知識レベルを問う場合に、自己評価アンケートは受講者のスキルレベルを問う場合に用いられた。

4.2 政府統計研修実施に伴う成果品

また、各コースの成果品として、以下のテキストが作成され、同じコースが複数回実施される中で改良された。

- 政府統計基礎研修
- 統計調査企画研修
- 統計調査集計研修
- 統計分析研修
- 統計利用手法研修
- 調査結果利用研修
- 地域統計利用研修

一方、人口センサス準備のための調査区設定等の実習に関しては、以下のマニュアルが作成され、随時改良作業中である。

- 調査区設定作業 フィールドワーカー用マニュアル
- 調査区設定作業 GIS 作業用マニュアル

経済統計評価・事業所調査研修の実施に関して、以下のマニュアルが作成され、随時改良作業中である。

- 事業所リスティング 調査員用マニュアル

4.3 現時点における成果指標測定結果

PDM にて定義されている各種成果指標に関して、2006 年 10 月時点における測定結果は表 4-3～表 4-5 の通りである。

表 4-3 Overall Goal (上位目標) に関する現時点での測定結果

指標	測定結果	入手手段・備考
1. NIS の実施する統計調査数・頻度	周期調査：年次 2 件 四半期 1 件、 月次 1 件 単発調査：2 件	NIS 資料より (2006 年実施分) <ul style="list-style-type: none"> • Annual Household Socio-economic Survey (2006 年以降年次実施) • Annual National Accounts (年次) • Quarterly National Accounts (四半期毎) • Consumer Price Index (月次) • Cambodia Injury and Accident Survey (単発) • Establishment Listing in Phnom Penh (単発)
2. NIS が作成する統計資料数・作成頻度	継続性あり：年次 3 件 月次 1 件 不定期 2 件 単発：1 件	NIS 資料より (2006 年刊行分) <ul style="list-style-type: none"> • National Accounts (年次) • A Poverty Profile of Cambodia 2004 (年次) • Cambodia Statistical Yearbook 2005 (年次) • Monthly CPI Bulletin (月次) • Quarterly National Accounts: March Quarter 2003 to September Quarter 2005 (不定期刊行) • Caminfo Version 2.1 (不定期更新) • Cambodia Demographic and Health Survey 2005 Preliminary Report (単発)
3. 統計刊行物の発行数及び販売数	2,879.55 ドル(2006 年 1 月～、 月平均約 360 ドル)	NIS 資料
4. NIS ホームページの更新頻度、アクセス数	主要更新頻度：2005 年 8 月以降 3 回 (Cambodia Demographic and Health Survey, Analysis of CIPS Results, Cambodia	NIS 担当者へのヒアリング結果より

指標	測定結果	入手手段・備考
	Socio-Economic Survey に関するコンテンツを各回で追加) アクセス数: 35,698 件 (2005年8月～現在)	

表 4-4 Project Purpose (プロジェクト目標) に関する現時点での測定結果

指標	測定結果	入手手段・備考
1. NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び主要関係省庁統計担当職員のうち、政府統計について一定の知識・能力のある職員数	合計 (実数) : 296 名 NIS 職員 : 102 名 計画省州事務所統計担当職員 : 84 名 主要関係省庁統計担当職員 : 110 名	プロジェクト資料 (政府統計に関連する知識・スキル習得が主要目的の研修コース [政府統計基礎研修、統計調査企画研修、調査結果利用研修、統計分析研修、地域統計利用研修] を完了した受講者数として算出)
2. NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び主要関係省庁統計担当職員のうち、統計ソフトウェア、パーソナルコンピュータについて一定の知識・能力のある職員数	合計 (実数) : 207 名 NIS 職員 : 110 名 計画省州事務所統計担当職員 : 29 名 主要関係省庁統計担当職員 : 68 名	プロジェクト資料 (統計ソフト、パーソナルコンピュータに関連する知識・スキル習得が主要目的の研修コース [政府統計基礎研修、統計調査集計研修、統計利用手法研修] を完了した受講者数として算出)

表 4-5. Output (成果) に関する現時点での測定結果

指標	測定結果	入手手段・備考
1-1 基礎統計に関する 研修実施回数、参加 者数	研修実施回数： ＜計画＞3回 ＜実績＞3回 参加者数： ＜計画＞120名 ＜実績＞123名	プロジェクト資料
1-2 研修参加者の基礎 統計に関する理解度	＜開始時平均＞47点 ＜終了時平均＞73.5点	プロジェクト資料
2-1 NIS 職員に対する 統計調査企画に関す る研修実施回数、参 加者数	研修実施回数： ＜計画＞3回 ＜実績＞3回 参加者数： ＜計画＞50名 ＜実績＞53名	プロジェクト資料
2-2 研修参加者により 実施された統計調査 企画作業の達成度	現在実施中（調査区設定に関して は、2006年9月末現在で24州中 8州について完了、現在新たに4 州にて実施中）	プロジェクト資料
3-1 集計に関する研修 実施回数、参加者数	研修実施回数： ＜計画＞1回 ＜実績＞1回 参加者数： ＜計画＞30名 ＜実績＞33名	プロジェクト資料
3-2 研修参加者により 実施された集計プロ グラム作成作業の達 成度	2006年11月以降実施予定	プロジェクト資料

指標	測定結果	入手手段・備考
4-1 統計調査の分析手法に関する研修実施回数、参加者数	研修実施回数： ＜計画＞3回 ＜実績＞3回 参加者数： ＜計画＞90名 ＜実績＞94名	プロジェクト資料
4-2 研修参加者の統計調査の分析手法に関する理解度	＜開始時平均＞47.2点 ＜終了時平均＞72.5点	プロジェクト資料
5-1 統計調査の結果提供に関する研修実施回数、参加者数	研修実施回数： ＜計画＞2回 ＜実績＞2回 参加者数： ＜計画＞60名 ＜実績＞64名	プロジェクト資料
5-2 研修参加者の統計調査の結果提供に関する理解度	＜開始時平均＞31.8点 ＜終了時平均＞60.4点	プロジェクト資料
5-3 NIS の統計調査結果の提供数	合計：7件 継続性あり：年次3件、 月次1件、 不定期2件 単発：1件	NIS 資料（2006年刊行分） <ul style="list-style-type: none"> ・ National Accounts（年次） ・ A Poverty Profile of Cambodia 2004（年次） ・ Cambodia Statistical Yearbook 2005（年次） ・ Monthly CPI Bulletin（月次） ・ Quarterly National Accounts: March Quarter 2003 to September Quarter 2005（不定期） ・ Caminfo Version 2.1（不定期更新） ・ Cambodia Demographic and Health Survey 2005 Preliminary Report（単発）

指標	測定結果	入手手段・備考
5-4 主要関係省庁におけるNISの統計調査結果の利用数	関連省庁での利用に供すると考えられるNISの主要4調査 (Population Census、Intercensal Population Survey、Socio-Economic Survey 並びに National Accounts) のうち、平均2.25調査 (56%) が利用されている。また、13人の回答者のうち、9人 (69%) が、当該調査を「頻繁に」または「時々」業務に利用するようになったとしている。	プロジェクト資料 (4省庁の計13人へのインタビュー結果に基づく)
6-1 経済統計調査結果の評価及び事業所調査に関する研修実施回数、参加者数	現在実施中	プロジェクト資料
6-2 研修参加者の経済統計調査結果の評価及び事業所調査に関する理解度	現在実施中	プロジェクト資料
7-1 地域統計に関する研修実施回数、参加者数	研修実施回数： ＜計画＞3回 ＜実績＞3回 参加者数： ＜計画＞55名 ＜実績＞71名	プロジェクト資料
7-2 研修参加者の地域統計に関する理解度	＜開始時平均＞53.7点 ＜終了時平均＞81.2点	プロジェクト資料

第5章 業務実施機材の供与品目リスト

第一年次には、表 5-1 に示す機材を、NIS に対して供与した。

表 5-1 業務実施機材の供与品目リスト (第一年次)

No.	機材名	型式等	点数
1	サーバー	HP ML370G4	1 台
2	サーバーバックアップ用デスクトップコンピュータ	NEC PowerMate ML-7	1 台
3	ノート型コンピュータ	Toshiba Satellite A80-C431	41 台
		Network Installation for Notebook PCs	1 式
4	サーバー用 OS	Windows Server Enterprise Edition	1 台
5	アプリケーションソフト (Microsoft Office)	Microsoft Office XP Professional	42 台
6	アプリケーションソフト(Adobe Acrobat)	Adobe Acrobat 7.0 Standard Edition	1 台
7	アプリケーションソフト(GIS)	ArcView 9.1	1 台
8	アプリケーションソフト(Antivirus)	TrendMicro Client/Server Suite for SMB	43 台
9	プロジェクター	Sony CS20	1 台
10	プロジェクター用スクリーン	Tripod Remaco LCD Screen	1 台
11	コピー機	Kyocera Mita KM-4035	2 台
12	プリンターA	HP 9500mfp + HP 3000 Sheet Staker	1 台
13	プリンターB	Brother Laser Color HL-2700	1 台
14	UPS 及び自動電圧安定化装置	Hanshin AVR 20KVA	1 台
		Hanshin AVR 2KVA	3 台
		SUNPAC 1600VA	1 台
		SUNPAC 650VA	1 台
15	机	Serrano 1m Desk	43 台
16	椅子	SG 188A	43 台
17	スイッチングハブ	Baseline Switch 2250 Plus	1 台

機材 No. 1 から No.10 及び No.14 から No.18 までの各品目は、政府統計研修において PC を利用して実施する各コースの講義にて使用され、基礎的なコンピュータ利用スキル及びコンピュータによる統計データの集計、分析、公表並びに結果利用に必要なスキルを受講者が習得するのに貢献した。また、機材 No. 11 から No.13 までの各品目は、講義資料の作成及び印刷、講義中に各受講者が作成した資料の印刷に使用された。

供与機材リストについては、現地到着後に実施された NIS との協議並びに現状調査の結果を踏まえ、供与機材をより安全かつ効果的に活用するため、JICA カンボジア事務所の了解を得て、各機材の購送費限度額の範囲内で表 5-2 の通り変更した。

表 5-2 供与品目に関する当初計画との変更点及び理由

No.	特記仕様書記載事項の変更点	理由
1	<p>「第 11 条 供与機材調達」の「供与機材リスト」における「サーバー」については、仕様を以下の通り変更した。</p> <p>(変更前) タイプ：サーバー (タワー型)</p> <p>(変更後) タイプ：サーバー (タワー型またはラック型)</p>	<p>NIS がサーバーを含むネットワークの集中管理施設を設置しており、運用を開始していることを確認したため。</p>
2	<p>「第 11 条 供与機材調達」の「供与機材リスト」における「ノート型コンピュータ (PC)」については、以下の項目を仕様に追加した。</p> <p>(追加事項) 「当該機材をネットワークに接続するための据付工事費用を含む」</p>	<p>NIS が提供した研修室にネットワーク敷設用の設備が存在せず、当該機関に設備据付工事に関する費用負担能力がないことが判明したため。</p>
3	<p>「第 11 条 供与機材調達」の「供与機材リスト」における「UPS」については、機材を「研修室に設置する OA 機材用」と「研修室以外に設置する OA 機材用」に分け、以下の通り変更した。</p> <p>(変更前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 無停電電源装置 (750VA) : 53 台 <p>(変更後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自動電圧安定化装置 (20KVA) : 1 台 ● 自動電圧安定化装置 (2000VA) : 3 台 ● 無停電電源装置 (1500VA) : 1 台 ● 無停電電源装置 (750VA) : 1 台 	<p>NIS が提供した研修室において実施された電源設備工事の結果として電源の集中管理が可能になったため。</p>

No.	特記仕様書記載事項の変更点	理由
4	<p>「第 11 条 供与機材調達」の「供与機材リスト」における「スイッチングハブ」については、機材の数量及び仕様を以下の通り変更する。</p> <p>(変更前)</p> <ul style="list-style-type: none"> • スwitchingハブ (16 ポート) : 5 台 <p>(変更後)</p> <ul style="list-style-type: none"> • スwitchingハブ (48 ポート) : 1 台 <p>また、「第 11 条 供与機材調達」の「供与機材リスト」における「スイッチングハブ及びLAN ケーブル」として、両機材の購送限度額の範囲で購入するものとする。</p>	<p>NIS がサーバーを含むネットワークの集中管理施設を設置しており、運用を開始していることを確認でき、小型の同機材を 5 台購入するに比して大型の同機材を 1 台購入する方がネットワーク管理上望ましいため。</p> <p>また、「LAN ケーブル」については、「スイッチングハブ」と併せて購入が可能のため。</p>

2006 年 3 月には、本プロジェクトにおける法人一括契約の範囲外の子算による品目の購買並びに供与を支援した (表 5-3 を参照のこと)。

表 5-3 業務実施機材の供与品目リスト (直営部分、第一年次)

No.	機材名	型式等	点数
1	車両	TOYOTA Prado GX 10 DSL PWR	1 台
2	エアコン A	Venco Hitachi Floor Standing Type KFR-120LW	1 台
3	エアコン B	SHARP Plasma Cluster Split Type AH/AU-AP18FMV	1 台
4	パソコン	Toshiba Satellite L20-P440	10 台
5	自動電圧安定化装置	Hanshin 1000VA	6 台

第二年次には、表 5-4 に示す機材を、NIS に対して供与するべく調達等の作業を実施している。

表 5-4 業務実施機材の供与品目リスト (第二年次)

No.	機材名	型式等	点数
1	アプリケーションソフト (ArcView)	ArcView 9.1	9
2	コンピュータ増設用メモリ	512MB	10
3	モバイル型プリンター	Resolution: 4,800*1,200 (max)	1
4	GPS レシーバ及び充電池	Garmin GPSMAP60C-AP, GPSMAP76C-AP	5
5	コピー機用スキャナー・フィ ニッシャー	Scan Function (E) for KyoceraMita KM-4035	1
6	プリンター	Print Technology: Laser Resolution: 3,600dpi CPU:533MHz Network Interface: IEEE1284 (parallel), 10/100 Ethernet	1
7	外付けハードディスク	300GB, USB Interface	1

機材 No. 1 から No.7 の各品目は、人口センサス準備に向けた調査区設定実習作業にて使用されている。

また、第二年次には、本プロジェクトにおける法人一括契約の範囲外の予算による品目の購買並びに供与を支援する (表 5-5 を参照のこと)。

表 5-5 業務実施機材の供与品目リスト (直営部分、第二年次)

No.	機材名	型式等	点数
1	ソフトウェア (Microsoft Office)	Microsoft Office Professional Edition	10
2	ソフトウェア (Antivirus)	Platform: Microsoft Windows XP	10

第6章 合同調整委員会開催記録

(1) 第1回 JCC

日時： 2005年11月11日（金）9:00～10:00

場所： NIS2 階会議室

出席者：

- ① カンボジア国側：San Sy Than 局長、Seng Seuong 局次長、Kyu Sary 局次長、Hang Lina 局次長、Has Bunton 局次長、Vy Heang 部長、Hor 部長、Em Samoeurn 部長、Yem Sourng 部長、Mich Kanthul 部長、Kim Net 課長補佐（以上、NIS）、Heng Sokun カンボジア開発評議会（CDC）部長（代理出席）、Heang Seakly 計画省計画局次長
- ② 日本側：力石 JICA カンボジア事務所長、笠原 JICA カンボジア事務所企画調査員、西チーフアドバイザー、白川専門家、井上専門家、西村専門家、柴沼専門家

議事次第：

- ① NIS 局長挨拶
- ② JICA カンボジア事務所長挨拶
- ③ JCC メンバーの確認並びに JCC の役割・機能の確認
- ④ 本プロジェクトの概要及び業務内容

確認内容：

- ・ インセプションレポートを原案通り承認する。

討議内容：

- ・ インセプションレポートに提示された政府統計研修計画において、計画省州事務所統計担当職員及び関連省庁職員が含まれ、カンボジアの政府統計制度全体に対する支援となっていることは、2005年10月にNISが取りまとめたカンボジア政府の「Statistical Master Plan」の方向性とも合致しており、高く評価できる。（San Sy Than NIS 局長）
- ・ 本プロジェクトの人材育成活動は、国家貧困削減戦略（National Poverty Reduction Strategy）やミレニアム開発目標（Cambodian Millennium Development Goals）の評価を行っていくためのキャパシティ・デベロップメントにとっても重要であろう。（Heang Seakly 計画省計画局次長）
- ・ 本プロジェクトの活動においては、NIS 職員による講義実施能力を高めて将来は自らが教えられるようにすることが重要である。すでに知識やスキルを身につけている幹部職員にも政府統計研修に参加してもらいたい。（力石 JICA カンボジア事務所長）

(2) 第2回 JCC

日時： 2006年3月14日（火）9:00～10:00

場所： NIS2 階会議室

出席者：

- ① カンボジア国側：San Sy Than 局長、Kyu Sary 局次長、Hang Lina 局次長、Has Bunton 局次長、Vy Heang 部長、Hor Darith 部長、Tith Vong 部長、Mich Kanthul 部長、Ouk Eam 部長補佐、Kim Net 課長（以上、NIS）、Heng Sokun カンボジア開発評議会（CDC）部

長（代理出席）、Kuy Phala 教育・青年・スポーツ省副部長（代理出席）

- ② 日本側：力石 JICA カンボジア事務所長、笠原 JICA カンボジア事務所企画調査員、井上専門家、柴沼専門家

議事次第：

- ① NIS 局長挨拶
- ② JICA カンボジア事務所長挨拶
- ③ 第一年次のプロジェクト活動報告
- ④ プロジェクト成果指標の設定
- ⑤ 第二年次のプロジェクト計画の討議
- ⑥ その他懸案事項の討議

確認内容：

- 第一年次のプロジェクト事業進捗報告書（第一号）（第一年次の業務完了報告並びに第二年次の業務計画）を原案通り承認する。
- 第二年次の業務計画の変更に伴い、Project Design Matrix 並びに Plan of Operation の変更を原案通り承認する。

討議内容：

- JICA による本プロジェクトに対する多大な支援に感謝する。これほどまでに大規模な研修プログラムは NIS では開催したことがなく、スウェーデンなど他のドナーにも大変驚かれ、かつ賞賛されている。（San Sy Than 局長）
- 本プロジェクトにおいて、実践的かつ包括的な政府統計研修を実施し、300 名近くの政府統計職員が受講できたことを嬉しく思う。また、2006 年 2 月 27 日のナショナル・ワークショップにおいて、フンセン首相より人口センサスの実施が宣言されたことを祝福したい。（力石 JICA カンボジア事務所長）
- 第一年次の政府統計研修は成功裏に実施され、受講者の理解度の向上も確認された。第二年次に関しては、人口センサスの準備や四半期事業所調査の実施に向けた実習を行うために研修プログラムの一部を変更したい。（井上専門家）
- 研修プログラムを変更して実習を増やすことに感謝したい。人口センサスも重要であるが、多くの低開発途上国と同様にカンボジアでも整備が遅れている経済統計分野での実習が行われることは大変重要である。（San Sy Than 局長）
- 教室での集合研修と実習が関連付けて行われることは大変効果的であると思う。（Has Bunton 局次長）
- 本プロジェクトにおける政府統計研修プログラムは、政府統計職員の職業倫理の向上につながっているだろうか。（力石 JICA カンボジア事務所長）
- 現在のところ、研修後に受講者に起こっている変化は小さなものであると思うが、それでも、身につけた知識やスキルを実際の仕事に生かしたいという気持ちが高まっていると思う。（Has Bunton 局次長）
- 受講者やその上司からは、もっと勉強したい（させたい）という強い要望が寄せられている。（San Sy Than 局長）

- 特に若い受講者の潜在意識はとても高いと思う。(井上専門家)
- 受講者からは、特に統計分析の分野でもっと学びたいという要望が多く寄せられている。
(Kim Net 課長)

- 第二年次の政府統計研修の中で、調査区設定実習に関する検討経過を知りたい。(San Sy Than 局長)
- 現在、NIS、JICA 並びに UNFPA の三者合同で検討を進めている。実施方法にはいくつかの選択肢があることで合意しており、その実現可能性について三者がそれぞれ検討を行っているところである。(柴沼専門家)
- JICA はカンボジアにおいて、これまでも地図作成や GIS の分野で大規模かつ優れた支援を行ってきた。統計目的での地図の電子化については、予算が確保できるならば検討する価値があり、成果品の利用価値も高いと思う。(力石所長)

第7章 今後の案件実施スケジュール

現時点において、2007年4月から2010年8月まで本プロジェクトの第2フェーズを実施するよう、カンボジア政府より Application Form が提出されている。第2フェーズが採択された場合、以下の項目が含まれることが想定される。

- 【人口センサス・調査企画】
- 【人口センサス・調査区設定】
- 【人口センサス・集計】
- 【人口センサス・分析】
- 【人口センサス・データベース】
- 【人口センサス・結果提供】
- 【人口センサス・小地域統計】
- 【事業所リスティング】

第8章 プロジェクト実施に関する特記事項

8.1 提案した計画に対するカンボジア政府高官のコメントの要約

本プロジェクトで提案された計画に対しては、カンボジア政府計画省大臣及び局長から以下のようなコメントを得ている。

- 日本政府の多大な支援により 2008 年人口センサス実施への協力を含む技術移転が行われていることは、カンボジアにおける貧困削減、社会経済計画の達成のためにも大変重要な貢献であり、感謝している。(Chhay Than 計画省大臣)
- インセプションレポートに提示された政府統計研修計画において、計画省州事務所統計担当職員及び関連省庁職員が含まれ、カンボジアの政府統計制度全体に対する支援となっていることは、2005 年 10 月に NIS が取りまとめたカンボジア政府の「Statistical Master Plan」の方向性とも合致しており、高く評価できる。(San Sy Than NIS 局長)
- JICA による本プロジェクトに対する多大な支援に感謝する。これほどまでに大規模な研修プログラムは NIS では開催したことがなく、スウェーデンなど他のドナーにも大変驚かれ、かつ賞賛されている。(San Sy Than 局長)

8.2 プロジェクト運営上の課題、及びそれを克服するための工夫、教訓

8.2.1 カウンターパート機関について

カウンターパート機関である NIS は本プロジェクトの実施について大変積極的であり、それが政府統計能力の持続的な向上や人口センサスを含む主要統計調査の実施に不可欠であることを明確に理解していた。他方で、特に第二年次以降は、政府統計の重要性を理解する他ドナー（世界銀行、UNDP、UNICEF、SIDA、GTZ など）のプロジェクトが開始または再開され、ドナー間連携の必要性が増大している。

一方で、NIS の独自財源は年々増えているものの、年間 40 万ドル程度であり、一般職員に対して月額 40 万ドル程度の給与を支払う以外に、独自に統計調査を比較する資金的能力に欠けている。

8.2.2 政府統計分野に関する現状と課題

前述の通り各ドナーから政府統計分野に関する支援が増大しており、人口保健分野や社会分野など主に家計を対象とする統計調査が整備されつつある。また、本プロジェクトも支援している 2008 年人口センサスの実施により、これらの調査を継続的に実施するための基盤も整備されることが期待できる。一方、経済分野の統計調査は依然として遅れており、NIS の独自財源が限られていることから、更なる支援が求められている。

8.2.3 今後のプロジェクト実施における留意事項

第二年次前半作業の活動及び2008年人口センサス実施に向けた準備作業の必要性を踏まえ、第二年次後半作業の業務においては以下の点に留意する必要があると考える。

- ・ 人口センサスの実施に向けた調査区設定等の作業を引き続き支援していく必要がある。
- ・ 本プロジェクトの第1フェーズが第二年次後半作業をもって完了する見通しになったことを踏まえ、残りの政府統計研修の各コースを着実に実施するとともに、研修補佐を担当するNIS職員の知識レベルの向上に留意する必要がある。
- ・ 第一年次と第二年次前半作業にてすでに16コースの研修コースを実施しており、延べ477名が参加している。加えて、NISにおいては第二年次後半作業の時期において「年次社会経済調査」(Annual Household Socioeconomic Survey)や「負傷事故状況調査」(Injury and Accident Survey)など多数の調査員を拘束する調査が実施される予定である。場合によっては、各研修コースの受講者数の見直しに関する検討が必要となる事態が想定される。

8.2.4 プロジェクトの自立発展性向上のためにカンボジア政府が取り組む必要のある事項

プロジェクトの自立発展性向上のための最大の阻害要因は、NISが職員の給与または日当等を全額負担できず、独自に研修プログラムを実施する能力に欠けている点である。この点については、主要な職員を選抜して十分な給与を支払うためにカンボジア政府が取り組んでいる「Priority Mission Group」のNIS職員への導入により、研修講師となるべき職員に対して独自財源で給与を全額支払うことなど、NISが独自に継続的な研修プログラムを実施できるような基盤整備が不可欠である。

8.2.5 類似プロジェクト、類似分野への今後の協力実施にあたっての教訓、提言

今後、他国において類似プロジェクトを実施するにあたって留意する必要がある事項は以下の通り考えられる。

- ・ カウンターパート機関での人材育成状況や今後の人材ニーズを見極め、各業務分野で一定以上の知識・能力の必要な職員数を定義することが不可欠である。その上で、各研修コースの開催数や参加者を検討する必要がある。
- ・ カウンターパート機関の職員に対する現有知識やスキルに関する調査を実施した上で、研修の難易度や内容を決定するべきである。そのためには、初回の研修コース実施前に現地作業として対象職員に対する聞き取り調査や研修教材の作成・修正期間を確保する必要がある。
- ・ コンピュータの操作能力と統計に関する知識やスキルは比例しないことがある(政府統計に関する経験年数の長い中堅職員が、必ずしもコンピュータの操作能力を身につけているとは限らないため)。コンピュータの操作能力に関する研修コースを独立して実施するなどの工夫が必要である。
- ・ コンピュータを利用するなど実習を含む研修は、少人数制で効果を発揮する。研修の効果を最大化するためには、対象人数を過大にしないための工夫が必要である。
- ・ 以上の諸点に関するニーズ及び現状を把握するため、事前評価調査などにおいて対象機関

の現状が適切に把握され、プロジェクト計画に反映されていることが重要である。

- ・ 本プロジェクトにおける人口センサス準備作業に係る実習のように、複数のドナーからの専門家が技術協力を分担する場合には、調整業務を担当する1人または複数の専門家が切れ目なく滞在していることが必須となる。プロジェクト期間において専門家の不在期間が長い場合は、ドナー協調及びカウンターパート機関との意思疎通に支障を来し、結果として複数のドナーによる技術協力の重複などが発生する恐れがある。その場合、プロジェクトが当初計画した支援が円滑かつ過不足なく行われなくなるリスクが生じる。

第9章 収集資料一覧表

収集資料リストを以下に示す。

プロジェクト名：カンボジア国政府統計能力向上計画

番号	名称	形態		発行機関	発行年
		図書・ビデオ 地図・写真等	オリジナル・コピー		
1	1998 Population Census: Final Census Results	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2002
2	1998 Population Census: Report 1- Fertility and Mortality	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	1999
3	1998 Population Census: Report 2- Nuptiality	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	1999
4	1998 Population Census: Report 3- Labour Force and Employment	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2000
5	1998 Population Census: Report 4- Housing and Household Amenities	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2000
6	1998 Population Census: Report 5- Spatial Distribution and Migratory Movements	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2000
7	1998 Population Census: Report 6- Population Projections 2001-2021	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2000
8	1998 Population Census: Report 7 - Literacy and Education	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2000
9	1998 Population Census: Report 8- Women in Cambodia	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2000
10	1998 Population Census: Thematic Maps and Charts	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2001
11	Demographic Survey of Cambodia 1996	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	1996
12	Organization and Administration of 1998 Population Census	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2001

番号	名称	形態 図書・ビデオ 地図・写真等	オリジナル・コピー	発行機関	発行年
13	1998 Population Census: ENUMERATOR'S MANUAL	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	1998
14	1998 Population Census: SUPERVISOR'S MANUAL	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	1998
15	1998 Population Census: TRAINER'S MANUAL	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	1998
16	1998 Population Census: Edit Rules for Manual Coding & Editing	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	1998
17	1998 Population Census: Tabulation Plan	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	1998
18	Demographic and Health Survey 2000: Final Report (English)	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2001
19	Establishment Survey 2000	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2003
20	Establishment Survey 1993	図書	コピー	National Institute of Statistics	1994
21	First Revision Population Projection for Cambodia 1998-2020	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2004
22	Inter-censal Population Survey 2004: General Report	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2004
23	Inter-censal Population Survey 2004: Report 2- Nuptiality	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2005
24	Inter-censal Population Survey 2004: Report 3- Labour Force and Employment	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2005
25	Inter-censal Population Survey 2004: Report 4- Housing and Household Amenity	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2005
26	Inter-censal Population Survey 2004: Report 8- Women in Cambodia	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2005
27	Inter-censal Population Survey 2004: General Report at Province Level (12- Phnom Penh Municipality)	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2005

番号	名称	形態		発行機関	発行年
		図書・ビデオ 地図・写真等	オリジナル・コピー		
28	Socio-Economic Survey 2004: Summary Subject Matter Report	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2005
29	Socio-Economic Survey 1999: Final Report	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2000
30	Socio-Economic Survey 1999: Technical Report on Survey Design and Implementation	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2000
31	Report on Child Labour Survey 2001	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2002
32	Child Domestic Worker Survey Phnom Penh 2003	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2004
33	National Account of Cambodia 1993-2004	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2005
34	Quarterly National Accounts: March Quarter 2003 to September Quarter 2005	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2006
35	Cambodian National Accounts Statistics: Concepts, Sources and Methods Manual	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2004
36	Cambodian Prices Statistics: Concepts, Sources and Methods Manual 2004	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2005
37	Consumer Price Index (June Quarter 2001 to June Quarter 2003)	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2003
38	Cambodia Statistical Yearbook 2005	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2005
39	Statistical Master Plan for Cambodia	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2005
40	2008 General Population Census Plan of Cambodia	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2006
41	Annual Report on Tourism Statistics	図書	オリジナル	Ministry of Tourism	2005
42	Inter-censal Population Survey 2004: General Report at Province Level (05- Kampong Speu Province)	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2005

番号	名称	形態 図書・ビデオ 地図・写真等	オリジナル・コピー	発行機関	発行年
43	Demographic and Health Survey 2005: Preliminary Report	図書	コピー	National Institute of Statistics	2005
44	Labor Force Survey of Cambodia 2001	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2002
45	Cambodia Statistical Yearbook 2001	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2002
46	Statistics Law	図書	オリジナル	National Institute of Statistics	2005
47	Advocacy and Resource Mobilization for the 2010 Round of Censuses 2005	図書	オリジナル	UNFPA	2005
48	A Poverty Profile of Cambodia 2004	図書	オリジナル	Ministry of Planning	2006
49	Guidebook of Cambodian companies Registration 2005	図書	オリジナル	Ministry of Commerce	2005

別 添

カンボジア政府統計能力向上計画 第1回短期派遣報告書

1. 短期専門家の派遣期間

平成17年8月28日(日) プノンペン着、9月4日(日) 東京着

2. 短期専門家の構成

西 文彦 総務省統計研修所研究官室統計専門職
星野 健 独立行政法人統計センター情報処理課上級製表職

3. 短期専門家の派遣目的

R/Dでは、本短期専門家の派遣をもって、本プロジェクトの開始となっており、本年度のスケジュールやプロジェクトの主要な活動内容である研修計画(案)、2005年度供与機材(案)等について、詳細に協議することを主な目的としている。

4. カンボジア政府側の短期専門家受入機関

カンボジア統計局(National Institute of Statistics, NIS)

5. 主な活動内容

(1) Tentative Implementation Schedule in 2005FY (First Draft)の作成

本資料についてNIS側と協議し、概ね了承された。(保存資料1)
なお、今年度の年間計画は、次回の第2回短期派遣時に作成する。

(2) Training Plan(Draft)の作成

本資料についてNIS側と協議し、概ね了承された。(保存資料2)

(3) Machinery and Equipment List in 2005FY(Draft)の作成

本資料について、概要案という前提でNIS側と協議し、概ね了承された。
(保存資料3)

プロジェクト実施計画書では、今年度の供与機材費は、約1千4百万円となっているものの、本資料では供与機材の見積額は約4千万円に達している。来年度以降に持ち越し可能な機材を除いても、約3千万円は必要である。この予算が確保できなければ、本プロジェクトの活動内容を、今年度は大幅に縮小することになるので、改めて予算の確保を強くお願いしたい。

(4) UNFPAとの協議

UNFPAカンボジア事務所を訪問し、以下の協議を行った。

上記の保存資料1を提示し、当方の当面のスケジュールをUNFPAに伝え、保存資料2により、当方の研修計画を説明した。また、2008年人口センサスへの支援については、UNFPAの拠出金が確定次第、当方も正式な支援に踏み切ることや、人口センサスの後半部分、すなわち、集計、分析、提供の部分を担当したいという、これまでの主張を改めて伝えた。

一方、UNFPAは、2008年人口センサス支援のプロポーザルを作成するために、9月4日の週からUNFPA専門家をNISに派遣する予定である。そのプロポーザルについては、各省庁やドナーにコメントを求めた上で、10月中旬頃を目途に、資金調達のためのセミナーをブノンペンで開催する予定とのことである。また、UNFPA自身が確保できる見込みの資金は、これまでどおり、必要と見込まれる850万ドルのうち150万ドルとのことである。

また、UNFPAから、先方と当方の研修計画がバッティングするのではとの質問があったが、先方の研修計画は専ら人口センサスに関するものであり、当方の研修計画は統計全般に関するものなので、バッティングしないと回答した。

本プロジェクトは、上述のセミナー後のUNFPAの資金調達状況を見ながら、人口センサスの前半部分、すなわち、調査区設定(mapping)、調査票の設計・印刷、調査員研修、実地調査、調査員手当などに、無償ノンプロ見返り資金をどのように活用できるかを検討する。

(5) SV及びJOCVとの連携

本プロジェクト担当所員、SV調整員、JOCV調整員、本短期専門家、SV及びJOCVが列席の下、本プロジェクトとSV及びJOCVとの連携については、それぞれの枠組みを踏まえて、可能な範囲での連携をすることで概ね合意が得られた。

なお、連携する場合には、活動ごとにJICA事務所と相談の上、円滑な連携を図る。

連携が可能な事例として、本プロジェクトの供与機材をSV及びJOCVの活動に可能な範囲で有効利用すること等が考えられる。

(6) 事業所調査及び労働力調査の検討

前回調査における問題点及び次回調査に向けての改善策について、NISの各調査担当と協議を行った。

事業所調査の実施については、R/D上で明記されているが、一方、労働力調査については、必ずしも明記されていない。労働力調査の結果は、MDGの中でも最も重要な指標と位置づけられていることから、実施に向けて前向きな検討を強く希望する。

(7) モデル州の選定について

モデル州については、5大州のPhnom Penh, Siem Reap, Shihanouk Ville, Battambang, 及びKampong Chamのほか、Kandal及びSvay Riengの7州を選定することで概ね合意が得られた。

なお、現在、中央と地方とのデータのやりとりは、職員が出張することにより行われている。このように経費も時間もかかるハイコストな現状を改善するためには、地方にパソコンを新規導入し、E-mailによるデータ転送を実現する必要があるので、地方へのパソコンの新規導入及び中央に受け入れ用サーバー(Remote Access Server)等の新規導入を強く希望する。

(8) 統計セミナーの開催について

統計セミナーの開催は、本年 11 月 4 日（金）を候補日とすることで、概ね合意が得られた。統計セミナーの主な内容案は、以下のとおりである。

時 間：午前 9 時から 12 時

場 所：N I S 大会議室

召集者：約 100 名。26 省庁（統計部門の長）、24 州（統計事務所長）、ドナー、N I S 職員など

発表者：4 名。チーフアドバイザー、民間総括専門家、N I S 局長、及びプロジェクトマネージャー

6. 保存資料

- 保存資料 1 Tentative Implementation Schedule in 2005FY (First Draft)の作成
- ” 2 Training Plan(Draft)の作成
- ” 3 Machinery and Equipment List in 2005FY(Draft)の作成

平成17年11月14日
短期専門家 西、白川

カンボジア政府統計能力向上計画 第2回短期派遣報告書

1. 短期専門家の派遣期間

平成17年10月9日(日)東京発、11月13日(日)東京着

2. 短期専門家の構成

西 文彦 総務省統計研修所研究官室統計専門職

白川清美 独立行政法人統計センター情報処理課上級製表職

3. 短期専門家の派遣目的

第1回JCCの開催、第1回統計研修の開講、来年度(2006年度)Annual Work Planの検討、フェーズ2立ち上げに向けての検討、UNFPAとの協議、成果指標の確定等を主な目的としている。

4. カンボジア政府側の短期専門家受入機関

カンボジア統計局(National Institute of Statistics, NIS)

5. 主な活動内容

(1) 第1回Joint Coordinating Committeeの開催

11月11日(金)、NISにて開催し、今年度のAnnual Work Planについて、Committee Membersの了承を得た。(保存資料1)

(2) 第1回統計研修の開講

11月10日(木)、NISにて開講式を開催し、40人の研修生に対して統計研修を開始した。なお、本開講式の様子は、地元のCTNテレビで同夜放映され、また一般紙にも翌日掲載された。

(3) 民間専門家の着任

10月30日(日)、長期滞在予定の井上専門家及び柴沼専門家2人を始め、延べ3人の短期専門家が着任し、今後の活動の進め方等について、協議を行った。

(4) 2008年人口センサス・セミナーへの出席

10月20日(木)、プノンペン市内で開催されたNIS主催の同セミナーに出席し、2008年人口センサス支援を意思表示した。同セミナーには、UNFPAを始めとした各ドナーや各国の大使館関係者が出席した。

(5) UNFPA Country Program セミナーへの出席

10月26日(水)、プノンペン市内で開催されたUNFPA主催の同セミナーに出席した。同セミナーには、カンボジア各省庁や各ドナーが出席した。

(6) UNFPAカンボジア事務所訪問

11月8日(火)、井上専門家及び柴沼専門家とともに、同事務所を訪問し、Maas所長から2008年人口センサスに向けてのUNFPAの準備状況等についてヒアリングを行った。これに先立ち、10月21日(金)、2008年人口センサスについて、UNFPA担当者Mr. Rathanaと個別の協議を行った。

(7) 2008年人口センサスに関するヒアリング

11月3日(木)、NISにて、San Sy Than局長及び担当職員から、2008年人口センサスに向けてのNISの準備状況等についてヒアリングを行った。これに先立ち、10月11日(水)、2008年人口センサスについて、NIS担当者Ms. Hang Lina (Deputy DG of NIS)等と個別の協議を行った。

- (8) Svay Rieng 州計画局統計課訪問
10月17日(月)～18日(火)、7つのモデル州のうち、Svay Rieng 州計画局統計課を訪問し、基本的な事項についてのヒアリングやパソコン導入予定室の視察を行った。(保存資料2)
- (9) Battambang 州計画局統計課訪問
10月23日(日)～25日(火)、7つのモデル州のうち、Battambang 州計画局統計課を訪問し、基本的な事項についてのヒアリングやパソコン導入予定室の視察を行った。(保存資料3)
- (10) Phnom Penh 特別市計画局統計課訪問
10月27日(木)、7つのモデル州のうち、Phnom Penh 特別市計画局統計課を訪問し、基本的な事項についてのヒアリングやパソコン導入予定室の視察を行った。これにより、モデル州7州すべての視察を終了した。(保存資料4)
- (11) 2005年度本邦研修計画案の作成
10月20日(木)、同計画案を作成した。今年度の本邦研修には3人のN I S職員が参加し、来年2月実施という方向で進めている。(保存資料5)
- (12) 2006年度インドネシアにおける研修計画案の作成
10月27日(木)、同計画案を作成した。本計画案の内容は、インドネシア統計局は、来年度、経済センサスを実施することになっており、その担当者と意見交換するために、専門家1人、カウンターパート2人を約1週間、インドネシアに派遣する。(保存資料6)
- (13) プロジェクト成果指標案の作成
11月1日(火)、同成果指標案の概要を三次次長及び笠原所員に説明した。
- (14) 事業所調査に関するヒアリング
10月14日(木)、同調査についてN I S担当者 Mr. Mich Kanthul からヒアリングを行った。
- (15) 労働力調査に関するヒアリング
10月14日(木)、同調査についてN I S担当者 Mr. Seng Soeurn (Deputy DG of NIS) からヒアリングを行った。
- (16) 統計センター建設
10月13日(水)、同センター建設について、San Sy Than 局長及び担当職員からヒアリングを行った。
- (17) I T関連の個別研修の実施
カウンターパートからの要望に応じて、以下の研修を実施した。
- ①プログラミング研修
N I SのI T担当職員(3～5名)に対して、10月14日(木)、10月21日(木)、10月28日(木)の3回(1回2時間)にわたって、MS-EXCEL、MS-ACCESS、及び文字認識・OCRの活用に関する研修を実施した。
- ②ネットワーク及びセキュリティ研修
N I SのI T担当職員(2～3名)に対して、10月27日(水)、11月3日(木)、11月4日(金)の3回(1回1時間)にわたって、ネットワークの必要性、ネットワークの概念、及びネットワークの管理者の役割に関する研修を実施した。
- ③ウィルス対策・駆除に関する研修
N I Sのカウンターパート(1名)に対して、O J T方式により、ウィルス対策・駆除に関する研修を実施した。

6. 重要検討課題

(1) 来年度（2006年度）Annual Work Plan の検討（2008年人口センサスへの対応）

N I Sは、2008年人口センサス実施に関する Sub Decree を1～3か月以内に施行することを目途に準備を進めている。この Sub Decree が施行されたならば、2008年3月3日に人口センサスを実施することが法的に確定する。

また、San Sy Than 局長によると、2008年6月又は7月には、総選挙が実施される予定であり、総選挙後は、Disturbance も予想されることから、人口センサス実施日の変更は考えていないとのことである。

これに関連して、UNFPAは、10月20日（木）に開催されたN I S主催の2008年人口センサス・セミナーにおいて、支援の意思表示をしており、人口センサスの総経費見積額580万ドルのうち、350万ドル（UNFPA Regular Source USD1.5 mil, Other Source USD2mil）の支援の可能性を見込んでいる。

以上のことから、2008年3月3日に人口センサスが実施されることは確実な情勢となった。

N I S及びUNFPAは、2006年1月から2008年人口センサスの準備作業を開始する予定である。

また、本プロジェクトのR/D（IX. Term of Cooperation）には、2008年人口センサスの実施が確認され次第、プロジェクトの期間もしくはフェーズ2の検討を行うと明記されている。

このような状況を踏まえて、本プロジェクトは、来年度以降の活動内容を見直すべきであると考えられる。

具体的な修正案として、以下のような案が考えられる。

現行の活動内容は、来年度中に、6か月単位の研修を2回実施することになっているが、修正案では、そのうち1回の研修を取り止め、研修は1回のみとし、その代わりに、人口センサスに対する支援を新たに追加する。ちなみに、2006年度に予定されている人口センサスの主な作業は、試験調査の実施、人口センサス担当職員の研修、調査票や調査員マニュアルの見直し、マッピング等である。

(2) フェーズ2の立ち上げ

2008年人口センサス支援を中心としたプロジェクトの立ち上げ。
無償ノンプロ見返り資金をからめた人口センサスへの支援の検討。

(3) 事業所調査の実施に対する支援

来年度、従業者数20人以上を対象とした事業所調査に対する支援を検討すべきである。調査対象となる事業所は1万件を超えないと見込まれる。見込まれる経費は約4万ドルである。

(4) 労働力調査の実施に対する支援

2007年度、労働力調査に対する支援を検討すべきである。調査対象となる世帯は約5千世帯で、見込まれる経費は約4万ドルである。

6. 保存資料

- 保存資料 1 Annual Work Plan
- 〃 2 Svay Rieng 州計画局統計課からのヒアリング (メモ)
- 〃 3 Battambang 州計画局統計課からのヒアリング (メモ)
- 〃 4 Phnom Penh 特別市計画局統計課からのヒアリング (メモ)
- 〃 5 2005 年度本邦研修計画案
- 〃 6 2006 年度インドネシアにおける研修計画案

カンボジア政府統計能力向上計画 第3回短期派遣報告書

1. 短期専門家の派遣期間

平成18年1月8日(日)プノンペン着、1月29日(日)東京着

2. 短期専門家の構成

西 文彦 総務省統計研修所研究官室統計専門職

高橋 雅夫 総務省統計局統計調査部事業所・企業統計室課長補佐

3. 短期専門家の派遣目的

今回の短期専門家の派遣目的は、①2006年度 Annual Work Plan 案の作成、②2005年度民間委託業務のレビュー、③第1回統計セミナーの開催、④2008年人口センサス支援に関する調整、⑤統計研修の監督、⑥事業所・企業統計調査の改善、⑦経済統計調査結果評価・事業所調査に関する研修分野の計画作成、⑧2005年度民間委託業務である研修の効果検証、⑨統計調査集計研修、統計調査結果利用研修の指導である。

4. カンボジア政府側の短期専門家受入機関

カンボジア統計局(National Institute of Statistics, NIS)

5. 主な活動内容

(1) 2006年度 Annual Work Plan 案の作成

2006年度 Annual Work Plan は、基本的には、業務計画書(平成17年10月)の枠組みを維持し、6か月の研修を2回実施する、また、2005年度から2006年度に繰り越された研修も併せて実施する、という案(以下の修正を含む。)をNISに伝えた。

ただし、研修内容については、2008年人口センサス支援等に向けて、以下(2)～(3)のとおり、修正する。

なお、以下(2)～(3)については、以下の案を前提とした予算措置を検討するという主旨をUNFPA又はNISに伝えたということであり、以下の案をコミットしたという主旨ではない。

(2) 2008年人口センサス支援

本プロジェクトの2006年度における2008年人口センサス支援は、統計調査企画研修の枠内で以下のとおりの案とする。

2008 Population Census Work Plan (12 Jan. 2006 by UNFPA) に基づいて、技術面では、全体を通じて、UNFPA及びNISと協調して実施したい旨を、1月12日の打ち合せで、UNFPA及びNISに伝えた。

なお、経費負担の面では、Pilot Census(1回)、Pre-test(3回)、Workshop(2回)及び職員の研修に限定すれば実施の可能性があり、残りの項目については、UNFPA又はNISで負担して欲しい旨をUNFPA及びNISに伝えた。(保存資料1)

さらに、調査区設定 (Delineation of EAs) については、1998 年人口センサスの調査区地図 (カンボジアでは Village Map と呼ばれている。) 及び調査区要図を利用すれば、比較的安価で実施可能である旨を UNFPA 及び NIS に伝えた。調査区設定に対しては、技術支援として 30 人×250 日程度を投入し、また、この中で、既存の調査区地図 (A3 判、約 13,400 枚×3 部)・調査区要図 (A3 判、約 25,200 枚×3 部) 複製経費や新規の調査区地図 (同左)・調査区要図 (同右) 作成経費等に限定して負担する案を NIS に伝えた。

NIS 局長からは、本年 2 月に首相出席の人口センサスセミナー (UNFPA 主催) を開催することもあり、統計研修には高い評価をしているものの、R/D に明記されており、本年 2 月に予定されている人口センサス Sub-Decree の発効後、早期の人口センサス・プロジェクトへの移行を強く希望するとの発言があった。

また、人口センサスのデータ入力への OMR/OCR の導入については、NIS 局長から、2004 年 10 月のプロジェクト形成調査団での議論で、導入しないことになっているのではないかと、との発言があった。

(3) 事業所調査 (サンプル調査) 支援

これについては、NIS 側から、以下のような新たな提案があった。

地域をプノンペン市のみ限定し、調査対象が 200 事業所 (従業者 20 人以上の事業所から抽出する) のみのサンプルの事業所調査を四半期ごとに実施し、事業所の規模、賃金・給与、生産高又は売上高、原価、収益等の営業状況について、その傾向を把握する。また、調査対象は、原則として、毎回、同じ事業所とする。経費の見積りは、1 回につき約 USD2,000+車両代 (10 日間) である。

この提案に対して、本プロジェクトとしては、2006 年度実施予定の経済統計調査結果評価・事業所調査研修の枠内で、四半期事業所調査のために 10 人×45 日程度を投入することも考えられることを NIS に伝えた。

なお、本調査の結果は、本年 5 月 30 日にプノンペンで予定されている AMEICC で発表したいという NIS 側の意向である。(ただし、調査結果の報告は時間的に無理であり、調査の計画の発表になると思われる。) AMEICC とは、"AEM-METI ECONOMIC AND INDUSTRIAL COOPERATION COMMITTEE (日・ASEAN 経済産業協力委員会)" の略称で、AEM-METI とは、"ASEAN ECONOMIC MINISTERS AND MINISTER OF ECONOMY, TRADE AND INDUSTRY OF JAPAN CONSULTATIONS (日・ASEAN 経済大臣会合)" の略称である。この背景として、昨年 ASEAN 統計局長会議で、NIS は、参加国の中で唯一、何の発表もできなかったことが挙げられる。

(4) インドネシアにおける研修

2006 年 5 月に予定されているインドネシアでの研修について、NIS 局長から改めて実施の要望があった。本研修では、インドネシアで 10 年に 1 回実施される 2006 年経済センサスの実施状況視察及び担当者との意見交換を行う予定である。研修期間は 1 週間で、専門家 1 名がカウンターパート 2 名を引率する予定である。

(5) 2005 年度民間委託業務のレビュー

以下の①、②及び (5) のとおり、民間委託業務は順調に進んでいる。

ただし、上記 (2)、(3) 及び下の③については、当初予定を見直す必要がある。

①統計研修

研修受講生数、講師派遣数及び講義内容のいずれも当初の予定どおり順調に進んでおり、NIS 局長からも、「これほど大規模かつレベルの高い研修を実施できるドナーは他にはない」、との高い評価を得ている。スウェーデンの SIDA プロジェクトが、本プロジェクトによる研修規模の大きさ及び内容の充実度に驚いていたとのことである。

しかし、JICA の指示に基づき、特定のコースを除き、各コースの研修受講生数をすべて 40 名としたため、中級レベルのコースに基礎研修の未修了者（多くは他省庁職員）も含めることとなり、中級レベルのコースのうち、とくに統計利用手法研修コースでは、研修生の質に大きなアンバランスを生じ、低レベルの者の引き上げには効果はあったものの、NIS においてこの業務を担当しようとする者にとっては必ずしも満足を得られるものとなっていないように見受けられた。各コースの研修受講生数をすべて 40 名とすることは、中級レベル以上の実務担当者向けコースには不適切と考えられるので、改善される必要がある。

②統計研修用機材の導入

2005 年 11 月末までに、講師及び 40 名の研修受講生用として、41 台のラップトップ・パソコンが NIS 構内の研修室に導入された。また、LAN 環境も今年度内に整備される。これにより、現在は、パソコンを利用した研修が可能となっているが、教室におけるインターネットとの接続を行うことができれば、より効果的な研修ができるものと考えられる。

③統計研修の期間

本プロジェクトの統計研修の 7 つのコースのうち 6 つのコースの期間が 7～12 週間と、かなり長くなっており、このため、NIS の中核の職員が統計研修に参加しにくいという傾向がある。このため、現在の統計研修の内容は変更しないものの、各コースを分割し、研修期間を短くしたコースを多く提供することにより、本統計研修への参加を促す必要がある。

(6) 統計研修の監督

本プロジェクトの統計研修は、まず、講師と研修受講生のコミュニケーションについては、講師が英語で講義（短く区切って説明）し、区切りごとに通訳がクメール語で研修受講生に伝える、という効果的な方法を用いている。通訳は、各科目に比較的精通している NIS 職員が担当しており、研修受講生の理解度を高めている。

また、講義は、PowerPoint を用いて行われており、これも研修受講生の理解度を高めている。さらに、研修効果測定のためのテストも随時実施されている。

(7) 第 1 回統計セミナーの開催

2006 年 1 月 26 日（木）、カンボジア計画大臣を始めとして、NIS 局長、JICA カンボジア事務所長、UNFPA を始めとした各ドナー、カンボジア政府各省庁統計担当者、カンボジアのメディア等、約 60 名の列席の下、第 1 回統計セミナーがプノンペンで開催された。本プロジェクトは、このセミナーの中で、プロジェクトの内容を説明し、パンフレットを配布するなど、プロジェクト活動の広報に努めた。（保存資料 2）

(8) Kampot 州及び Sihanouk Ville 市計画局統計課への出張

2006年1月19日(木)、Kampot 州計画局統計課を訪問し、本プロジェクトの統計研修に対する感想、要望、研修成果の利用予定等についてヒアリングを行った。(保存資料3) また、同20日(金)、Sihanouk Ville 市計画局統計課を訪問し、同様に本プロジェクトの統計研修等についてヒアリングを行った。(保存資料4)

さらに、同20日(金)、Kampot 州 Kampot 郡において、1998年人口センサスの調査区地図及び調査区要図を2008年人口センサスの調査区設定及び実地調査に利用可能か否かを確認するために、1998年人口センサスの調査区地図及び調査区要図を基に、調査区の実地踏査を行い、実際に利用可能であることを確認した。(保存資料5)

(9) 事業所・企業統計調査に関する技術指導

カンボジア統計局(NIS)が実施する予定の事業所調査の企画に資するため、1月11日(水)にNISの事業所調査担当職員等関係者約15名に対し、日本の事業所・企業統計調査の実施方法等の概要及び事業所・企業フレーム等関連する事項について2時間程度プレゼンテーションを行った。(保存資料6)

また、後日(1月17日(火))、NISのKanthul 経済統計課長ほか2名の事業所調査担当職員と、NISが現在実施を計画している四半期事業所調査の企画について議論を行い、調査の企画の進め方に関する助言・指導を行った。主な助言内容は、以下のとおり。

- ・調査の企画に当たっては、まず始めに調査の目的を明確にすることが必要である。
- ・調査の目的にしたがって、その調査によってどのような結果を求めたいのかを明確にすることが必要である。
- ・その上で、必要な調査結果を求めるためにどんな調査事項・調査票が必要かを議論することが重要である。

この助言に基づいてNIS側は、四半期事業所調査の目的等を記載した計画概要の資料を作成した。(保存資料7)

(10) 経済統計調査結果評価・事業所調査に関する研修計画の作成

経済統計調査結果評価・事業所調査に関する研修の計画案を作成し、1月17日(火)及び18日(水)に長期滞在中の井上専門家及び柴沼専門家等民間専門家にその案を提示して協議を行い、概ね了解を得た。(保存資料8)

また、その後、本研修計画の案をNISのThan 局長に提示し、NIS側の意見を求めたところ、研修日数の配分に関して若干の修正を加えることにより、了解を得ることができた。(1月23日(月))

(11) 2005年度民間委託業務である研修の効果検証

今年度これまでに終了した研修のうち、1月13日(金)に終了した「政府統計基礎研修」の受講生40名に対し、研修に対する満足度や研修内容の実務への応用の機会・希望等についてアンケート調査を行った。(保存資料9)

アンケートの結果、大半の受講生が受講した研修に満足しており、また、研修結果を実務に生かしたいと考えていることが判明した。

なお、この「政府統計基礎研修」は、統計に関する基礎的な研修であるため、より進んだ、実務に直結した更なる研修の受講を希望する受講生も多く存在した。

(12) 統計調査集計研修、統計調査結果利用研修の指導

本専門家の滞在期間中に実施されていた統計調査集計研修及び統計調査結果利用研修の講義を視察した。講義は受講生の理解状況を把握しながら丁寧に進められており、また、英語が不得意な受講生のためにクメール語への通訳も行われており、適切に効果的に実施されていることが判明した。

1月18日(水)、当プロジェクトのプロジェクトマネージャーである Mr. Has Bunton 氏に面会し、研修の受講生の選考方法等についてヒアリングを行った。その結果、受講生の選考に当たっては、英語やコンピュータ操作の能力を勘案して行っており、適切な対応がなされていることが判明した。(保存資料 10)

また、同日、本専門家の地方出張先である Kampot 州及び Sihanouk Ville 特別市からの研修受講生(統計調査結果利用研修：各1名)に対し研修に対する満足度等についてアンケート調査を行った。その結果、研修の進捗が若干速いと感じるものの、かなり満足度が高い(概ね80%)こと、研修後は受講内容を実務で活用したいこと、及び、今後もこのような研修を継続して欲しい旨の感想を持っていること等が判明した。(保存資料 11)

一方、1月19日(木)及び20日(金)に Kampot 州及び Sihanouk Ville 特別市を訪問した際に研修生の選考方法及び研修受講後の実務への応用方針等についてヒアリングを行った。その結果、研修受講生は、NIS からの指示に基づき、英語とコンピュータ操作の能力を勘案した上、当該州又は特別市の業務との兼ね合いも考慮して適切に選考されていることが判明した。また、研修受講後は実務に役立てることはもちろんのこと、研修の成果を同僚に伝達するように指示しているとのことであった。

以上のように、統計調査集計研修及び統計調査結果利用研修については、研修受講生の選考から研修の実施、研修受講後の実務への応用に至るまで、概ね適切・効果的に行われていることが判明した。

6. 保存資料リスト

- ① N I S 人口センサス関係者との打ち合せ (メモ)
- ② 第1回統計セミナー関係資料
- ③ カンポット州計画局統計課におけるヒアリング (メモ)
- ④ シアヌーク・ビル特別市計画局統計課におけるヒアリング (メモ)
- ⑤ カンポット州における調査区の実地踏査 (メモ)
- ⑥ 事業所・企業統計調査関係プレゼンテーション資料 (「Outline of the Establishment and Enterprise Census of Japan」及び「Related Topics of the Establishment and Enterprise Census of Japan」)
- ⑦ Outline of the quarterly Survey, 2006
- ⑧ 経済統計調査結果評価・事業所調査研修計画 (案) (日・英)
- ⑨ 「政府統計基礎研修」受講生アンケート調査結果
- ⑩ Has Bunton 氏 (本プロジェクト・マネージャー) からの統計研修に関するヒアリング結果 (メモ)
- ⑪ 「統計調査結果利用研修」受講生(カンポット州、シアヌーク・ビル特別市)アンケート調査結果

カンボジア政府統計能力向上計画 第4回短期派遣報告書

1. 短期専門家の派遣期間

平成18年5月17日(水) プノンペン着、6月2日(金) 東京着

2. 短期専門家の構成

西 文彦 総務省統計研修所研究官室統計専門職

3. 短期専門家の派遣目的

今回の短期専門家の派遣目的は、①2006年度民間委託業務の監督、②2008年人口センサス支援に関する調整、③四半期事業所調査に関する協議、④経済センサスに関するカウンターパート研修の実施、⑤ノンプロ無償資金協力に関する協議、⑥2008年人口センサスの集計システムに関する協議、⑦2006年度本邦研修に関する協議である。

4. カンボジア政府側の短期専門家受入機関

カンボジア統計局(National Institute of Statistics, NIS)

5. 主な活動内容

(1) 2006年度民間委託業務の監督

今年度のプロジェクト活動計画を2006年5月18日(木)、NISに対して説明し、NIS側も大変好意的に了承した。

政府統計基礎研修(第3回)が2006年5月29日(月)、予定どおり開始された。

(2) 2008年人口センサス支援に関する調整

今年度の2008年人口センサスに関する支援計画を2006年5月19日(金)、NISに対して説明した。また、調査区設定に、衛星写真及び航空写真をベースマップとして利用することについては、大変精度の高い効率的な調査区設定が可能となるので、NIS側も大変好意的に了承した。

UNFPA ConsultantのMr. Raoと2006年5月20日(土)2008年人口センサス支援について意見交換を行った。

人口センサス結果提供システム(GISを活用したもの)のプロトタイプをNIS幹部、NIS担当者、及びUNFPA ConsultantのMr. Raoに対して行った。

National Census Committee(NCC、第1回)が2006年5月22日(月)、内務相の主催で開催された。

各省庁連絡会議(第1回)を2006年5月30日(火)、NISで開催し、各省庁の統計職員から政府統計(主に人口センサス)に対する意見・要望の聴取を行った。(2008年人口センサス調査票案は保存資料1のとおり。)

Census Technical Committee(CTC、第1回)が2006年5月31日(水)、NISの主催で開催され出席した。

(3) 四半期事業所調査に関する協議

今年度の四半期事業所調査に関する支援計画を2006年5月30日(火)、NISに対して説明した。協議の結果、今年度は、プノンペン特別市の事業所名簿整備(Listing)を実施することで、NIS側と概ね合意に至った。

(4) 経済センサスに関するカウンターパート研修の実施

インドネシアでは、2006年5月15日から6月末にかけて10年に1度の経済センサスが実施されているため、NIS職員2名を伴って、インドネシア中央統計庁(Statistics Indonesia, BPS)を訪問し、経済センサスに関する講義及び実地調査の研修を2006年5月22日(月)から28日(金)までの5日間実施した。本研修は、インドネシア中央統計庁には大変親切な対応により、成功裏に終わり、インドネシア中央統計庁長官からは、今後も、このような第三国での研修及び本邦研修の継続を希望するとの発言があった。また、受講したNIS職員2名からも大変有意義な研修であったとの発言があった。(本研修のテキストは保存資料2のとおり。)

(5) ノンプロ無償資金協力に関する協議

2006年5月18日(木)、統計センター建設に係るノンプロ無償資金協力の進行状況をNISから聴取した。本件は、現在、カンボジア財務省の了承の下、すでに在カンボジア日本大使館に送付され、回答待ちの状態である。

一方、2008年人口センサス支援に係るノンプロ無償資金協力の申請については、事業所リスティングの実施を前提に、現在検討中である。(2008年人口センサス・事業所リスティングの調査票案は保存資料3のとおり。)

(6) 2008年人口センサスの集計システムに関する協議

2006年5月18日(木)、2008年人口センサスの集計システムに関する構想及び要望をNISから聴取した。NISの構想では、PC100台(LANで接続されたもの)を用いて、データ入力、データエディティング、及び集計し(OCR/OMRを使用する構想はない)、また、集計用ソフトウェアは、CSPro等を候補としている。今後は、この構想を前提として、必要な支援を引き続き検討を進める。

(7) 2006年度本邦研修に関する協議

2006年5月29日(月)、2006年度本邦研修に関する要望をNISから聴取した。協議の結果、来年1月から2月にかけて、NIS職員2名を研修生として日本に派遣することを前提として、今後検討することで概ね合意に達した。また、研修の内容は、2008年人口センサスの集計の中核となる人材を育成することを前提として今後引き続き検討を進める。

6. 保存資料リスト

- 保存資料1 2008年人口センサス調査票案
- 〃 2 経済センサスに関するカウンターパート研修テキスト
 - ① Overview of 2006 Indonesian Economic Census
 - ② Methodology of 2006 Indonesian Economic Census
 - ③ Highlight of 2006 Indonesian Economic Census
 - ④ Data Processing of 2006 Indonesian Economic Census
 - ⑤ Analysis of 2006 Indonesian Economic Census
 - ⑥ Dissemination of 2006 Indonesian Economic Census
 - ⑦ Overview of BPS
 - ⑧ Organization Structure of BPS
 - ⑨ Outline of BPS
 - 〃 3 2008年人口センサス・事業所リスティングの調査票案
 - 〃 4 人口センサス結果提供システム（GISを活用したもの）のプロトタイプ

カンボジア政府統計能力向上計画 第5回短期派遣報告書

1. 短期専門家の派遣期間

平成18年7月20日(木) プノンペン着、8月4日(金) 東京着

2. 短期専門家の構成

西 文彦 総務省統計研修所研究官室統計専門職

金室 貴子 (独) 統計センター製表部情報処理課上級製表専門職

3. 短期専門家の派遣目的

今回の短期専門家の派遣目的は、①2006年度民間委託業務の監督、②2008年人口センサス支援に関する協議、③ノンプロ無償資金協力見返り資金に関する協議、④ASEAN Census Meeting (UNSD、UNFPA 主催) への出席、⑤第2フェーズに向けて関連機関との協議、⑥2006年度民間委託業務である研修の効果検証、⑦2008年人口センサスの集計システムに関する協議、⑧2006年度本邦研修に関する協議、⑨統計調査集計システム・集計計画の指導である。

4. カンボジア政府側の短期専門家受入機関

カンボジア統計局(National Institute of Statistics, NIS)

5. 主な活動内容

(1) 2006年度民間委託業務の監督

今年度のプロジェクト活動の進行状況について、2006年7月21日(金)、井上専門家、柴沼専門家から説明を受け、当初の計画どおりに進行していることを確認した。

統計調査集計システム・集計計画研修(第2回、伊藤講師)及び統計分析研修(第2回、早瀬講師)が同年7月24日(月)から予定どおり開始された。

(2) 2008年人口センサス支援及びノンプロ無償資金協力見返り資金に関する協議

Census Technical Committee (CTC、第2回)が2006年7月21日(金)、NISの主催で開催され出席した。この席上で、JICAカンボジア事務所から現行プロジェクト(フェーズ1)は2007年3月で終了し、2007年4月から2010年8月までは2008年人口センサス支援を中心としたプロジェクト(フェーズ2)を実施する予定であること、また、ノンプロ無償見返り資金申請(第1回、統計センター建設)が在カンボジア日本大使館から日本の外務省に送付され、承認までの最終段階にあることが明言された。さらに、プロジェクト側から、2008年人口センサスの集計、分析及び提供について、JICAが経費を負担し、主要な役割を担う用意があることを明言したものの、決定はUNFPAとの調整に持ち越された。(本CTCの議事録案は保存資料1。)

なお、本CTCに先立って、NIS(San Sy Than 局長及びHas Bunton 部長)、UNFPAカンボジア事務所(Vanna 及びRathana 所員)及びプロジェクト側(井上、柴沼、金室及び西専門家)と3者で意見調整を行った。

2006年7月24日(月)、JICAカンボジア事務所(笠原所員)と、本プロジェクトのフェーズ1及びフェーズ2について、また、ノンプロ無償資金協力見返り資金申請案(第2回)について協議を行った。

同年7月28日(金)、在カンボジア日本大使公邸にて、高橋大使を JICA カンボジア事務所力石所長等とともに訪問し、本プロジェクトのフェーズ1及びフェーズ2について、並びに、ノンプロ無償資金協力見返り資金申請(第1回及び第2回)について説明を行った。本プロジェクトのフェーズ1及びフェーズ2については、高橋大使の了解を得た。ノンプロ無償資金協力見返り資金申請(第1回、統計センター建設)については、日本の外務省の承認が下り、実施が決定した。また、高橋大使から本件については、我が国の協力であることを広くアピールするようとの指示があった。一方、第2回申請案(人口センサス支援)については、プロジェクトから提示したA案(約2.5億円)及びB案(約1.6億円)のいずれも基本的に了解が得られたと理解している。今後は、その積算について十分精査する。(高橋大使への提示資料は保存資料2。)

同年8月1日(火)、NISのタン局長に、上述の状況について説明し、了解を得るとともに、タン局長から謝辞があった。(NISに対する提示資料は保存資料3。)

(3) ASEAN Census Meeting (UNSD、UNFPA 主催) への出席

標記の会議が2006年7月31日(月)～8月2日(水)にかけて、国連統計部長(Dr. Paul Cheng)及びASEAN各国(10か国)の統計機関の長又は幹部が参加して、シエム・リアップ州で開催され、日本(JICA)からは、伊藤、金室、柴沼及び西専門家が出席した。会議では、国連統計部から人口センサスに関する国連勧告(Rev.2)案の説明、及び各国から人口センサスの実施又は準備状況について報告があった。その報告の中で、カンボジア及びインドネシアから、日本(JICA)からの現在・過去の支援に対する謝辞が述べられた。また、JICAに対してもコメントが求められたため、統計分野における日本(JICA)のこれまでのASEAN諸国に対する支援について紹介するとともに、現行のカンボジア、インドネシア、ミャンマー及びタンザニアに対する支援についても紹介した。さらに、本プロジェクトの内容については、衛星写真を調査区設定の原図に利用する手法(保存資料4)について、前例のない新たな試みとして紹介し、また、ASEAN地域内の相互協力の一例として、今年度5月に実施したインドネシアへの研修生の派遣(経済センサスの研修)も紹介し、出席者の関心を引いた。(出張報告書は保存資料5。)

(4) UNFPA 主催の人口センサスセミナーへの出席

標記のセミナーが2006年7月25日(火)に、カンボジア副首相及びUNFPA副本部長を始めとしたアジア諸国(2009年までに人口センサスを実施する国)の統計機関の長又は幹部等が参加して、プノンペンで開催され、日本(JICA)からは、笠原所員、金室、柴沼及び西専門家が出席した。この会議において、UNFPAと2008年人口センサスの役割分担について意見調整をするとともに、各国の出席者と意見交換を行った。

(5) 2008年人口センサス調査票案に対する助言

2006年7月27日(木)、タン局長及びホー・ダリス人口統計課長に対して、2008年人口センサス調査票案に対する修正案及び結果表案を説明した。また、UNFPA ConsultantのRao氏にも、修正案及び結果表案をメールで送付し、理解を求めた。この修正案等については、同年8月8日に開催されるStake Holders Meeting (NIS、UNFPA 主催)で議論される予定であり、本プロジェクトからは柴沼専門家が出席して、修正案等の説明を行う予定である。(本修正案及び結果表案は保存資料6。)

(6) 事業所リスティングに関する協議

標記について2006年7月21日(金)、井上専門家から進行状況の説明を受けた。また、同年7月24日(月)、柴沼専門家から内容について説明を受けた。さらに、2006年7月29日(土)、NIS担当者のMich Kanthulから現状の説明を受けた。当初案からの変更点は、以下のとおりである。①予算の関係で、リスティングの対象を製造業及びホテル業等に絞ること。②調査方法について、各事業所から直接聴取する方法から、外観のみでリスティングを行う方法に変更すること。(ただし、外観だけでの判断が困難な場合には事業所から聴取する。)③リスティングの進行状況によっては、今年度内に事業所調査(小規模なサンプルで)を実施する、などである。

(7) 2008年人口センサスの集計システムに関する個別研修

標記について、2006年7月27日(木)、金室専門家が2回の個別研修を実施した。対象者は、1回目が情報処理担当職員(約10名)、2回目がNISシニア職員(約30名)である。(本研修資料は保存資料7。)

(8) 2006年度本邦研修に関する協議

2006年7月24日(月)、2006年度本邦研修の候補者2名(Mr. Sometia Buoy、Mr. Bonarith、いずれも情報処理担当者)と面会し、本研修を来年1月から2月にかけて2か月以内の期間で、2名を日本に派遣する予定で、研修内容等を検討していることを説明するとともに、候補者の要望等を聴取した。Mr. Sometia Buoyは英語が堪能で、Mr. Bonarithも本研修を英語で受講可能なレベルであることを確認した。

(10) 2006年度民間委託業務である研修の効果検証

派遣期間中に実施されていた「統計調査集計システム・集計計画研修」の受講生10名及び「統計分析研修」の受講生30名に対し、研修に対する満足度や研修内容の実務への応用の機会・希望等についてアンケート調査を行った。(アンケート調査結果は保存資料8。)

アンケートの結果、受講生の大半が受講した研修に満足しており、また、研修結果が実務に生かせると考えていることが判明した。

(11) 「統計調査集計システム・集計計画研修」の指導

派遣期間中に実施されていた統計調査集計システム・集計計画研修の講義を視察した。講義はPowerPointを用いて行われており、受講生の理解状況を把握しながら丁寧に進められていた。講義資料は十分な量が用意されていた。

また、プロジェクト発足当時から実施されていることであるが、英語が不得意な受講生のためにクメール語への通訳(NIS職員で英語が堪能)も行われており、また、研修効果測定のためのテストも随時実施されている。

6. 保存資料リスト

- 保存資料1 Census Technical Committee (CTC、第2回) 議事録案
- ” 2 駐カンボジア日本大使への提示資料
 - ①本プロジェクト(フェーズ1、2)の概要図
 - ②ノンプロ無償資金協力見返り資金申請(第2回)の概要図
 - ” 3 NIS(タン局長)に対する提示資料
 - ①フェーズ2案件概要表案(英語版)
 - ②ノンプロ無償資金協力見返り資金申請案(第2回、英語版)
 - ” 4 2008年人口センサス調査区設定について
 - ” 5 ASEAN Census Meeting 出張報告書
 - ” 6 2008年人口センサス調査票修正案及び結果表案
 - ” 7 2008年人口センサスの集計システムに関する個別研修資料
 - ” 8 ①「統計調査集計システム・集計計画研修」受講生アンケート調査結果
②「統計分析研修」受講生アンケート調査結果

以上

カンボジア政府統計能力向上計画 第6回短期派遣報告書

1. 短期専門家の派遣期間

平成18年10月8日(日)プノンペン着、10月29日(日)東京着

2. 短期専門家の構成

西 文彦 総務省統計研修所研究官室統計専門職

金室 貴子 (独) 統計センター製表部情報処理課上級製表専門職

3. 短期専門家の派遣目的

今回の短期専門家の派遣目的は、①2006年度民間委託業務の監督、②フェーズ2及び2008年人口センサス支援について関連機関との協議、③ノンプロ無償資金協力見返り資金に関する協議、④フェーズ1終了時評価作業、⑤2006年度民間委託業務である研修の効果検証、⑥2008年人口センサスの集計システムに関する協議、⑦2006年度本邦研修に関する協議、⑧統計の提供及び利用に関する研修の指導、⑨人口センサスの集計システムに関する個別研修の実施である。

4. カンボジア政府側の短期専門家受入機関

カンボジア統計局(National Institute of Statistics, NIS)

5. 主な活動内容

(1) 2006年度民間委託業務の監督

今年度のプロジェクト活動の進行状況について、10月9日(月)、柴沼専門家から説明を受け、当初の計画どおりに進行していることを確認した。

統計の提供及び利用に関する研修(第3回、大友・柴沼講師)が10月2日(月)から予定どおり開始された。

(2) フェーズ2及び2008年人口センサス支援について関連機関との協議

10月13日(金)、UNFPAカンボジア事務所にて、Ms. Maas 所長と2008年人口センサスの集計以降の業務における役割分担及び費用分担について協議を行った。この席上で、UNFPAとJICAは、集計以降の業務においても全般的に協調して支援に当たることが確認され、また、UNFPAが基本的な部分(前回の人口センサスと同様な業務)を主に担当し、JICAが新規の部分(小地域集計、多重クロス表、審査等)を主に担当することで、概ね合意が得られた。

同日、NISにてH. E. San Sy Than 局長に対して、上記のMs. Maas 所長との協議の内容を報告し、概ね合意が得られた。(保存資料1)

10月23日(月)、フェーズ2のPDM、PO等を作成し、JICA本部及びカンボジア事務所に提出した。(保存資料2)

10月25日(水)、NISで計画大臣出席の下、第4回CTC(Census Technical Committee)が開催され、進行状況等を報告した。UNFPAとの役割分担に関する当方の提案は受け入れられたものと理解している。(保存資料3)

(3) ノンプロ無償資金協力見返り資金に関する協議

①第1回申請（統計センター建設）

9月27日（水）、入札により受注業者が決定したとのことである。

10月23日（月）、着工式がカンボジア計画大臣や在カンボジア日本大使館員出席の下、N I S内の建設予定地で盛大に実施された。この式の様子は、CTN（Cambodia TV Network）で同日夜に放映されるとともに、翌日の現地紙でも大きく報道された。（保存資料4）

②第2回申請（人口センサス支援）

10月9日（月）、H.E. San Sy Than 局長と申請内容について協議した。

10月18日（水）、H.E. San Sy Than 局長から申請書案を受け取った。（保存資料4）

(4) フェーズ1 終了時評価作業（保存資料5）

10月9日（月）、J I C Aカンボジア事務所の笠原所員と評価作業の進め方について協議した。

①各省庁統計課からのヒアリング

10月16日（月）、商業省及び観光省を訪問し、統計課長及び研修受講者に対して、評価作業のためのヒアリングを行った。その結果、両省庁とも本研修には満足しているとのこと。（保存資料6）

②州計画局統計課からのヒアリング

10月17日（火）～18日（水）、Kampong Thum 州計画局統計課を訪問し、州計画局長及び統計課長に対して、評価作業のためのヒアリングを行った。その結果、Kampong Thum 州計画局は、本研修には満足しているとのこと。また、調査区を実地踏査し、調査区設定状況を確認した。調査区地図には若干の誤り等が検出されたものの、修正可能である。（保存資料7）

10月19日（木）～20日（金）、Pursat 州計画局統計課を訪問し、州計画局長及び統計課長に対して、評価作業のためのヒアリングを行った。その結果、Pursat 州計画局は、本研修には満足しているとのこと。また、調査区を実地踏査し、調査区設定状況を確認した。調査区地図には若干の分かりにくい部分があるものの、実地踏査は可能である。（保存資料7）

③Village 境界のデジタル化の現場視察

10月23日（月）、Village 境界のデジタル化（Commune 境界までは入力済み）を受注している業者（Aruna Technology Ltd: Mr. Paul Gager）を訪問し、入力状況を確認した。入力作業には、若干の誤りがあったものの、修正可能であり、所定の期間内に完了可能な進行状況である。

なお、調査区設定は、24州のうち8州を終了し、現在9州目を作業中である。

④Village 境界のデジタル化のO J Tの現場視察

10月23日（月）、N I S内のVillage 境界のデジタル化を担当している部署を訪問し、O J Tの現場を視察し、順調に進行していることを確認したが、O J Tの現場には、日本人専門家が常駐していることが望ましい。（N I Sの担当：Mr. Pen Socheat）

(5) 2006年度民間委託業務である研修の効果検証

派遣期間中に実施されていた「統計の提供及び利用に関する研修」の受講生30名に対し、研修に対する満足度や研修内容の実務への応用の機会・希望等についてアンケート調査を行った。（アンケート調査結果は保存資料8。）

アンケートの結果、受講生の大半が受講した研修に満足しており、また、研修結果が実務に生かせると考えていることが判明した。

(6) 2008年人口センサスの集計システムに関する協議

上記(2)でのUNFPA及びNISとの打ち合せのとおり。また、10月26日(木)に集計の責任者(Mr. Meng Kimhor)、調査票の内容検査及びデータチェックの責任者(Ms. Tong Chhay Rine)と打ち合せを行った。Data Coding Manual、Data Entry Manual及びTabulation Planは現在作成中のため、今後内容について検討及び協議することとした。

(7) 2006年度本邦研修に関する協議

10月10日(火)、2006年度本邦研修の候補者2名(Mr. Sometia Buoy、Mr. Bonarith、いずれも情報処理担当者)対して、本研修の日程及び研修内容について説明を行った。本研修用PCは、TICのPC2台を借用する。

(8) 統計の提供及び利用に関する研修の指導

派遣期間中に実施されていた統計の提供及び利用に関する研修の講義を視察した。講義はPowerPointを用いて行われており、受講生の理解状況を把握しながら丁寧に進められていた。特にPowerPoint Presentationでは受講生に実際にプレゼンテーションを行わせるなど、効果的に研修が進められていた。なお、講義資料は十分な量が用意されていた。

また、プロジェクト発足当時から実施されていることであるが、英語が不得意な受講生のためにクメール語への通訳(NIS職員で英語が堪能)も行われており、研修効果測定のためのテストも随時実施されている。

(9) 2008年人口センサスの集計システムに関する個別研修

10月11日(水)、12日(木)、25日(水)及び26日(木)の4日間(午後のみ)、NIS職員(約15名)に対して、VBAプログラミングの個別研修を実施した。

個別研修後のアンケートの結果から、VBAプログラムを統計業務(人口センサス集計を含む)に適用することの有効性が認識されたことを確認した。また、管理業務への適用ニーズがあることも確認した。(保存資料9抜粋)

(10) 広報活動

10月27日(金)、プロジェクト広報活動の一環として、在カンボジア日本大使館及びJICAカンボジア事務所に、論文「カンボジアの人口ピラミッド」が掲載されている雑誌「ESTRELA」2006年6月号(財団法人統計情報研究開発センター発行)を配布した。なお、本論文は、以下の総務省統計局のサイトにも掲載されている。

<http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/nittei.htm>

6. 保存資料リスト

- 保存資料1 UNFPA カンボジア事務所への提示資料
- ①フェーズ2活動内容案(英語版)
 - ②2008年人口センサス費用分担状況(英語版)
 - ③2008年人口センサス役割分担(集計以降)状況(英語版)
- // 2 フェーズ2関係資料
- ①PDM(日英)
 - ②PO(日英)
 - ③専門家派遣計画(英語版)
 - ④プロジェクト組織図(英語版)
- // 3 第4回CTCにおける報告
- // 4 ノンプロ無償資金協力見返り資金申請案(第2回、英語版)
- ①申請書鑑案
 - ②申請額内訳
- // 5
- ①フェーズ終了時評価表
 - ②Project Progress Report II
 - ③研修受講者リスト
 - ④PDM評価指標表(暫定版)
- // 6 各省庁統計課からのヒアリング
- ①商業省(基本質問表)
 - ②商業省(研修質問表)
 - ③観光省(基本質問表)
 - ④観光省(研修質問表)
- // 7 Kampong Thum 州計画局統計課からのヒアリング
- ①州計画局統計課からのヒアリング結果(基本質問表)
 - ②州計画局統計課からのヒアリング結果(研修質問表)
 - ③調査区実地踏査結果
- Pursat 州計画局統計課からのヒアリング
- ④州計画局統計課からのヒアリング結果(基本質問表)
 - ⑤州計画局統計課からのヒアリング結果(研修質問表)
 - ⑥調査区実地踏査結果
 - ⑦Village Maps(実地踏査結果記入済み)
- // 8 「統計の提供及び利用に関する研修」受講生アンケート調査結果
- // 9 2008年人口センサスの集計システムに関する個別研修
- ①個別研修資料(抜粋)
 - ②個別研修回答
 - ③受講生アンケート調査結果

以上

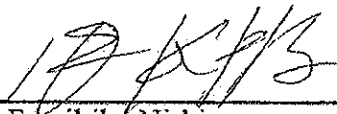
参考資料

MINUTES
OF
THE FIRST MEETING OF THE JOINT COORDINATION COMMITTEE
ON
THE PROJECT ON IMPROVING OFFICIAL STATISTICS IN CAMBODIA

The First Joint Coordinating Committee Meeting of the Project on Improving Official Statistics in Cambodia (hereinafter referred to as "the Meeting") under the chairmanship of H.E. San Sy Than, Director General of National Institute of Statistics (hereinafter referred to as "NIS") and in the presence of the Cambodian authorities concerned and the Team of Experts from Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "the Team") had a discussion.

Both the Cambodian authorities concerned and the Team agreed to make this Minutes of Meetings regarding the Project, in order to confirm the mutual understandings reached through the discussion as attached hereto.

Phnom Penh, 27 January, 2006



Mr. Fumihiko Nishi
Chief Advisor
Project on Improving Official Statistics in
Cambodia
Japan International Cooperation Agency
Japan



H. E. Mr. San Sy Than
Director General
National Institute of Statistics
Ministry of Planning
Kingdom of Cambodia

ATTACHED DOCUMENT

The Meeting, which was held on October 11, 2005 at the Meeting Room of NIS, Ministry of Planning (hereinafter referred to as "MoP") of the Royal Government of Cambodia, under the presidency of H.E. San Sy Than, Director General of NIS. There were twenty participants from MoP, NIS, and Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") as well as other line ministries such as Council for the Development of Cambodia and Ministry of Education, Youth and Sports (see Appendix I).

The Meeting consists of five parts: Speech, Introduction of the Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "the JCC"), Presentation of Inception Report, Discussion, and Closing Address.

I. Speech:

1. First of all, H.E. San Sy Than gave an opening address of the Meeting and presented acknowledgement and gratefulness on the commencement of the Project.
2. Mr. Juro Chikaraishi, Resident Representative of JICA Cambodia Office, expressed his celebration on the commencement of the Project. He mentioned on the history of mutual cooperation between NIS and JICA, which included the dispatch of volunteers in the field of System Engineering and Statistical Education as well as the provision of training opportunities in Japan, especially through the invitation to the training course held in the United Nations Statistical Institute of Asia and the Pacific. After the explanation of the overall activities planned under the Project, he expressed his belief that the role of the official statistics is highly important for the socio-economic development of Cambodia and that this Project plays the main role for the improvement of the official statistics.

II. Introduction of the JCC

3. Mr. Fumihiko Nishi, Chief Advisor of the Project, introduced the member, the roles, and functions of the JCC, which is scheduled one more meeting in FY2005, one in FY2006, and one in FY2007. He listed the roles of the JCC as follows: to approve the annual work plan of the Project; to evaluate the result of the annual work plan and the progress of the technical cooperation; to review the annual work plan and exchange opinions on major issues that arises during the implementation of the Project.

III. Presentation of Inception Report:

4. Dr. Shunichi Inoue, JICA Expert of the Project, presented the Inception Report of the Project, which included the training program in order to strengthen the capacity of the official statistical system in Cambodia. He also mentioned the possibility that current training program, which included nine training courses that were to be held four times in the two year of the Project, could be changed after the commitment of the Royal Government of Cambodia and other donor organizations for cooperating in the preparation and implementation of the Population Census scheduled in March 2008, as JICA also intended to provide technical assistance to the Population Census and the part of the effort being made to the Project should be reallocated to the preparation to the Population Census.

IV. Discussion:

5. H.E. San Sy Than praised the training program proposed in the Inception Report, especially it provided learning opportunities for statistical staff of Department of Planning in provinces and districts as well as that of line ministries. He added that the training program was consistent with Statistical Master Plan developed by NIS in October 2005.
6. Ms. Heang Seakly, Deputy Director of General of Planning of MoP, provided her comment that she believed that the Project would contributed to capacity development for the evaluation and appraisal of National Poverty Reduction Strategy and Cambodian Millennium Development Goals.
7. Mr. Seng Soeurn, Deputy Director General of NIS, emphasized the importance of analytical skills for statistical staff and expressed his gratitude to JICA that JICA understood its importance and provided twelve-week course for statistical analysis. H.E. San Sy Than added that it was of priority that NIS developed its staff capability of analysis although trainings for statistical analysis had been provided by consultants from donor agencies and NIS staff had written their own analyses for Cambodia Household Socio-Economic Survey 2003-04.
8. Mr. Juro Chikaraishi discussed the importance of fostering NIS staff capability of teaching so that selected NIS staff would be able to teach the course by themselves after finishing the Project. He also encouraged the senior staff of NIS to participate the training program for reviewing their skills and knowledge which they had already acquired.

V. Closing Address:

9. At the end of the meeting, H.E. San Sy Than concluded that the Project would implement all activities including the implementation of all courses in the training program, as mentioned in the Inception Report, with the cooperation of NIS and JICA. He expressed his gratitude to JICA, its staff, and experts to make efforts for developing the Project, and his assurance that the Project would contribute to the overall development of the national statistical system, which covered provincial and district offices of NIS and line ministries.

APPENDIX I The Agenda of the JCC

**The First Joint Coordinating Committee (JCC)
for JICA Project on Improving Official Statistics in Cambodia**

At National Institute of Statistics, 1st Floor

Friday, November 11, 2005

AGENDA

- 09:00h : Opening Address of H.E. San Sy Than,
Director General of National Institute of Statistics, Ministry of Planning
- : Remark of Mr. Juro CHIKARAISHI,
Resident Representative of JICA Cambodia Office
- : Inception Report of Mr. Fumihiko NISHI,
Chief Advisor of JICA Project
- (1) Introduction of JCC members
 - (2) Roles and Functions of JCC
 - (3) Outline of JICA Project
 - (4) Activities of JICA Project
- : Discussion
- 10:00h : Closing Address of H.E. San Sy Than,
Director General of National Institute of Statistics, Ministry of Planning

APPENDIX II The Member of JCC

1. Chairman

H.E. Mr. San Sy Than, Director General of NIS / JICA Project Director

2. Member

Mr. Has Bunton, Deputy Director General of NIS / JICA Project Manager

Mr. Seng Soeurn, Deputy Director General of NIS

Mr. Khieu Sary, Deputy Director General of NIS

Ms. Hang Lina, Deputy Director General of NIS

Mr. Vy Heang, Director of General Statistics Department, NIS

Mr. Hor Darith, Director of Demographic Statistics, Censuses and Surveys Department,
NIS (absent)

Ms. Em Samoeurn, Director of Economic Statistics Department, NIS

Mr. Yem Sourng, Director of Social Statistics Department, NIS

Mr. Mich Kanthul, Deputy Director of NIS

Ms. Heng Sokun, Director of Bilateral Aid Coordination Department, Japan-Asia
Pacific-America, CRDB, Council for the Development of Cambodia (CDC) (her staff
attended)

Ms. Heang Seakly, Deputy Director of General of Planning, Ministry of Planning

Ms. Kuy Phala, Deputy Director of Department of Planning, MOEYS (absent)

Mr. Juro Chikaraishi, Resident Representative of JICA Cambodia Office

Mr. Fumihiko Nishi, Chief Advisor of the Project

Dr. Shunichi Inoue, JICA Expert of the Project

Mr. Akira Shibanuma, JICA Expert / Coordinator of the Project

3. Observer

Mr. Kim Net, Vice Bureau Chief of NIS

Mr. Hiroto Mitsugi, Deputy Resident Representative of JICA Cambodia Office (absent)

Ms. Nami Kasahara, Project Formulation Advisor of JICA Cambodia Office

Mr. Kiyomi Shirakawa, Expert of JICA Project

Mr. Kunio Nishimura, Expert of JICA Project


Mr. Akira Genba, Expert of JICA Project (absent)

**MINUTES
OF
THE SECOND MEETING OF THE JOINT COORDINATION COMMITTEE
ON
THE PROJECT ON IMPROVING OFFICIAL STATISTICS IN CAMBODIA**

The Second Joint Coordinating Committee Meeting of the Project on Improving Official Statistics in Cambodia (hereinafter referred to as “the Meeting”) under the chairmanship of H.E. San Sy Than, Director General of National Institute of Statistics (hereinafter referred to as “NIS”) and in the presence of the Cambodian authorities concerned and the Team of Experts from Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “the Team”) had a discussion.

Both the Cambodian authorities concerned and the Team agreed to make this Minutes of Meetings regarding the Project, in order to confirm the mutual understandings reached through the discussion as attached hereto.

Phnom Penh, 14 March, 2006



Dr. Shunichi INOUE
Expert
Project on Improving Official Statistics in
Cambodia
Japan International Cooperation Agency
Japan



H. E. Mr. San Sy Than
Director General
National Institute of Statistics
Ministry of Planning
Kingdom of Cambodia

ATTACHED DOCUMENT

The Meeting, which was held on March 14, 2006 at the Meeting Room of NIS, Ministry of Planning of the Royal Government of Cambodia, under the presidency of H.E. San Sy Than, Director General of NIS. There were sixteen participants from NIS and Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") as well as other line ministries such as Council for the Development of Cambodia and Ministry of Education, Youth and Sports (see Appendix I).

The Meeting consists of four parts: Opening Address of the Project Director, Remark of Resident Representative of JICA Cambodia Office, Report and Proposal of the Project Activities of Acting Chief Advisor of the Project, and discussion followed by the report and proposal.

I. Opening Address of the Project Director:

1. First of all, H.E. San Sy Than gave an opening address of the Meeting and presented acknowledgement and gratitude on the assistance for the training program, the provision of equipment and associated activities implemented by JICA and the Team. He pointed out that NIS had never held this kind of large scale training program, and introduced some reactions from other donors who were impressed by the activities of the Project.

II. Remark of Resident Representative of JICA Cambodia Office:

2. Mr. Juro Chikaraishi, Resident Representative of JICA Cambodia Office, expressed his appreciation for the support and contribution of NIS to the Project. He acclaimed that the training program in the Project was highly practical and comprehensive and that approximately 300 participants joined it in the first phase of the Project.
3. He celebrated that the commencement of the preparation for Population Census in 2008 was officially announced by Prime Minister Samdech Hun Sen in the National Launch of 2008 General Population Census of Cambodia, held in February 27, 2006. He expressed his expectation that staff in NIS would maximize their capacity through the training program so as to implement statistical activities such as Population Census.

III. Report and Proposal of the Project Activities of Acting Chief Advisor of the Project:

4. Dr. Shunichi Inoue, Expert of the Project, made his presentation on the review of activities in the Project in the first stage and the plan of implementation in the second stage. He concluded that the training program was successful in the first year in which 274 participants joined from NIS, line ministries and Department of Planning in provinces and municipalities. He showed that the participants demonstrated more than 70% of improvement in points on

average concerning the understanding of participants between the beginning and the end of each course, measured by pre- and post-course questionnaires. In addition, he presented draft performance indicators (objectively verifiable indicators) in order to measure the desired output that were defined in the Project Design Matrix.

5. He proposed the plan of implementation in the second stage be revised in order to provide more direct and practical technical assistance toward preparations for Population Census in 2008 and quarterly establishment surveys. He also proposed that the Plan of Operation of the Project was subject to be changed in the process of finalization of the plan of implementation.

IV. Discussion

6. H.E. San Sy Than appreciated and agreed to the proposal to change the plan of implementation presented by Dr. Inoue, including the on-the-job training for Population Census preparations and quarterly establishment surveys. He emphasized that economic statistics was also important for least developed countries although it was difficult to attract donor funding.
7. Mr. Has Bunton, Deputy Director General of NIS and the Project Manager of this Project, also expressed his gratitude for JICA's contribution to Population Census preparations by means of on-the-job trainings. He expressed his opinion that statistical training would be more effective if it was in line with statistical survey practice.
8. In response to the question raised by Mr. Juro Chikaraishi on to what extent the training program had a positive impact on professional attitude of the participants, Mr. Has Bunton answered he had observed 'small changes' among participants who expressed their anticipations to have a chance to demonstrated acquired skills and knowledge through actual statistical practice, although the chance was scarce because of lack of funding. H.E. San Sy Than expressed that he had more positive responses from participants and their supervisors, including strong requests of further participation to the program from line ministries. Mr. Chikaraishi emphasized the importance of professional ethics among statistical staff as their activities generated very important information in order to improve welfare of the people through good policy formulation.
9. Dr. Shunichi Inoue presented his impression that participants of the training program demonstrated positive responses to the lectures. He was sure that they, especially younger staff, had excellent potentials.
10. Mr. Kim Net, Bureau Chief of NIS and the counterpart of the Project, pointed out that many

participants wanted to join more training courses in the program, and, among the courses, statistical analysis was especially highly demanded by them.

11. H.E. San Sy Than asked about progress of formulating the plan for mapping of enumeration areas, as one of Population Census preparations. Mr. Akira Shibamura, Expert and Coordinator of the Project, reported that staff from NIS, the United Nations Population Fund and the Team had frequently discussed the plan for mapping and formed several alternative plans. Currently each of three parties was evaluating the possibility regarding the technology and budget finance for the plans. Mr. Juro Chikaraishi introduced JICA's past and current technical assistance experiences on geography and mapping, including development of map data through GIS technology. He stated that the digitization of maps would be worth considering, if budget allowed, as it could be widely used in many ministries.

V. Closing Address:

12. At the end of the meeting, H.E. San Sy Than concluded that the Joint Coordinating Committee approved the review of activities in the Project in the first stage and the plan of implementation in the second stage with the documents of the Project Design Matrix and the Plan of Operation.

**The Second Joint Coordinating Committee (JCC) Meeting
for the Project on Improving Official Statistics in Cambodia**

At the Meeting Room (1st Floor), National Institute of Statistics

Tuesday, March 14, 2006

Agenda

- 09:00h : Opening Address of H.E. San Sy Than,
Director General of National Institute of Statistics, Ministry of Planning
- : Remark of Mr. Juro CHIKARAISHI,
Resident Representative of JICA Cambodia Office
- : Report and Proposal of the Project Activities of Dr. Shunichi INOUE,
Acting for Chief Advisor of JICA Project
- (1) Report of First Year Activities
 - (2) Proposal of the Method for Measuring Project Performance
 - (3) Proposal of Second Year Activities, including the Contribution to
Preparation for Population Census
- : Discussion
- 10:30h : Closing Address of H.E. San Sy Than,
Director General of National Institute of Statistics, Ministry of Planning

List of Participant for the Meeting of Joint Coordinating Committee (JCC)
At National Institute of Statistics, Meeting Room, First Floor
14 March 2006

1. Chairman

H.E. Mr. San Sy Than, Director General of NIS / Project Director

2. Member

Mr. Has Bunton, Deputy Director General of NIS / Project Manager

Mr. Seng Soeurn, Deputy Director General of NIS (*absent*)

Mr. Khieu Sary, Deputy Director General of NIS

Ms. Hang Lina, Deputy Director General of NIS

Mr. Vy Heang, Director of General Statistics Department, NIS

Mr. Hor Darith, Director of Demographic Statistics, Censuses and Surveys
Department, NIS

Mr. Tith Vong, Director of Social Statistics Department, NIS

Mr. Mich Kanthul, Director of Economics Statistics Department, NIS

Ms. Heng Sokun, Director of Bilateral Aid Coordination Department, Japan-Asia
Pacific-America, CRDB, Council for the Development of Cambodia (CDC) (*her
staff attended*)

Ms. Heang Seakly, Deputy Director of General of Planning, Ministry of Planning
(*absent*)

Ms. Kuy Phala, Deputy Director of Department of Planning, MOEYS (*her staff
attended*)

Mr. Juro Chikaraishi, Resident Representative of JICA Cambodia Office

Dr. Shunichi Inoue, JICA Expert of the Project

Mr. Akira Shibamura, JICA Expert / Coordinator of the Project

3. Observer

Mr. Ouk Eam, Deputy Director of Social Statistics Department

Mr. Kim Net, Bureau Chief of NIS

Ms. Nami Kasahara, Project Formulation Advisor of JICA Cambodia Office

Morning Class (8:00 - 12:00)		Afternoon Class (13:30 - 17:30)	
11/10/05	11/18/05	Introduction to Official Statistics (Group 1) Topic: Introduction to Statistics Lecturer: Gemba Translator: Mr. They Khem Room: Room B	Introduction to Official Statistics (Group 2) Topic: Introduction to Statistics / Mathematics Lecturer: Gemba/Nishimura Translator: Mr. They Khem Room: Room B
11/21/05	11/29/05	Introduction to Official Statistics (Group 1) Topic: Census and Survey / Mathematics Lecturer: Gemba/Nishimura Translator: Mr. They Khem Room: Room B	Introduction to Official Statistics (Group 2) Topic: Introduction to Statistics / Census & Survey Lecturer: Nishimura Translator: Mr. They Khem Room: Room A
11/28/05	12/2/05	Introduction to Official Statistics (Group 1) Topic: Mathematics / Elementary Statistics Lecturer: Nishimura Translator: Mr. They Khem Room: Room A	Introduction to Official Statistics (Group 2) Topic: Official Statistics and Its Use Lecturer: Inoue Translator: Mr. Kim Net / Mr. Khin Soverlak Room: Room A
12/5/05	12/10/05	Introduction to Official Statistics (Group 1) Topic: Official Statistics and Its Use Lecturer: Inoue Translator: Mr. Kim Net / Mr. Khin Soverlak Room: Room A	Introduction to Official Statistics (Group 2) Topic: Means of Using Statistics Lecturer: Shibanuma Translator: Mr. Kim Net Room: Room B (with PCs)
12/12/05	12/16/05	Introduction to Official Statistics (Group 1) Topic: Means of Using Statistics Lecturer: Shibanuma Translator: Mr. Kim Net Room: Room B (with PCs)	Introduction to Official Statistics (Group 2) Topic: Means of Using Statistics Lecturer: Shibanuma Translator: Mr. Kim Net Room: Room B (with PCs)
12/19/05	12/23/05	Introduction to Official Statistics (Group 1) Topic: Means of Using Statistics Lecturer: Shibanuma Translator: Mr. Kim Net Room: Room B (with PCs)	Statistical Data Processing Topic: Tabulation Planning and Mgmt of Data Processing Lecturer: Inoue Translator: Room: Room B (with PCs)
12/26/05	12/30/05	Introduction to Official Statistics (Group 2) Topic: Means of Using Statistics Lecturer: Shibanuma Translator: Room: Room B (with PCs)	Statistical Data Processing Topic: Equipment for Tabulation and VB Lecturer: Kozu Translator: Room: Room B (with PCs)
1/3/06	1/5/06	Introduction to Official Statistics (Group 2) Topic: Elementary Statistics Lecturer: Nishimura Translator: Room: Room A	Statistical Data Processing Topic: VB Lecturer: Kozu Translator: Room: Room B (with PCs)
1/10/06	1/13/06	Introduction to Official Statistics (Group 2) Topic: Elementary Statistics Lecturer: Nishimura Translator: Room: Room A	Statistical Data Processing Topic: CSPro Lecturer: Kozu Translator: Room: Room B (with PCs)
1/16/06	1/20/06	Dissemination & Use of Statistics Topic: Completion of Statistical Compendiums Lecturer: Otsu Translator: Room: Room B (with PCs)	Statistical Data Processing Topic: Network Theory and Management Lecturer: Kozu Translator: Room: Room B (with PCs)
1/23/06	1/27/06	Dissemination & Use of Statistics Topic: Statistical Graph Lecturer: Inoue Translator: Room: Room B (with PCs)	Statistical Data Processing Topic: MS-Excel for Computing Lecturer: Shibanuma Translator: Room: Room B (with PCs)
1/30/06	2/3/06	Dissemination & Use of Statistics Topic: PowerPoint and HTML Lecturer: Shibanuma Translator: Room: Room B (with PCs)	Statistical Data Processing Topic: MS-Excel for Computing (Graph) Lecturer: Inoue / Shibanuma Translator: Room: Room B (with PCs)
2/6/06	2/10/06	Dissemination & Use of Statistics Topic: Web Page Design Lecturer: Shibanuma Translator: Room: Room B (with PCs)	Statistical Data Processing Topic: MS-Access Lecturer: Shibanuma Translator: Room: Room B (with PCs)
		Use of Local Area Statistics (For Staff in Phnom Penh Municipality Office) Lecturer: Otsu / Inoue Translator: Room:	

Morning Class (8:00 - 12:00)		Afternoon Class (13:30 - 17:30)	
2/14/06	2/17/06	2/24/06	3/3/06
2/20/06	2/27/06	3/6/06	

Statistical Survey Design Topic: Sampling Theory / Sampling Method Lecturer: Negj Translator: Room A	Statistical Analysis (2/16C) Topic: Population Analysis Lecturer: Hayase Translator: Room B (with PCs)
Statistical Survey Design Topic: Quality Control of Statistics / PES Lecturer: Negj Translator: Room A	Statistical Analysis Topic: Population Analysis Lecturer: Hayase Translator: Room B (with PCs)
Statistical Survey Design Topic: Statistical Survey Design Lecturer: Inoue Translator: Room A	Statistical Analysis Topic: Social Analysis Lecturer: Hayase Translator: Room B (with PCs)
Statistical Survey Design Topic: Operation of Statistical Survey Lecturer: Inoue Translator: Room A	Statistical Analysis Topic: Population Projection Lecturer: Hayase Translator: Room B (with PCs)

Use of Statistical Survey Result Topic: Use the Results of Population Statistics Lecturer: Inoue Translator: Room B (with PCs)	Use of Statistical Survey Result Topic: Use the Results of Economic Statistics Lecturer: Inoue Translator: Room B (with PCs)
--	--

Overall Schedule of Training Program (FY2005)

Week	Week1	Week2	Week3	Week4	Week5	Week6	Week7	Week8	Week9	Week10	Week11	Week12	Week13	Week14	Week15	Week16	Week17
Start	11/10	11/21	11/28	12/5	12/12	12/19	12/26	1/3	1/10	1/16	1/23	1/30	2/6	2/14	2/20	2/27	3/6
End	11/16	11/25	12/2	12/9	12/16	12/23	12/30	1/6	1/13	1/20	1/27	2/3	2/10	2/17	2/24	3/3	3/10
Days	4 days	5 days	5 days	5 days	5 days	5 days	4 days	4 days	4 days	4 days	5 days	5 days	4 days	5 days	5 days	4 days	4 days
Introduction to Official Statistics (1st Group)	M	M	M	M	M	M					M						
Introduction to Official Statistics (2nd Group)		A	A	A	A		M	M	M								
Statistical Survey Design														M	M	M	M
Statistical Data Processing						A	A	A	A	A	A	A	A				
Statistical Analysis														M	M	M	M
Dissemination and Use of Statistics																	
Training for Evaluation of Economic Statistics and Establishment Survey Practice																	
Use of Local Area Statistics															M		
Use of Statistical Survey Results																	A

(scheduled in FY06)

Legend

Courses using PCs

- M Morning Class (8:00 - 12:00)
- A Afternoon Class (13:30 - 17:30)

Courses without PCs

- M Morning Class (8:00 - 12:00)
- A Afternoon Class (13:30 - 17:30)
- MA Participants choose either morning or afternoon class

Training Course Plan (Introduction to Official Statistics) - Group 1

Date	08:00 - 09:50	10:10 - 12:00	Role of Official Statistics
11/10/05 Thu	(Ceremony)		Role of Official Statistics
11/11/05 Fri	Role of Official Statistics		Role of Official Statistics
11/12/05 Sat			
11/13/05 Sun			
11/14/05 Mon	Introduction to Statistics (Gemba)	Introduction to Statistics (Gemba)	UN Fundamental Principles of Official Statistics
11/15/05 Tue			UN Fundamental Principles of Official Statistics
11/16/05 Wed			UN Fundamental Principles of Official Statistics
11/17/05 Thu			UN Fundamental Principles of Official Statistics
11/18/05 Fri			UN Fundamental Principles of Official Statistics
11/21/05 Mon	Population Censuses and Surveys (Gemba)	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	National Statistical System
11/22/05 Tue	Population Censuses and Surveys (Gemba)	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	Function - Concept and Mathematical Expression
11/23/05 Wed	Population Censuses and Surveys (Gemba)	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	Exponential and Logarithm
11/24/05 Thu	Population Censuses and Surveys (Gemba)	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	Exponential and Logarithm
11/25/05 Fri	Population Censuses and Surveys (Gemba)	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	Differentiation
11/28/05 Mon	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	Differentiation
11/29/05 Tue	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	Linear Programming
11/30/05 Wed	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	Linear Programming
12/1/05 Thu	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	Matrix
12/2/05 Fri	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	Frequency Distribution
12/5/05 Mon	Official Statistics and Its Use (Inoue)	Official Statistics and Its Use (Inoue)	Regression Analysis
12/6/05 Tue	Official Statistics and Its Use (Inoue)	Official Statistics and Its Use (Inoue)	Population Statistics
12/7/05 Wed	Official Statistics and Its Use (Inoue)	Official Statistics and Its Use (Inoue)	Social Statistics
12/8/05 Thu	Official Statistics and Its Use (Inoue)	Official Statistics and Its Use (Inoue)	Economic Statistics
12/9/05 Fri	Official Statistics and Its Use (Inoue)	Official Statistics and Its Use (Inoue)	Economic Statistics
12/12/05 Mon	Means of Using Statistics (Shibanuma)	Means of Using Statistics (Shibanuma)	SNA
12/13/05 Tue	Means of Using Statistics (Shibanuma)	Means of Using Statistics (Shibanuma)	SNA
12/14/05 Wed	Means of Using Statistics (Shibanuma)	Means of Using Statistics (Shibanuma)	How to Use PCs
12/15/05 Thu	Means of Using Statistics (Shibanuma)	Means of Using Statistics (Shibanuma)	MS-Word
12/16/05 Fri	Means of Using Statistics (Shibanuma)	Means of Using Statistics (Shibanuma)	MS-Word
12/19/05 Mon	Means of Using Statistics (Shibanuma)	Means of Using Statistics (Shibanuma)	MS-Word
12/20/05 Tue	Means of Using Statistics (Shibanuma)	Means of Using Statistics (Shibanuma)	MS-Word
12/21/05 Wed	Means of Using Statistics (Shibanuma)	Means of Using Statistics (Shibanuma)	MS-Excel (basic calculation)
12/22/05 Thu	Means of Using Statistics (Shibanuma)	Means of Using Statistics (Shibanuma)	MS-Excel (basic calculation)
12/23/05 Fri	Means of Using Statistics (Shibanuma)	Means of Using Statistics (Shibanuma)	MS-Excel (tables)
12/26/05 Mon	Elementary Statistics	Elementary Statistics	MS-Excel (tables)
12/27/05 Tue	Elementary Statistics	Elementary Statistics	MS-Excel (graphical presentation)
12/28/05 Wed	Elementary Statistics	Elementary Statistics	MS-Excel (graphical presentation)
12/29/05 Thu	Elementary Statistics	Elementary Statistics	MS-Excel (graphical presentation)
12/30/05 Fri	Elementary Statistics	Elementary Statistics	MS-Excel (graphical presentation)
1/2/06 Mon	Elementary Statistics	Elementary Statistics	MS-Excel (summary)
1/3/06 Tue	Elementary Statistics	Elementary Statistics	Comparison
1/4/06 Wed	Elementary Statistics	Elementary Statistics	Time-Series Analysis
1/5/06 Thu	Elementary Statistics	Elementary Statistics	Statistical Error
1/6/06 Fri	Elementary Statistics	Elementary Statistics	Probability
1/7/06 Sat	Elementary Statistics	Elementary Statistics	Statistical Inference

Training Course Plan (Introduction to Official Statistics) - Group 2

Date	13:30 - 15:20	15:40 - 17:30	15:40 - 17:30
11/21/05 Mon	Introduction to Statistics (Gemba)	What is Statistics? Role of Official Statistics UN Fundamental Principles of Official Statistics UN Fundamental Principles of Official Statistics National Statistical System	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)
11/22/05 Tue			
11/23/05 Wed			
11/24/05 Thu			
11/25/05 Fri			
11/28/05 Mon	Introduction to Statistics	Statistics Law	Introduction to Statistics
11/29/05 Tue			
11/30/05 Wed			
12/1/05 Thu			
12/2/05 Fri			
12/5/05 Mon	Official Statistics and Its Use (Inoue)	Population Statistics	Official Statistics and Its Use (Inoue)
12/6/05 Tue			
12/7/05 Wed			
12/8/05 Thu			
12/9/05 Fri			
12/12/05 Mon	Means of Using Statistics (Shibanuma)	How to Use PCs	Means of Using Statistics (Shibanuma)
12/13/05 Tue			
12/14/05 Wed			
12/15/05 Thu			
12/16/05 Fri			
12/19/05 Mon	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	Statistics Law	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)
12/20/05 Tue			
12/21/05 Wed			
12/22/05 Thu			
12/23/05 Fri			
12/26/05 Mon	Means of Using Statistics (Shibanuma)	How to Use PCs	Means of Using Statistics (Shibanuma)
12/27/05 Tue			
12/28/05 Wed			
12/29/05 Thu			
12/30/05 Fri			
1/3/06 Mon	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	Statistics Law	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)
1/3/06 Tue			
1/4/06 Wed			
1/5/06 Thu			
1/6/06 Fri			
1/9/06 Mon	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	Statistics Law	Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)
1/10/06 Tue			
1/11/06 Wed			
1/12/06 Thu			
1/13/06 Fri			

Training Course Plan (Statistical Survey Design)

Date	8:00 - 12:00	Venue	Lecturer
2/13/06 Mon	Sampling Theory / Sampling Method - Concept of Probability - A Normal Distribution - Sample and Population - Test of Population Mean / Population Rate - Hypothesis Testing - T-Test of Sample and ANOVA - Goodness-of-Fit Test and Independence Test	Room A (without PCs)	Mr. Negi
2/14/06 Tue			
2/15/06 Wed			
2/16/06 Thu			
2/17/06 Fri			
2/18/06 Sat			
2/19/06 Sun			
2/20/06 Mon	Quality Control of Statistics / Post Enumeration Survey - Stratification - Stratified Sampling Method - Random Sampling Method - Sampling Error - Non-sampling Error	Room A (without PCs)	Mr. Negi
2/21/06 Tue			
2/22/06 Wed			
2/23/06 Thu			
2/24/06 Fri			
2/25/06 Sat			
2/26/06 Sun			
2/27/06 Mon	Statistical Survey Design and Enumeration - Survey Design/Method - Questionnaire Design - Tabulation Planning - Manual Coding - Method of Enumeration etc. - Delineation and Update of Enumeration Areas	Room A (without PCs)	Dr. Inoue
2/28/06 Tue			
3/1/06 Wed			
3/2/06 Thu			
3/3/06 Fri			
3/4/06 Sat			
3/5/06 Sun			
3/6/06 Mon	Operation of Statistical Survey - Enumerator Recruitment and Allocation - Procurement and Distribution of Supplies for Enumerators - Public Relations for Statistical Survey - Management for Safety of Enumerators	Room A (without PCs)	Dr. Inoue
3/7/06 Tue			
3/8/06 Wed			
3/9/06 Thu			
3/10/06 Fri			
3/11/06 Sat			
3/12/06 Sun			
3/13/06 Mon			
3/14/06 Tue			

Training Course Plan (Statistical Data Processing)

Date	13:30 - 17:30	Venue	Lecturer
12/19/05 Mon	Tabulation Planning and Management of Data Processing - Tabulation Planning - Management of Data Processing	Room B	Mr. Kozu
12/20/05 Tue			
12/21/05 Wed			
12/22/05 Thu			
12/23/05 Fri			
12/26/05 Mon	Equipment for Data Capturing & Processing - Equipment for Data Capturing & Processing - Servers, Peripherals - Introduction to Visual Basic Language - How to Execute Other Applications with Visual Basic	Room B (with PCs)	Mr. Kozu
12/27/05 Tue			
12/28/05 Wed			
12/29/05 Thu			
12/30/05 Fri			
1/3/06 Tue	Visual Basic Language - How to Integrate and Manage Data with Visual Basic - How to Automate Document Development Process with Visual Basic	Room B (with PCs)	Mr. Kozu
1/4/06 Wed			
1/5/06 Thu			
1/6/06 Fri			
1/10/06 Tue	CSPro - Functions of CSPro - How to Install CSPro - How to Create a Data Entry Application, a Data Dictionary and Data Entry Form - How to Enter Data, and Tabulate Data - How to Add Edits to the Data Entry Application - How to Run a Batch Application	Room B (with PCs)	Mr. Kozu
1/11/06 Wed			
1/12/06 Thu			
1/13/06 Fri			
1/16/06 Mon	Network Theory and Management - TCP/IP - LAN/WAN - Information Security Technology - Operation and Management of Network System	Room B (with PCs)	Mr. Kozu
1/17/06 Tue			
1/18/06 Wed			
1/19/06 Thu			
1/20/06 Fri			
1/23/06 Mon	MS-Excel for Computing - How to Prepare Spreadsheet for Computing Mass Data - How to Categorize Mass Data	Room B (with PCs)	Mr. Shibamura
1/24/06 Tue			
1/25/06 Wed			
1/26/06 Thu			
1/27/06 Fri			
1/30/06 Mon	MS-Excel for Computing - How to Prepare Statistical Graph in Excel - How to Read Statistical Graphs	Room B (with PCs)	Dr. Inoue
1/31/06 Tue			
2/1/06 Wed			
2/2/06 Thu			
2/3/06 Fri			
2/6/06 Mon	MS-Access - Basic Procedures - How to Edit Tables - How to Aggregate Tables - How to Design Database	Room B (with PCs)	Mr. Shibamura
2/7/06 Tue			
2/8/06 Wed			
2/9/06 Thu			
2/10/06 Fri			

Training Course Plan (Statistical Analysis)

Date	8:00 - 12:00	Venue	Lecturer
2/13/06	Mon		
2/14/06	Tue		
2/15/06	Wed		
2/16/06	Thu		
2/17/06	Fri		
2/18/06	Sat		
2/19/06	Sun		
2/20/06	Mon		
2/21/06	Tue		
2/22/06	Wed		
2/23/06	Thu		
2/24/06	Fri		
2/25/06	Sat		
2/26/06	Sun		
2/27/06	Mon		
2/28/06	Tue		
3/1/06	Wed		
3/2/06	Thu		
3/3/06	Fri		
3/4/06	Sat		
3/5/06	Sun		
3/6/06	Mon		
3/7/06	Tue		
3/8/06	Wed		
3/9/06	Thu		
3/10/06	Fri		
3/11/06	Sat		
3/12/06	Sun		
3/13/06	Mon		
3/14/06	Tue		
Population Analysis	- Population Structure Analysis - Population Dynamics Analysis -- Birth and Death - Population Movement Analysis -- Domestic and International Movement	Room B (with PCs)	Dr. Hayase
Population Analysis	- Population Structure Analysis - Population Dynamics Analysis -- Birth and Death - Population Movement Analysis -- Domestic and International Movement	Room B (with PCs)	Dr. Hayase
Social Analysis	- Employment Structure Analysis - Social Structure Analysis	Room B (with PCs)	Dr. Hayase
Population Projection	- Projection of Total Population - Projection of Regional Population - Estimation of Number of Households	Room B (with PCs)	Dr. Hayase

Training Course Plan (Dissemination and Use of Statistics)

Date	8:00 - 12:00	Venue	Lecturer
12/26/05 Mon	Geographical Presentation (Statistical Map) - What is Statistical Map - How to Prepare Statistical Map in Excel - Statistical Map and Geographical Information System (GIS)	Room A (without PCs)	Prof. Abe
12/27/05 Tue			
12/28/05 Wed			
12/29/05 Thu			
12/30/05 Fri			

8:00 - 12:00

1/3/06 Tue	Geographical Presentation (Statistical Map) - What is Statistical Map - How to Prepare Statistical Map in Excel - Statistical Map and Geographical Information System (GIS)	Room B (with PCs)	Prof. Abe
1/4/06 Wed			
1/5/06 Thu			
1/6/06 Fri			

8:00 - 12:00

1/10/06 Tue	Compilation of Report of Statistical Survey Results - How to Develop Statistical Tables - How to Make Findings of Results of Survey - How to Compile Statistical Tables - How to Disseminate the Reports	Room B (with PCs)	Dr. Okomo
1/11/06 Wed			
1/12/06 Thu			
1/13/06 Fri			

8:00 - 12:00

1/16/06 Mon	Compilation of Statistical Compendiums - How to Compile Statistical Tables - How to Disseminate Products of Statistical Survey	Room B (with PCs)	Dr. Okomo
1/17/06 Tue			
1/18/06 Wed			
1/19/06 Thu			
1/20/06 Fri			

8:00 - 12:00

1/23/06 Mon	Graphical Presentation of Statistics (Statistical Graph) - How to Prepare Statistical Graph in Excel - How to Read Statistical Graphs	Room B (with PCs)	Dr. Ihoue
1/24/06 Tue			
1/25/06 Wed			
1/26/06 Thu			
1/27/06 Fri			

8:00 - 12:00

1/30/06 Mon	PowerPoint and HTML - How to Use PowerPoint - Concept of HTML - How to Write HTML - How to Develop HTML Files	Room B (with PCs)	Mr. Shibanuma
1/31/06 Tue			
2/1/06 Wed			
2/2/06 Thu			
2/3/06 Fri			

8:00 - 12:00

2/6/06 Mon	Web Page Design - Web Page Design - Preparing Statistical Tables for Web - Setting Statistical Tables on Web	Room B (with PCs)	Mr. Shibanuma
2/7/06 Tue			
2/8/06 Wed			
2/9/06 Thu			
2/10/06 Fri			

Training Course Plan (Use of Statistical Survey Results)

Date	13:30 - 17:30	Venue	Lecturer
2/13/06	Mon		
2/14/06	Tue		
2/15/06	Wed		
2/16/06	Thu		
2/17/06	Fri		
2/18/06	Sat		
2/19/06	Sun		
2/20/06	Mon		
2/21/06	Tue		
2/22/06	Wed		
2/23/06	Thu		
2/24/06	Fri		
2/25/06	Sat		
2/26/06	Sun		
2/27/06	Mon		
2/28/06	Tue		
3/1/06	Wed		
3/2/06	Thu		
3/3/06	Fri		
3/4/06	Sat		
3/5/06	Sun		
3/6/06	Mon		
3/7/06	Tue		
3/8/06	Wed		
3/9/06	Thu		
3/10/06	Fri		
3/11/06	Sat		
3/12/06	Sun		
3/13/06	Mon		
3/14/06	Tue		
		Use the Results of Population Statistics	Dr. Inoue
		- How to Use the Results of Population Census or Surveys - Summary of the Results of 2004 Intercensal Population Survey	Room B (with PCs)
		Use the Results of Economic Statistics	Dr. Inoue
		- How to Use the Results of Economic Statistical Surveys - Summary of 2000 Industrial Establishment Survey	Room B (with PCs)

Overall Schedule of Training Program (FY2006)

Week	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
Start	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/17	7/24	7/31	8/7	8/14	8/21
End	6/2	6/8	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14	7/21	7/28	8/4	8/11	8/18	8/25
Duration (days)	4 days	5 days	4 days	5 days	5 days	5 days	5 days	5 days	5 days	5 days	5 days	5 days	5 days

Week	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
Start	10/2	10/9	10/16	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18	12/25
End	10/6	10/13	10/20	10/27	11/3	11/10	11/17	11/24	12/1	12/8	12/15	12/22	12/29
Duration (days)	5 days	5 days	5 days	4 days	3 days	2 days	5 days	5 days	5 days	5 days	5 days	5 days	5 days

Draft: 2006/05/08

Classroom Training (NIS)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
Introduction to Official Statistics (Group:1)	M	M	M	M	M	M							
Introduction to Official Statistics (Group:2)							M	M	M	M			
Statistical Analysis (Group:1)							A	A	A	A			
Statistical Analysis (Group:2)													
Dissemination and Use of Statistics (Group:1)													
Dissemination and Use of Statistics (Group:2)													
Use of Statistical Survey Result (Group:1)													
Use of Statistical Survey Result (Group:2)													
Classroom Training (Main Provinces)													
Use of Local Area Statistics													
Intensive Training (NIS)													
Statistical Survey Design (Sampling Design)													
Statistical Survey Design (Quality Control)													
Statistical Survey Design (Data Processing/Planning)													
Statistical Data Processing (Census Data Processing)													
On-the-job Training													
Statistical Survey Design (EA Delimitation - Fieldwork)													
Statistical Survey Design (EA Delimitation - GIS)													
Establishment Survey													

Classroom Training (NIS)	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
Introduction to Official Statistics (Group:1)													
Introduction to Official Statistics (Group:2)													
Statistical Analysis (Group:1)													
Statistical Analysis (Group:2)													
Dissemination and Use of Statistics (Group:1)													
Dissemination and Use of Statistics (Group:2)													
Use of Statistical Survey Result (Group:1)													
Use of Statistical Survey Result (Group:2)													
Classroom Training (Main Provinces)													
Use of Local Area Statistics													
Intensive Training (NIS)													
Statistical Survey Design (Sampling Design)													
Statistical Survey Design (Quality Control)													
Statistical Survey Design (Data Processing/Planning)													
Statistical Data Processing (Census Data Processing)													
On-the-job Training													
Statistical Survey Design (EA Delimitation - Fieldwork)													
Statistical Survey Design (EA Delimitation - GIS)													
Establishment Survey													

Legend

M: Morning Class (8:00 - 11:30)
 A: Afternoon Class (13:30 - 17:00)
 plan: preparation
 test: classroom training
 prep: on-the-job training

Morning Class (8:00 - 11:30)

Week	Start	End
Week 1	5/29/06	6/2/06
Week 2	6/5/06	6/9/06
Week 3	6/12/06	6/16/06
Week 4	6/19/06	6/23/06
Week 5	6/26/06	6/30/06
Week 6	7/3/06	7/7/06
Week 7	7/10/06	7/14/06
Week 8	7/17/06	7/21/06
Week 9	7/24/06	7/28/06
Week 10	7/31/06	8/4/06
Week 11	8/7/06	8/11/06
Week 12	8/14/06	8/18/06

Introduction to Official Statistics (Group 1) Topic: Introduction to Statistics Lecturer: Gemba Translator: Room B
Introduction to Official Statistics (Group 1) Topic: Census and Survey Lecturer: Gemba Translator: Room B
Introduction to Official Statistics (Group 1) Topic: Means of Using Statistics Lecturer: Shibamura Translator: Room B
Introduction to Official Statistics (Group 1) Topic: Means of Using Statistics Lecturer: Shibamura Translator: Room B
Introduction to Official Statistics (Group 1) Topic: Mathematics / Elementary Statistics Lecturer: Nishimura Translator: Room B
Introduction to Official Statistics (Group 1) Topic: Mathematics / Elementary Statistics Lecturer: Nishimura Translator: Room B
Introduction to Official Statistics (Group 1) Topic: Official Statistics and its Use Lecturer: Inoue Translator: Room B
Statistical Analysis (Group 1) Topic: Economic Analysis Lecturer: Inoue Translator: Room B
Statistical Analysis (Group 1) Topic: Population Analysis Lecturer: Hayase Translator: Room B
Statistical Analysis (Group 1) Topic: Geographic Presentation and Analysis Lecturer: Abe Translator: Room B
Statistical Analysis (Group 1) Topic: Social Analysis Lecturer: Hayase Translator: Room B

Use of Local Area Statistics (For Staff in province offices) Lecturer: Inoue / Gemba / Nishimura Translator: Room B
Use of Local Area Statistics (For Staff in province offices) Lecturer: Inoue / Nishimura Translator: Room B
Statistical Survey Design (Data Processing Plan) Topic: sampling design Lecturer: Itoh Translator: Room B (small room for 10 participants)
Statistical Survey Design (Data Processing Plan) Topic: sampling design Lecturer: Itoh Translator: Room B (small room for 10 participants)
Statistical Survey Design (sampling design) Topic: sampling design Lecturer: Negi Translator: Room B (small room for 10 participants)
Statistical Survey Design (sampling design) Topic: sampling design Lecturer: Negi Translator: Room B (small room for 10 participants)

Afternoon Class (13:30 - 17:00)

Dissemination & Use of Statistics Topic: Compilation of Survey Report Lecturer: Olomb Translator: Room B
Dissemination & Use of Statistics Topic: Excel Calculation / Graphical Presentation Lecturer: Shibamura Translator: Room B
Dissemination & Use of Statistics Topic: PowerPoint Presentation Lecturer: Shibamura Translator: Room B
Dissemination & Use of Statistics Topic: HTML and Web Page Design Lecturer: Shibamura Translator: Room B
Statistical Analysis (Group 2) Topic: Economic Analysis Lecturer: Inoue Translator: Room B
Statistical Analysis (Group 2) Topic: Geographic Presentation and Analysis Lecturer: Abe Translator: Room B
Statistical Analysis (Group 2) Topic: Population Analysis Lecturer: Hayase Translator: Room B
Statistical Analysis (Group 2) Topic: Social Analysis Lecturer: Hayase Translator: Room B

Training Course Plan (Introduction to Official Statistics)

Date	8:00-11:30	Venue	Lecturer
11/11/06	Mon		
11/12/06	Tue		
11/13/06	Wed		
11/14/06	Thu		
11/15/06	Fri		
11/16/06	Sat		
11/17/06	Sun		
11/18/06	Mon		
11/19/06	Tue		
11/20/06	Wed		
11/21/06	Thu		
11/22/06	Fri		
11/23/06	Sat		
11/24/06	Sun		
11/25/06	Mon		
11/26/06	Tue		
11/27/06	Wed		
11/28/06	Thu		
11/29/06	Fri		
11/30/06	Sat		
12/1/06	Sun		
12/2/06	Mon		
12/3/06	Tue		
12/4/06	Wed		
12/5/06	Thu		
12/6/06	Fri		
12/7/06	Sat		
12/8/06	Sun		
12/9/06	Mon		
12/10/06	Tue		
12/11/06	Wed		
12/12/06	Thu		
12/13/06	Fri		
12/14/06	Sat		
12/15/06	Sun		
12/16/06	Mon		
12/17/06	Tue		
12/18/06	Wed		
12/19/06	Thu		
12/20/06	Fri		
12/21/06	Sat		
12/22/06	Sun		
12/23/06	Mon		
12/24/06	Tue		
12/25/06	Wed		
12/26/06	Thu		
12/27/06	Fri		
Population Censuses and Surveys (Gemba)	What is Statistics? Role of Official Statistics UN Fundamental Principles of Official Statistics National Statistical System Statistics Law Role of International Statistical Institutions	Room B	Mr. Genba
Population Censuses and Surveys (Gemba)	Censuses and Statistical Surveys: Introduction Population Census Labor Force Survey Establishment Survey	Room B	Mr. Genba
Means of Using Statistics (Shibanuma)	How to Use PCs MS-Word	Room B	Mr. Shibanuma
Means of Using Statistics (Shibanuma)	MS-Excel (basic calculation) MS-Excel (tables) MS-Excel (graphical presentation)	Room B	Mr. Shibanuma
Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	Function – Concept and Mathematical Expression Exponential and Logarithm Differentiation	Room B	Mr. Nishimura
Mathematics and Elementary Statistics (Nishimura)	Linear Programming Matrix Frequency Distribution Regression Analysis	Room B	Mr. Nishimura
Official Statistics and Its Use (Inoue)	Population Statistics Social Statistics Economic Statistics SNA	Room B	Dr. Inoue

Training Course Plan (Dissemination and Use of Statistics)

Date		13:30 - 17:00		Venue	Lecturer
6/5/06	Mon	Compilation of Report of Statistical Survey Results	<ul style="list-style-type: none"> - How to Develop Statistical Tables - How to Make Findings of Results of Survey - How to Compile Statistical Tables - How to Disseminate the Reports 	Room B	Dr. Otomo
6/6/06	Tue				
6/7/06	Wed				
6/8/06	Thu				
6/9/06	Fri				
6/10/06	Sat				
6/11/06	Sun	Excel Calculation and Graphical Presentation	MS-Excel (basic calculation) MS-Excel (tables) - How to Prepare Statistical Graph in Excel - How to Read Statistical Graphs	Room B	Mr. Shibahuma
6/12/06	Mon				
6/13/06	Tue				
6/14/06	Wed				
6/15/06	Thu				
6/16/06	Fri				
6/17/06	Sat	PowerPoint Presentation	- Introduction to Good Presentation - How to Use PowerPoint - Power Point Presentation	Room B	Mr. Shibahuma
6/18/06	Sun				
6/19/06	Mon				
6/20/06	Tue				
6/21/06	Wed				
6/22/06	Thu				
6/23/06	Fri				
6/24/06	Sat				
6/25/06	Sun	HTML and Web Page Design	- Concept of HTML - How to Write HTML - How to Develop HTML Files - Web Page Design - Preparing Statistical Tables for Web - Setting Statistical Tables on Web	Room B	Mr. Shibahuma
6/26/06	Mon				
6/27/06	Tue				
6/28/06	Wed				
6/29/06	Thu				
6/30/06	Fri				

Training Course Plan (Statistical Analysis [Group 1])

Date	8:00-11:30	Venue	Lecturer
7/17/06 Mon	Economic Analysis - System of National Accounts - Price and Production Indices - Establishment and Enterprise Statistics	Room B (with PCs)	Dr. Inoue
7/18/06 Tue			
7/19/06 Wed			
7/20/06 Thu			
7/21/06 Fri			
7/22/06 Sat			
7/23/06 Sun			
7/24/06 Mon	Population Analysis - Population Structure Analysis - Population Dynamics Analysis -- Birth and Death - Population Movement Analysis -- Domestic and International Movement	Room B (with PCs)	Dr. Hayase
7/25/06 Tue			
7/26/06 Wed			
7/27/06 Thu			
7/28/06 Fri			
7/29/06 Sat			
7/30/06 Sun			
7/31/06 Mon	Social Analysis - Employment Structure Analysis - Social Structure Analysis	Room B (with PCs)	Dr. Hayase
8/1/06 Tue			
8/2/06 Wed			
8/3/06 Thu			
8/4/06 Fri			
8/5/06 Sat			
8/6/06 Sun			
8/7/06 Mon	Regional Statistical Analysis - Regional and Small Area Statistical Analysis - Geographical Presentation	Room B (with PCs)	Prof. Abe
8/8/06 Tue			
8/9/06 Wed			
8/10/06 Thu			
8/11/06 Fri			

Training Course Plan (Statistical Analysis [Group 2])

Date	13:30 - 17:00	Venue	Lecturer
7/17/06	Economic Analysis - System of National Accounts - Price and Production Indices - Establishment and Enterprise Statistics	Room B (with PCs)	Dr. Inoue
7/18/06			
7/19/06			
7/20/06			
7/21/06			
7/22/06	(no class)		
7/23/06			
7/24/06			
7/25/06			
7/26/06			
7/27/06			
7/28/06			
7/29/06			
7/30/06			
7/31/06			
8/1/06	Regional Statistical Analysis - Regional and Small Area Statistical Analysis - Geographical Presentation	Room B (with PCs)	Prof. Abe
8/2/06			
8/3/06			
8/4/06			
8/5/06	Population Analysis - Population Structure Analysis - Population Dynamics Analysis -- Birth and Death - Population Movement Analysis -- Domestic and International Movement	Room B (with PCs)	Dr. Hayase
8/6/06			
8/7/06			
8/8/06			
8/9/06			
8/10/06	Social Analysis - Employment Structure Analysis - Social Structure Analysis	Room B (with PCs)	Dr. Hayase
8/11/06			
8/12/06			
8/13/06			
8/14/06			
8/15/06			
8/16/06			
8/17/06			
8/18/06			

Training Course Plan (Sampling Design)

Date	8:00 - 11:30	Venue	Lecturer
8/7/06 Mon	Sampling Design	tbd	Mr. Negi
8/8/06 Tue			
8/9/06 Wed			
8/10/06 Thu			
8/11/06 Fri			
8/12/06 Sat			
8/13/06 Sun			
8/14/06 Mon	Sampling Design	tbd	Mr. Negi
8/15/06 Tue			
8/16/06 Wed			
8/17/06 Thu			
8/18/06 Fri			

Training Course Plan (Data Processing Planning)

Date	8:00 - 11:30	Venue	Lecturer
7/24/06 Mon	Data Processing Planning	tbd	Mr. Ito
7/25/06 Tue			
7/26/06 Wed			
7/27/06 Thu			
7/28/06 Fri			
7/29/06 Sat	No Class (ASEAN Census Meeting)		
7/30/06 Sun			
7/31/06 Mon	Data Processing Planning	tbd	Mr. Ito
8/1/06 Tue			
8/2/06 Wed			
8/3/06 Thu			
8/4/06 Fri	- Data Processing Planning - Data Processing Management - Data Processing Equipment		

For official use only

Royal Government of Cambodia

General Population Census of Cambodia, 2008

Instructions for Cartographic Field Workers

On Drawing Enumeration Area Maps

National Institute of Statistics, Ministry of Planning

Phnom Penh, Cambodia

July 2006

General Population Census of Cambodia, 2008 Instructions to Cartographic Field Workers For Drawing Enumeration Area Maps

1. Introduction

The National Census of Population in Cambodia in 2008 will be an important national endeavor to provide the valuable information about the land and people, which is indispensable for the development of the country. The Census covers the entire population of Cambodia and, when the census date comes, the census enumerators will visit all the houses from door to door without duplication or omission of any person or household.

Since one of the important purposes of the population census is to use its results for the national planning and other administrative purposes, the census has to cover the administrative areas at all levels and produce the results for every one of them. Cambodia has a hierarchy of administrative structure consisting of 24 provinces, 183 districts, 1,609 communes and 13,574 villages (as of 3 March 1998). The census enumeration areas are to be set up below the village level. The total number of enumeration areas demarcated in the last population census of 1998 was 23,016.

To assure the complete coverage of population, it is essential to divide the whole country into small enumeration areas (EAs) and each census enumerator is to survey his or her assigned enumeration area to count all the population found at the time of the census. Thus, the network of the enumeration areas (EAs) covers all the villages and the communes and ultimately the whole country.. Therefore, it is very important to properly delineate enumeration areas in each village to avoid any duplication and omission.

2. Various kinds of maps

At the time of the 1998 Population Census, there were no reliable maps in Cambodia on the basis of which EAs can be demarcated. So that the village

maps and EA maps were the sketch maps drawn by hands. This time, however, the aerial photographs and the satellite photographs are available for the most parts of Cambodia, on the basis of which commune and village maps can be produced. However, the types of available photographs are not uniform throughout the country.

Today, many different kinds of maps are available in the market. But exact detailed maps with the scale of 1 to 5,000 needed for the census are not yet ready for our disposal. Based on the available satellite maps and other digitalized maps, National Institute of Statistics has prepared various types of maps for the cartographic field workers. Depending on the areas, cartographers are asked to use a different combination of maps.

Each cartographic field worker will be given several types of commune and village maps as indicated below, for which he or she is asked to demarcate EAs.

For communes:

1. Satellite commune maps with digitally demarcated village boundaries in it
2. White commune maps with landmarks and digitally demarcated village boundaries
3. White commune maps prepared for Health Facility Survey which contain some landmarks and rough village boundaries

For villages:

4. Satellite village maps
5. White village maps with landmarks
6. Hand written village maps prepared for the 1998 population census, with the demarcation of the enumeration areas.

3. Three types of communes

Depending on the available maps, communes are divided into three groups: *Area A*, *Area B* and *Area C*. **Area A** comprises about 165 communes for which detailed satellite maps are available. On these satellite maps, the village boundaries are already demarcated. **Area B** comprises about 955 communes for which white maps are provided. In these maps, the commune and village

boundaries as well as landmarks such as roads, rivers, temples and notable public buildings are already printed. This information has been extracted from corresponding satellite maps. On the other hands, **Area C** has a white map in which only commune boundaries are drawn. A rough sketch of village boundaries are drawn in the commune map but no other geographic information is available.

Depending on the areas to go, the cartographic field workers are provided with the following maps:

Area A

Satellite commune maps

White commune maps with landmarks and the village boundaries

White village maps with landmarks

Area B

White commune maps with landmarks and village boundaries

White village maps with landmarks

1998 village maps with EA delineations

Area C

White commune maps (Health Facility Survey Maps) with some landmarks and rough village boundaries

White sheet of paper to which village boundaries are to be copied

1998 village maps with EA delineations

Three types of areas indicated above require slightly different mapping procedures. Since each cartographic field worker is expected to work in all types of areas, one should know, as the first step, in which type of area he or she will go to work.

The cartographic field workers will have training sessions at the beginning and will receive on-the-job training and instruction from the field supervisors. However, he or she has to work alone in the field most of the time, it is important to study this manual and refers to it whenever needs arise.

4. Cartographic materials to be carried by the field worker

Black Pencils

Blue/Red Pencils

Eraser

White sheet of paper to copy village map (Area C only)

Pencil sharpener or blade

Plastic sheet and plastic bag to protect maps and papers

Bag

Maps

Satellite commune map (**Area A**)

White commune map with geographic feature on it (**Area B**)

White commune map (**Area C**)

White village maps with geographic features on them (**Area A and B**)

1998 village map (**Area A, B and C**)

Enumeration Area Data Sheet

5. General principles for EA demarcation

5.1 An enumeration area (EA) will be assigned to the population census enumerator at the time of the census to count all the population found there. Therefore the size of an EA has to be appropriate in terms of the number of households in it.

5.2 In general, the average number of households in an EA will be about 100. It may, however, be different from 100 due to the local situations. But the variation of an EA size is expected to be kept between 50 and 110. If the estimated number of household is below 50, a consolidation with an adjacent EA must be considered. If on the other hand, the estimated number of household exceeds 110, a separation of the EA into two or more EAs should be considered. More specifically,

(1) Villages with about 100 households

In such as case, the whole village should be treated as one EA.

(2) Villages with more than 100 households

The village should be sub-divided into 2 or more EAs. In such case, every EA should have an appropriate range of the number of households between 50 and 110.

(3) Villages with less than 100 households

The whole village should be treated as one EA.

- 5.3 If you find a large condominium, an apartment building, a hospital, a dormitory and the like, where more than 50 households can be found, these buildings may be demarcated as an EA.
- 5.4 Roads, rivers, waterways and other physically identifiable objects should be used as a part of EA boundaries, whenever possible. If EA boundaries have to be drawn in open fields, forest or water areas where no physically identifiable objects can be found, any households that might be located near the boundary should be written down in the village map, so that there will be no confusions later on regarding the EA in which these households should be counted.
- 5.5 If you find people living on the water such as river, lake or sea, an EA should be set up covering an appropriate area of the water.

6. Procedures at the Commune Office

The Province Planning Office will officially advise the Commune Chiefs to help the cartographic field workers prior to the visit of the cartographic field worker. So that the cartographic field worker shall visit the commune office to receive appropriate instructions and assistance. He or she can compare the commune map received from the NIS with any map the commune office may have. If inconsistencies are found between the two, make appropriate corrections on the NIS commune map received by a blue pencil.

After that, the cartographic field worker, accompanied by a commune chief or a designated official, has to visit the chief of village. The working procedures there are provided below.

7. Procedures for checking the village boundaries

Ask the village chief if the village boundaries shown in the commune and village maps received from the NIS are accurate or not. If the actual village boundaries are different from the NIS maps, correct the boundaries in both the commune and village maps by a blue pencil. In **Area C** where no village map is provided by

NIS, corrections must be made only on the commune map.

In the **Area C** where no village map is provided, the field cartographic worker has to draw a sketch of the village boundaries on the given white sheet.

8. Procedures for demarcating the enumeration areas (EAs)

- 8.1 In all **Areas A, B and C**, find the village chief and ask him about the general conditions of the village population, especially any significant changes in the number and the distribution of residents in the village since the last population census of 1998.
- 8.2 If there has been no significant change, show him the 1998 village map in which EAs were demarcated and ask him about the approximate number of households in each EA. If the estimate is found to be within the standard range, say 50 to 110, ask for his judgment as to whether the old EA boundaries are still appropriate for use in the 2008 census. If the answer is yes, copy the old EA boundaries to the new white village map (and the satellite map in case of **Area A**) or the sketch village map prepared in 4.1 (in case of **Area C**).
- 8.3 If there have been significant changes in the number or the distribution of village residents, consult with him what could be the appropriate way to demarcate the EAs for the village. Be sure that the suggested EA boundaries can clearly be seen or identified by the census enumerator who will be assigned to the EA in the future. If necessary, visit the pivotal points on the boundaries to confirm the situation. When new EA boundaries are judged appropriate, write down the new boundaries on the white village map.
- 8.4 In the **Area A** where the EA boundaries are demarcated on the satellite images, copy the EA boundaries to the white village map.
- 8.5 Using GPS, measure the location of the house of village chief and keep the records.
- 8.6 Finally, ask the village chief to give signature to the designated space in the white village map. The cartographic field workers also have to sign on the white village map.
- 8.7 Before leaving the village, complete the Enumeration Data Sheet.

9. EA maps (no work is needed at this stage)

In the 1998 population census, the cartographic field workers were asked to prepare the detailed EA maps. However, such tasks, namely the preparation of an EA map with the listing of individual houses and the recording of detailed landmarks, will be conducted in the preparatory phase of the census enumeration immediately preceding the census date of 3 March 2008. Therefore, the preparation of EA maps is not required at this time.

10. Supervision of cartographic works

The supervisors in the field may inspect the progress of cartographic field works from time to time. The field workers may also be called up to assemble at the provincial headquarters to report the progress to the supervisor, ask questions and receive additional instructions. The record of GPS measures can be handed over to the supervisor in such occasions.

Enumeration Area Data Sheet

Page /

Name of Province: -----

Name of District: -----

Name of Commune: -----

Name of Village: -----

Village code No.	Name of village	Number of group	Number of EAs	Number of households	Population

In case of provinces other than Phnom Penh Municipality, ignore the column "Number of groups".

Name and signature of cartographer: ----- Date -----

Name and signature of supervisor: ----- Date -----

ver.2.0 (14Mar2001)

Project Design Matrix (PDM) (Draft)
 Project Title: Improving Official Statistics in Cambodia
 Implementing Agency: National Institute of Statistics(the NIS), Ministry of Planning
 Target Group: Statistical Officers in NIS, provincial statistical offices, and line ministries

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
<p>Overall Goal Census and statistical surveys will be periodically and precisely implemented, and highly reliable statistical data will be provided timely to policy makers, administrators, researchers, NGO's and other relevant users.</p>	<ol style="list-style-type: none"> Number and periodicity of statistical surveys conducted by the NIS Number and periodicity of statistical documents drawn up by the NIS Number and sales quantity of statistical publications Number of access and periodicity of update to the NIS website 	<ol style="list-style-type: none"> NIS record NIS record Sales Record of Data User Service Center in NIS Web Access Record of NIS 	
<p>Project Purpose Statistical capacity of the NIS staff, provincial statistical staff, and the statistical staff of main line ministries will be improved.</p>	<ol style="list-style-type: none"> Number of capable staff for statistics in the NIS, provincial statistical offices, and statistical units of line ministries. Number of capable staff for personal computer in the NIS, provincial statistical offices, and statistical units of line ministries 	<ol style="list-style-type: none"> Questionnaire for staff and their supervisors Questionnaire for staff and their supervisors 	
<p>OUTPUTS</p>			
<ol style="list-style-type: none"> Knowledge and capacity on basic statistics of the NIS staff, the provincial statistical staff, and the statistical staff of the main line ministries are improved. 	<ol style="list-style-type: none"> 1-1 Number of training courses on basic statistics and number of trainees 1-2 Level of understanding of the trainees on basic statistics 	<ol style="list-style-type: none"> 1-1 Training Course Record 1-2 Pre- and Post-course questionnaire 	
<ol style="list-style-type: none"> Capacity of the NIS staff for the planning of the statistical surveys is improved. 	<ol style="list-style-type: none"> 2-1 Number of training courses on planning of statistical surveys and number of trainees 2-2 Level of achievement of the trainees on planning of statistical surveys 	<ol style="list-style-type: none"> 2-1 Training Course Record 2-2 Pre- and Post-course questionnaire, Evaluation of preparation work by the census director and managers 	
<ol style="list-style-type: none"> Data processing skill of the NIS staff on the statistical surveys is improved 	<ol style="list-style-type: none"> 3-1 Number of training courses on data processing of statistical surveys and number of trainees 3-2 Level of achievement of the trainees on data processing of statistical surveys 	<ol style="list-style-type: none"> 3-1 Training Course Record 3-2 Pre- and Post-course questionnaire, Evaluation of preparation work by the census director and managers 	
<ol style="list-style-type: none"> The NIS staff acquires the methods of the analysis of the statistical surveys. 	<ol style="list-style-type: none"> 4-1 Number of training courses on analysis of statistical surveys and number of trainees 4-2 Level of understanding of the trainees on analysis of statistical surveys 	<ol style="list-style-type: none"> 4-1 Training Course Record 4-2 Pre- and Post-course questionnaire 	
<ol style="list-style-type: none"> Dissemination of survey results is increased and the results of statistical surveys are utilized by the main line ministries. 	<ol style="list-style-type: none"> 5-1 Number of training courses on dissemination of survey results and on utilization of the survey results and number of trainees 5-2 Level of understanding of the trainees on dissemination of survey results and on utilization of the survey results 5-3 Number of disseminated data of NIS statistical surveys 5-4 Number of results of NIS statistical surveys utilized by main line ministries 	<ol style="list-style-type: none"> 5-1 Training Course Record 5-2 Pre- and Post-course questionnaire 5-3 NIS record 5-4 Questionnaire for staff in line ministries 	
<ol style="list-style-type: none"> The results of the economic statistical surveys are evaluated properly and NIS' capacity on establishment surveys is improved. 	<ol style="list-style-type: none"> 6-1 Number of training courses on evaluation of results economic statistical surveys and on establishment surveys and number of trainees 6-2 Level of understanding of the trainees on evaluation of results economic statistical surveys and on establishment surveys 	<ol style="list-style-type: none"> 6-1 Training Course Record 6-2 Pre- and Post-course questionnaire 	
<ol style="list-style-type: none"> Statistical capacities of the major provincial statistical staff are improved. 	<ol style="list-style-type: none"> 7-1 Number of training courses on regional statistics and number of trainees 7-2 Level of understanding of the trainees on regional statistics 	<ol style="list-style-type: none"> 7-1 Training Course Record 7-2 Pre- and Post-course questionnaire 	

Activities	INPUTS	
<p>1 [Basic statistics] 1-1 Trainings on basic statistics to the NIS staff, the provincial statistical staff, and statistical staff of the main line ministries</p> <p>2 [Planning of statistical surveys] 2-1 Trainings on the planning of statistical surveys to the NIS staff 2-2 Trainings on the design of the questionnaires of statistical surveys to the NIS staff 2-3 Coordination with the line ministries and the donors on the population census</p> <p>3 [Data processing] 3-1 Trainings on the data processing for statistical surveys to the NIS staff</p> <p>4 [Statistical analysis] 4-1 Development of systems for the analysis of the results of statistical surveys in the NIS 4-2 Trainings on the analysis of the results statistical surveys to the NIS staff</p> <p>5 [Dissemination of statistical data] 5-1 Trainings on the editing of publication, CD, and website, to the NIS staff 5-2 Trainings on the utilization of the results of the statistical surveys to the statistical staff of the main line ministries</p> <p>6 [Improvement of economics statistics] 6-1 Trainings on the evaluation of the existing results of the economic statistical surveys to the NIS staff 6-2 Trainings on the establishment surveys to the NIS staff</p> <p>7 [Capacity development of provincial statistical offices] 7-1 Selection of model provinces 7-2 Trainings on the regional statistics for the staff of the model provincial statistical staff</p>	<p>Counterpart personnel</p> <p>Office space and necessary furnitures for Japanese experts</p> <p>Running cost for the project activities</p> <p>Approval for the free access to the statistical data necessary for the project activities (population census data, economic statistics data etc.)</p>	<p>Japanese Side</p> <ul style="list-style-type: none"> Experts: Statistics (Chief Advisor), Project Coordinator, Statistical training, Data processing, Statistical Analysis, Dissemination of statistical data, Economic statistics, etc <p>Pre-Conditions</p> <ul style="list-style-type: none"> Policy makers will recognize the importance of statistical information <ul style="list-style-type: none"> Trainings in Japan: Statistics, Demographic statistics, Economic statistics Provision of equipment: Personal computers, LAN server and peripherals (as necessary), Software, CD recorder, DVD recorder, Printers, Audio-visual equipment for training, Photocopier, Vehicle Training in Cambodia: Basic Statistics, Planning of statistical surveys, Data processing, Statistical analysis, Dissemination of statistical data, Utilization of the results of statistical surveys, Evaluation of economic statistical surveys, Establishment surveys

Seminar for the Project on Improving Official Statistics in Cambodia

Date: Thursday, January 26, 2006

Time: 08:30 – 11:30

Venue: Tonle Mekong Room (Lobby Floor), Hotel Cambodiana

Agenda

07:30 – 08:15	Registration	
08:15 – 08:30	Arrival of Distinguished Guests	
08:30 – 08:50	Report on Development in Official Statistics Capacity and its Future Plan	H.E. San Sy Than
08:50 – 09:10	JICA's Cooperation toward Official Statistics in Cambodia	Mr. Juro Chikaraishi
09:10 – 09:30	Opening Remarks	H.E. Chhay Than addressed by H.E. Ouk Chay
Coffee Break		
10:00 – 10:20	Introduction of Project on Improving Official Statistics in Cambodia	Mr. Fumihiko Nishi
10:20 – 10:40	NIS's Training and Human Resource Strategy	Mr. Has Bunton
10:40 – 11:00	Importance of Statistics and Training	Dr. Shunichi Inoue
11:00 – 11:15	Questions & Answers	
11:15 – 11:30	Closing Remarks	H.E. Ouk Chay

“Importance of Statistics and Training”
Presented at the Seminar on
Project for Improving Official Statistics in Cambodia

26 January 2006

Shunichi Inoue, Ph.D.

His Excellency Ouk Chhay,
Mr. Chikaraishi,
His Excellency San Sy Than,
Distinguished Previous Speakers, and
Ladies and Gentlemen,

It is my great pleasure and honor to have you all in this seminar and, be allowed to address to you what I believe is most important to this country.

According to the recent Statistical Yearbook of IMF, International Monetary Fund, the per capita GDP, the gross domestic product per capita, of Cambodia is shown as 328 dollars. It belongs to a group of countries like India, Pakistan, Vietnam and Nepal, whose GDP per capita is around 500 dollars or less. Cambodia is a developing country, i.e., developing economically, but also, I would dare to add, developing statistically as well. His Excellency San Sy Than would agree with me by saying that Cambodian official statistics need to expand further both in quality and quantity.

While Cambodia faces many challenges including to achieve universal education, to fight against HIV/AIDS, malaria and other diseases, etc., the most urgent and important challenge is, in my view, the poverty eradication. Poverty seems to be the

fundamental cause that underlies many other illnesses tormenting Cambodia today.

In order to eradicate poverty, we have to increase employment and accelerate economic activities. There are many theories and opinions about how to achieve this goal. But in order to decide what to do and where to go, it is essential to know where we stand now and what do we have to help navigating through the road of development. The roll of statistics is to provide a compass to guide us through that journey. Without timely, reliable statistics, the country must walk blindfolded the road for development.

From the donor countries' point of view, statistics are also essential. They have to choose the most urgent and most needed targets from a variety of many, many demands. They also have to evaluate the success or failure of their assistance in terms of real contribution to the receiving country. If reliable statistics should be at hands to help their assessments, the donor countries would feel much reassured and could act more promptly.

Ladies and gentlemen,

Mr. Nishi and Mr. Has Bunton have already spoken about the training programs. I would not repeat what were already said. But I might add a few words about the important linkage between the training and actual production of statistics.

Very often, a technical assistance project in statistics area is performed by sending an expert to produce specific statistics. Then the expert from the donor country will complete the assignments and go home. Behind him, he may leave an excellent piece of statistics. But in that process, the personal capability to produce statistics has not been transferred to the receiving country so much as desired. The present program to train statistical personnel in Cambodia is aimed at enhancing the

capability of statistical personnel by transferring the basic skills and knowledge to Cambodians. In this sense, this technical cooperation project by JICA is unique and it is based on the far-sighted strategy in the development assistance.

The transfer of technology in the statistical areas can be, and should be, done in two ways. One is to raise the technical level of general statistical personnel, and the other is the concentrated training of the limited number of selected personnel who are assigned to specific, highly specialized tasks. Both are important, but the methods of training must be quite different.

The training for the coming population census of 2008 gives a good example. The census taking is a huge operation requiring cooperation of many, many officers in NIS as well as in the provinces, communes and villages. This requires a training of a large mass. The current training program has this component with a target to train 160 people in NIS, other Ministries and Provinces. But there should be second type of training as the next census is approaching fast.

Such tasks include designing of the census questionnaire, preparation of other documents, arranging administrative organization, setting a strategy on reading and compiling a large amount of input data, and dissemination of the results. These tasks should be conducted by a limited number of trained, experienced personnel in NIS and other strategic provinces. The training of these personnel must be practical and of the on-the-job-training type. I think that more and more of this kind of training will be needed this year and the next. I trust that JICA would be prepared, in a close collaboration with other donors, to take a leadership and assume some responsibility in this phase of training as well.

Currently, NIS is planning to conduct two pre-tests for the population census and to update the enumeration district maps,

both are essential in the preparatory period for the census. In doing so, one should not forget significant technological progress that is advancing rapidly. What I mean is the information technology. The collection and the tabulation of census and survey data can be conducted faster and more accurately by adopting the modern computer technology and related equipment. Any training program must cover this area as well.

Ladies and gentlemen,

I am happy to report that the JICA training program in statistics has so far progressed fairly successfully. As a leader of the JICA training team stationed in Phnom Penh, I can promise you to continue to work and do our best to make this program more useful and more effective throughout this year and hopefully the next year and beyond.

Thank you very much for your attention.

QUIZ
Official Statistics and Its Use
December 5, 2005

This quiz is given to measure the average level of understanding in the class, but not to evaluate performance of individual persons.

Name _____

Office _____

1. What is the recent population trend in Cambodia? Choose one answer.

- Accelerating
- Unchanged
- Decelerating
- Decreasing
- No data.

2. Choose two correct answers from the following statements.

- Cambodian territory is larger than Laos.
- Population density in Cambodia is about one-third of Vietnam.
- Population density in Cambodia is smaller than the world average.
- Cambodian population density is low because three-fourth of the territory is covered by uninhabitable forest.
- Population density tends to be higher if the territory is mostly flat.

3. What is the approximate annual growth rate of Cambodian population in recent years? Choose one answer.

- 1.5%
- 2.0%
- 2.5%
- 3.0%
- 3.5%

4. What has been the global population trend in the past 50 years? Choose one answer.

- Steady
- Gradually accelerating
- Suddenly accelerating
- Gradually decelerating
- Suddenly decelerating

5. Choose one correct statement.

- Family and household are always the same.
- Family members may include unrelated persons.
- All persons who are present in a house at the time of the census are the household members.
- Definition of a household is suitable for statistical purposes.
- Family members are permanently fixed and clear to everybody in the village.

6. Choose one correct statement from the following statements about marriage.

- Marriage is always certified by a law.
- Marriage rates are very low in Scandinavian countries like Sweden and Denmark.
- Consensus marriage is not accepted in all the countries in the world.
- Divorce rate is higher in poorer countries.
- Marriage ceremony is absolutely necessary to assure the lasting partnership.

7. Choose one answer on the rate of unemployment in Cambodia.

- 2.0%
- 2.5%
- 3.0%
- 3.5%
- 4.0% or more

8. What is the recent trend of per capita income in Cambodia?
Choose one correct statement.
- Getting worse
 - Steady
 - Slowly improving
 - Rapidly improving
 - Varying ups and downs.
9. Choose one correct statement from the following statements on agriculture and industry.
- Agricultural production in Cambodia has been stagnant in the past 10 years.
 - Paddy rice is the main crops in Cambodia.
 - The majority of farm land is used for producing commercial crops.
 - Industrial production is more important than agricultural production in Cambodia.
 - Wage levels and educational attainment are unrelated in Cambodia.
10. Choose correct answer on the recent per capita GDP in Cambodia.
- About 500,000 riels
 - About 1,000,000 riels
 - About 1,500,000 riels
 - About 2,000,000 riels
 - About 2,500,000 riels or more

Questionnaire to Participants

Geographical presentation

26/12/2005 Takashi ABE

This questionnaire is for evaluating to what extent participants improve their knowledge at the end of the course on average. This is not for evaluating the capacity of each participant.

Name	
Organization (department or province)	

Question 1-1: Which is your educational attainment?

<input type="checkbox"/> Junior High School or below	<input type="checkbox"/> University (bachelor degree)
<input type="checkbox"/> Senior High School	<input type="checkbox"/> University (master degree or higher)
<input type="checkbox"/> Junior College	<input type="checkbox"/> Other (please specify: _____)

Question 1-2: Which is your role in the following census and surveys?

(Please check [✓] the role(s) you experienced)

	Enumerator	Supervisor	Manual Editor	Data Processor	Others (please specify)
Population Census 1998					
Socio-Economic Survey 2003-05					
Intercensal Population Survey 2004					
Demographic and Health Survey 2005					

Question 1-3: Have you ever joined a training program overseas?

<input type="checkbox"/> Yes (please specify: _____)	<input type="checkbox"/> No
---	-----------------------------

Question 1-4: How old are you?

years old

Question 2-1: Do you know what the map scale is?

<input type="checkbox"/> Well	<input type="checkbox"/> Fairly	<input type="checkbox"/> Poorly	<input type="checkbox"/> Not at all
-------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------

Question 2-2: Do you know what the map projection is?

<input type="checkbox"/> Well	<input type="checkbox"/> Fairly	<input type="checkbox"/> Poorly	<input type="checkbox"/> Not at all
-------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------

Question 2-3: Do you know the longitude is?

<input type="checkbox"/> Well	<input type="checkbox"/> Fairly	<input type="checkbox"/> Poorly	<input type="checkbox"/> Not at all
-------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------

Question 2-4: Do you know what the latitude is?

<input type="checkbox"/> Well	<input type="checkbox"/> Fairly	<input type="checkbox"/> Poorly	<input type="checkbox"/> Not at all
-------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------

Question 2-5: Do you know what the thematic map is?

<input type="checkbox"/> Well	<input type="checkbox"/> Fairly	<input type="checkbox"/> Poorly	<input type="checkbox"/> Not at all
-------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------

Question 2-6: Do you know what the GIS is?

<input type="checkbox"/> Well	<input type="checkbox"/> Fairly	<input type="checkbox"/> Poorly	<input type="checkbox"/> Not at all
-------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------

Question 2-7: Do you know how to calculate the annual growth rate?

<input type="checkbox"/> Well	<input type="checkbox"/> Fairly	<input type="checkbox"/> Poorly	<input type="checkbox"/> Not at all
-------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------

Question 2-8: Do you know what the age dependency rate is?

<input type="checkbox"/> Well	<input type="checkbox"/> Fairly	<input type="checkbox"/> Poorly	<input type="checkbox"/> Not at all
-------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------

Question 2-9: Do you know how to calculate the real distance by using the scale of map?

<input type="checkbox"/> Well	<input type="checkbox"/> Fairly	<input type="checkbox"/> Poorly	<input type="checkbox"/> Not at all
-------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------

Question 2-10: Do you know what the functional region is?

<input type="checkbox"/> Well	<input type="checkbox"/> Fairly	<input type="checkbox"/> Poorly	<input type="checkbox"/> Not at all
-------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------

For official use only

Royal Government of Cambodia

Establishment Listing in Phnom Penh, 2006

Instructions for Enumerators

National Institute of Statistics, Ministry of Planning
Phnom Penh, Cambodia
September 2006

Establishment Listing in Phnom Penh, 2006

Instructions for Enumerators

1. Introduction

Establishment Listing in Phnom Penh, 2006 (EL2006) is a first attempt of constructing a comprehensive list of establishments in selected industries such as Mining and Quarrying, Manufacturing, Electricity, Gas and Water. EL2006 will provide a clear picture of the industry development in Phnom Penh including small and medium enterprises. It is expected that the list is used as the sampling frame of further establishment surveys or industrial production surveys.

National Institute of Statistics (NIS), Ministry of Planning has implemented three industrial establishment surveys in the reference years of 1993, 1995 and 2000. These surveys provided important information of the Cambodian economy. It is also one of the most important sources of estimating National Accounts. However, unfortunately, Cambodia has no establishment statistics after 2000 Industrial Establishment Survey. EL2006 will be the first step of reconstructing establishment statistics in Cambodia.

EL2006 is implemented by NIS with technical support of Japan International Cooperation Agency (JICA) under the Project on Improving Official Statistics in Cambodia.

2. Objectives

EL2006 is conducted to provide a comprehensive list of establishments in selected industry in Phnom Penh, which will serve the purpose of providing necessary information on the industrial development in the municipality for those who work for or are interested in the economic development of Cambodia, such as policymakers, government officials, researchers, NGOs, the private sector and the donor community. Specifically, the survey aimed at generating the following items.

1. name of establishment
2. address (district, commune, village; street number and house number if available)

3. the number of workers
4. industry

All tables based on the survey items above will be generated for each of the industry groups covered in EL2006, at the municipality level as well as for specific district. The following tables are to be developed.

1. Total number of establishment by district and sub-industry
2. The total number of workers by district and sub-industry

3. Scope and coverage

EL2006 is a survey covering establishments that were engaged at any time in the reference year in the following economic activities as classified under the United Nations International Standard Industrial Classification of Economic Activities (ISIC), Revision 3.1:

- Mining & Quarrying (ISIC 10-14)
- Manufacturing (ISIC 15-37)
- Electricity, Gas and Water (ISIC 40-41)
- Hotels & Restaurants (ISIC 55)

With respect to geographical coverage, the survey covered Phnom Penh Municipality.

4. Reference Period

The reference period for EL2006 was the calendar year 2006.

Employment data referred to in the report are averages for all quarters of the reference year during which the establishment was in operation.

5. Survey Planning

First, NIS and JICA experts discussed the approach to reconstruct establishment statistics in Cambodia. We reached the conclusion in which we would develop the sampling frame of establishments first by listing all establishments in a particular area,

and then conducted a series of sampling surveys targeting specified industries there. This conclusion reflects the view that the past establishment surveys lack the comprehensiveness due to unavailability of up-to-date and complete business registers or other list of establishments / enterprises that are a good source of the sampling frame. In 2006, NIS with technical cooperation from JICA is aimed at developing the list of establishments in Phnom Penh and starts sampling surveys in 2007, while the list of establishments of the other area of Cambodia will be compiled in 2008 employing village list and maps developed through Population Census 2008.

Subsequently, the overall plan for listing establishments in Phnom Penh, including objectives, scope and coverage, and survey items are developed. Human resource and time schedule are considered based on the overall plan and the budget constraint. Questionnaire are constructed by NIS and examined through the pre-test jointly conducted by NIS and JICA experts.

Commune maps compiled by NIS in the Health Facility Mapping Project are selected as the maps for recording the location of establishment surveyed.

Training for supervisors and enumerators is held to provide sufficient knowledge and technique for surveying establishment. These trainings focus on identifying of correct location of an establishment on the map, gaining cooperation from an establishment owner and workers as well as a method of asking each survey item.

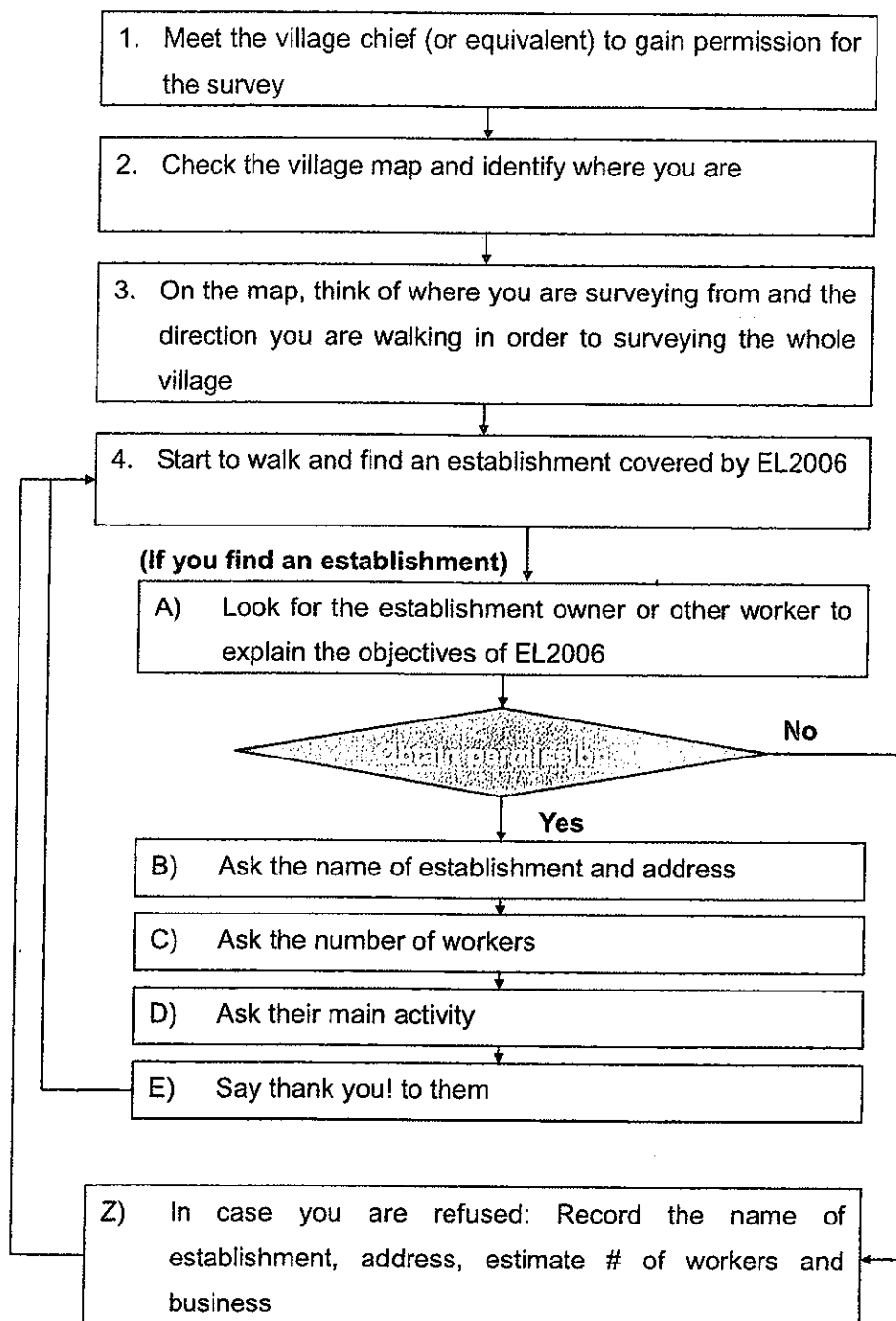
5. Survey Implementation

Fieldworkers are selected from NIS headquarter staff as well as provincial and district planning staff. After the series of training held ****, the actual field enumeration will start from ***** to *****. The field enumeration will be held three times (*****). After each term, the supervisors and the fieldworkers join the meeting to discuss issues they face during the enumeration, and seek solutions for them.

Staff for editing and coding the questionnaire will be selected from NIS headquarters. After three-day training, editing and coding will start in ****.

5. Survey Procedure

The following is the step an enumerator follows when in a village.



A) Look for the establishment owner or other worker to explain the objectives of EL2006

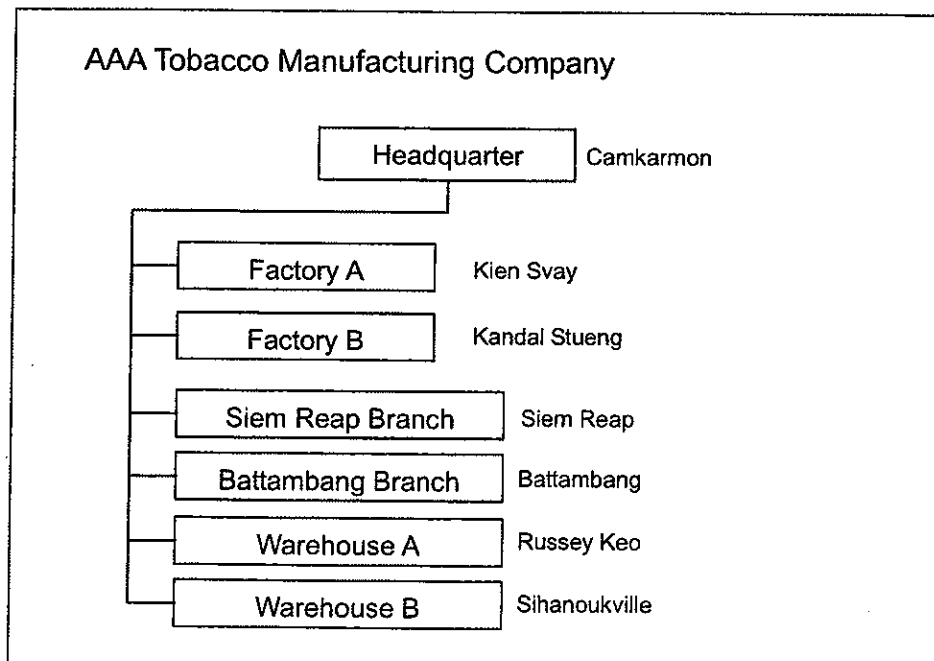
Identify an establishment

You are asked to identify all establishments in a village operated at the time of your visit.

Establishment is defined as below:

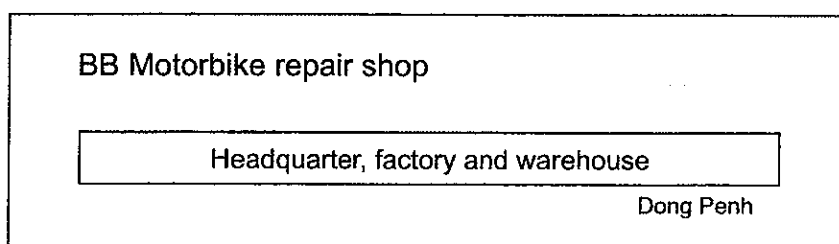
Establishment is an economic unit, which engages, under a single ownership or control, i.e. under a single legal entity, in one or predominantly one kind of economic activity at a single fixed location.

An establishment refers as an economic unit at a single location, such as a factory, mine, or store which produces goods or services. It is engaged predominantly in one type of economic activity. If an enterprise has many branches, factories and warehouses in different locations, each of the locations is regarded as 'an establishment'.



Each of the location, Headquarter, two factories, two branches and two warehouses are regarded as an establishment, even if they are all under the same enterprise.

Please note that some enterprises have headquarters and some divisions (such as a factory, branch and warehouse) in the same location. In such as case, the headquarters including some divisions are regarded as a single establishment.



On the other hand, you could find many enterprises that have only a single location where every operation is done.

Ask for cooperation

After meeting an owner or other worker of an establishment you identify, you must explain EL2006 in order to obtain understanding and permission for the survey. The success of this step will make a good influence on gaining support of the future NIS surveys as well.

Please explain the following:

- **Who you are:** You are from National Institute of Statistics (NIS), a responsible organization in Royal Government of Cambodia for providing useful data used for socio-economic development of Cambodia (show your ID if required)
- **Objective:** The objective of the survey is to obtain data on how many number of establishments in many industries there are in Phnom Penh and how they are contributing to economic development of Cambodia

Please explain the following if you feel difficult to obtain cooperation from a respondent:

- **Independent from tax authority:** The objective of the survey is NOT related to tax collection purpose
- **Legal background:** This survey is a part of so-called 'Establishment Census' determined in Statistical Law enacted in 2005. An respondent is obliged to answer the question and NIS keeps secret of the information which can specify a
- **Survey items and Length of survey:** We ask only four questions including Name, Address, the number of workers and the kind of activity done by an establishment, which will be completed within five minutes.
- **Dissemination:** We will make the result of data available to people early next year.

Sometimes you may not obtain understanding from a potential respondent. In such a case, you should record the establishment based on the information from the outside of its premise or asking its neighbors roughly about the establishment (see details in '**Z) In case you are refused**').)

B) Ask the name of establishment and address

After successfully obtaining cooperation from a respondent, you first confirm the name and address of an establishment.

- **Name:** Ask the name of an establishment registered in a business register formally obtained by a relevant ministry. One good way is to ask them to show the permission from a ministry. If a respondent do not provide its formal (registered) name,
 - record the name shown on its signboard (if available)
 - ask him/her how to call an establishment by themselvesor
 - ask the name of an establishment owner
- **Address:** Record House No. and Street No. of an establishment if

available.

After that, please do not forget to draw the location of the establishment on the village map.

C) Ask the number of workers

The number of workers is identified as that in the day of your visit to an establishment. It must be distinguish with male and female.

The following includes in workers of an establishment:

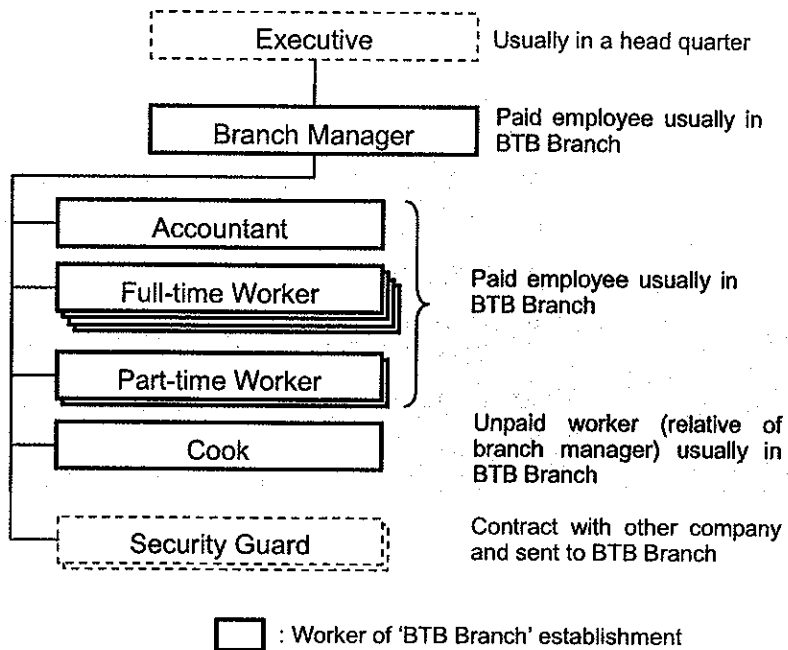
- the person(s) who own or manage an establishment
 - and mainly work within a premise of an establishment
- the persons who are hired by an owner or a manager of an establishment
 - and mainly works within a premise of an establishment
 - and mainly works outside of a premise of an establishment (but not a different premise of an enterprise that an establishment is controlled by) but they come back mainly in an establishment or their manager is in an establishment

The following DOES NOT include in workers of an establishment:

- the person(s) who own or manage an establishment
 - and mainly work within a premise of an different establishment
- the persons are NOT hired by an owner or a manager of an establishment
 - but mainly works within a premise of an establishment

Please see the example below.

Workers of Battambang (BTB) Branch in AAA Tobacco Manufacturing Company



This example is to show who are included as workers of an establishment.

D) Ask their main activity

The main activity of an establishment is asked and recorded in a word, but later in NIS headquarter office, is converted to the four-digit code of International Standard Industry Classification (ISIC) Version 3.1. To accomplish the conversion, it is important to identify the following:

- **What they are dealing with:** What kind of goods or materials they are producing, or repairing, or what kind of services they provide
- **What they are doing:** Produce products, repair products, provide a service or sell product

If you find an establishment and there are many motorbikes there

- What they are dealing with?
 - Motorbike (finished good)
 - secondhand motorbike
 - Parts of motorbike (battery, saddle, handle,)
 - secondhand parts of motobike
 - Others (gasoline, insurance,)
- What they are doing?
 - Manufacturing
 - ◇ Factory
 - Repair
 - ◇ Maintenance yard
 - Recycle
 - ◇ Collecting scrap motorbike
 - Service
 - ◇ Rental shop
 - ◇ Gas station
 - ◇ Washing station
 - ◇ Insurance dealer
 - Retail
 - ◇ Motorbike shop

If you find a factory processing some food or drink...

- What they are dealing with?
 - Food
 - Beverage
 - Tobacco

- If food, you must determine the product from the following:
 - meat or meat product
 - fish or fish product
 - fruit or vegetable
 - grain mill
 - starches or starch product
 - prepared animal feeds
 - bakery products
 - sugar
 - cocoa, chocolate or sugar confectionery
 - noodles

- If beverage, you must determine the product from the following:
 - spirits; ethyl alcohol production from fermented material
 - wine
 - malt liquors and malt
 - soft drink; mineral water

Especially, very detailed information is required to identify good / material / service they provide (in order to convert the information to ISIC Ver 3.1 code).

Obtain the main activity from the process

It is usual to operate different kind of activities in an establishment. And different establishment within the same enterprise operate different activities. To obtain the main activity of the establishment, you need to find an activity that contributes the biggest or the major portion of the gross output or sales of the establishment (theoretically, the contribution must be measured based on 'value-added', which is practically difficult to ask to a respondent.)

Two different types of establishments that operate different kind of activities should be considered:

- Different kind of activities (or productions) are operated in an establishment
- Production process of a single good contains different activities (called 'vertical integration')

E) Say thank you ! to them

Please do not forget this!

Z) In case you are refused

You should record an establishment based on the information from the outside of its premise, if you are refused to ask you about the establishment. To do that

- See the signboard or address plate of the establishment
- Ask its neighbors roughly about the establishment
- **Name and Address:** See the signboard or address plate. If impossible, just ask its neighbor the name of an establishment or name of an owner of an establishment.
- **The number of workers:** Estimate rough number of workers by

looking at a premise of an establishment or ask its neighbor, and write down with the following category.

A) 1 – 10 persons

B) 11- 100 persons

C) 101 – persons

- **The main activity:** You can just imagine its activity by looking at a premise of an establishment, or ask its neighbor.

カンボジア国政府統計能力向上計画
2006年10月時点での評価指標測定結果(暫定結果分)

2006年10月30日

表1 Overall Goal (上位目標) に関する現時点での測定結果

指標	測定結果	入手手段・備考
1. NIS の実施する統計調査数・頻度	周期調査: 年次 2 件 四半期 1 件、 月次 1 件 単発調査: 2 件	NIS 資料より(2006 年実施分) <ul style="list-style-type: none"> ・ Annual Household Socio-economic Survey (2006 年以降年次実施) ・ Annual National Accounts (年次) ・ Quarterly National Accounts (四半期毎) ・ Consumer Price Index (月次) ・ Cambodia Injury and Accident Survey (単発) ・ Establishment Listing in Phnom Penh (単発)
2. NIS が作成する統計資料数・作成頻度	継続性あり: 年次 3 件 月次 1 件 不定期 2 件 単発: 1 件	NIS 資料より(2006 年刊行分) <ul style="list-style-type: none"> ・ National Accounts (年次) ・ A Poverty Profile of Cambodia 2004 (年次) ・ Cambodia Statistical Yearbook 2005 (年次) ・ Monthly CPI Bulletin (月次) ・ Quarterly National Accounts: March Quarter 2003 to September Quarter 2005 (不定期刊行) ・ Caminfo Version 2.1 (不定期更新) ・ Cambodia Demographic and Health Survey 2005 Preliminary Report (単発)
3. 統計刊行物の発行部数及び販売数	2,879.55 ドル(2006 年 1 月～、月平均約 360 ドル)	NIS 資料

指標	測定結果	入手手段・備考
4. NIS ホームページの更新頻度、アクセス数	<p>主要更新頻度：2005年8月以降3回（Cambodia Demographic and Health Survey, Analysis of CIPS Results, Cambodia Socio-Economic Survey に関するコンテンツを各回で追加）</p> <p>アクセス数：35,698件（2005年8月～現在）</p>	NIS 担当者へのヒアリング結果より

表2 Project Purpose（プロジェクト目標）に関する現時点での測定結果

指標	測定結果	入手手段・備考
1. NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び主要関係省庁統計担当職員のうち、政府統計について一定の知識・能力のある職員数	<p>合計(実数)：296名</p> <p>NIS 職員：102名</p> <p>計画省州事務所統計担当職員：84名</p> <p>主要関係省庁統計担当職員：110名</p>	プロジェクト資料(政府統計に関連する知識・スキル習得が主要目的の研修コース[政府統計基礎研修、統計調査企画研修、調査結果利用研修、統計分析研修、地域統計利用研修]を完了した受講者数として算出)
2. NIS 職員、計画省州事務所統計担当職員及び主要関係省庁統計担当職員のうち、統計ソフトウェア、パーソナルコンピュータについて一定の知識・能力のある職員数	<p>合計(実数)：207名</p> <p>NIS 職員：110名</p> <p>計画省州事務所統計担当職員：29名</p> <p>主要関係省庁統計担当職員：68名</p>	プロジェクト資料(統計ソフト、パーソナルコンピュータに関連する知識・スキル習得が主要目的の研修コース[政府統計基礎研修、統計調査集計研修、統計利用手法研修]を完了した受講者数として算出)

表3 Output（成果）に関する現時点での測定結果

指標	測定結果	入手手段・備考
1-1 基礎統計に関する 研修実施回数、参 加者数	研修実施回数： ＜計画＞3回 ＜実績＞3回 参加者数： ＜計画＞120名 ＜実績＞123名	プロジェクト資料
1-2 研修参加者の基 礎統計に関する理 解度	＜開始時平均＞47点 ＜終了時平均＞73.5点	プロジェクト資料
2-1 NIS 職員に対する 統計調査企画に関 する研修実施回数、 参加者数	研修実施回数： ＜計画＞3回 ＜実績＞3回 参加者数： ＜計画＞50名 ＜実績＞53名	プロジェクト資料
2-2 研修参加者によ り実施された統計調 査企画作業の達成 度	現在実施中（調査区設定に関して は、2006年9月末現在で24州中 8州について完了、現在新たに4 州にて実施中）	プロジェクト資料
3-1 集計に関する研修 実施回数、参加者 数	研修実施回数： ＜計画＞1回 ＜実績＞1回 参加者数： ＜計画＞30名 ＜実績＞33名	プロジェクト資料
3-2 研修参加者によ り実施された集計プ ログラム作成作業 の達成度	2006年11月以降実施予定	プロジェクト資料

指標	測定結果	入手手段・備考
4-1 統計調査の分析手法に関する研修実施回数、参加者数	研修実施回数: <計画>3回 <実績>3回 参加者数: <計画>90名 <実績>94名	プロジェクト資料
4-2 研修参加者の統計調査の分析手法に関する理解度	<開始時平均>47.2点 <終了時平均>72.5点	プロジェクト資料
5-1 統計調査の結果提供に関する研修実施回数、参加者数	研修実施回数: <計画>2回 <実績>2回 参加者数: <計画>60名 <実績>64名	プロジェクト資料
5-2 研修参加者の統計調査の結果提供に関する理解度	<開始時平均>31.8点 <終了時平均>60.4点	プロジェクト資料
5-3 NISの統計調査結果の提供数	合計:7件 継続性あり:年次3件、 月次1件、 不定期2件 単発:1件	NIS資料(2006年刊行分) <ul style="list-style-type: none"> ・ National Accounts (年次) ・ A Poverty Profile of Cambodia 2004 (年次) ・ Cambodia Statistical Yearbook 2005 (年次) ・ Monthly CPI Bulletin (月次) ・ Quarterly National Accounts: March Quarter 2003 to September Quarter 2005 (不定期) ・ Caminfo Version 2.1 (不定期更新) ・ Cambodia Demographic and Health Survey 2005 Preliminary Report (単発)

指標	測定結果	入手手段・備考
5-4 主要関係省庁におけるNISの統計調査結果の利用数	関連省庁での利用に供すると考えられるNISの主要4調査(Population Census、Intercensal Population Survey、Socio-Economic Survey並びにNational Accounts)のうち、平均2.25調査(56%)が利用されている。また、13人の回答者のうち、9人(69%)が、当該調査を「頻繁に」または「時々」業務に利用するようになったとしている。	プロジェクト資料(4省庁の計13人へのインタビュー結果に基づく)
6-1 経済統計調査結果の評価及び事業所調査に関する研修実施回数、参加者数	現在実施中	プロジェクト資料
6-2 研修参加者の経済統計調査結果の評価及び事業所調査に関する理解度	現在実施中	プロジェクト資料
7-1 地域統計に関する研修実施回数、参加者数	研修実施回数: ＜計画＞3回 ＜実績＞3回 参加者数: ＜計画＞55名 ＜実績＞71名	プロジェクト資料
7-2 研修参加者の地域統計に関する理解度	＜開始時平均＞53.7点 ＜終了時平均＞81.2点	プロジェクト資料

商業省統計課におけるヒアリング（基本事項）

1. ヒアリングの相手方

Mr. Uy Sokharath, Director, Statistics and Information Department, MoC

Mr. Seng Vutha, Chief, Statistics and Information Department, MoC

Ms. Nirng Vachna, Ms. Thach Maria, Mr. Yim Rom, Ms. Salak Thum,

Ms. Som Samphors, Statistics and Information Department, Moc

Mr. Kim Net, Bureau Chief, Bureau of Social & Labor Statistics, NIS

2. ヒアリングの日時

平成 18 年 10 月 16 日 午前 9 時～

3. 聴取事項

商業省は、カンボジア省庁の 1 つである。商業省統計課は同省の 13 の課 (Department) の 1 つとして所在している。

(1) 商業省統計課の職員数

商業省内に統計専属の職員が 25 名配置されている。

(2) 商業省の人事・採用

商業省の職員は、基本的には商業省で独自に採用している。

(3) 商業省統計課職員の教育レベル

大学院卒 7 名、その他の職員は大卒である。

(4) 商業省統計職員の研修歴

本プロジェクトによる研修が初めての統計研修であった。

(5) 商業省の PC 配置数

商業省には PC が 11 台配置されている。そのうち、1 台がインターネット回線に接続されている。E-mail アドレスは 1 つある。

また、利用している PC の OS は、WindowsXP である。

(6) 商業省統計課の主な統計業務

① Import and Export Statistics (Annual)

E U の税関に対する支援により、データの収集が円滑に進んでいる。

2 ケタの HS コードを使用している。

② Company Registration (Annual)

③ International Price (Annual)

(7) 商業省統計課の主な統計刊行物 (独自のもの)

- ① Import and Export Statistics (Annual)
- ② Company Registration (Annual)
- ③ International Price (Annual)

省の独自予算で刊行しているものの、予算不足のため、大使館等に配布できない。また、省内でも7部しか配布できていない。有料配布はしていない。

CG Meeting (カンボジア支援国会議) からの資料要求がある。WTO からの資料要求はない。

(8) 商業省統計課職員のPC利用度

統計課職員の全員がパソコンを利用可能である。

(9) 研修の必要性

統計研修、IT研修が必要である。

4. 商業省における問題点

本統計課には以下の問題点がある。

- (1) 刊行物の予算が少ない。
- (2) 統計及びIT研修が不足している。
- (3) 外国からの専門家を招聘することが必要である。

商業省におけるヒアリング（研修内容）

本質問表は、受講者の本研修に対する率直な意見を聴取し、本研修の改善に資することを目的としている。

1. 本研修の中で、現在又は将来の業務に有用と思われる内容は、どのような事項であったか。該当する教材の単元名や項目名、その事由などを下欄に記入する。（複数回答可）

- EXCELによる計算式 EXCELによる統計表の作成・更新

2. 本研修の中で、不要と思われる内容は、どのような事項であったか。該当する教材の単元名や項目名、その事由などを下欄に記入する。（複数回答可）

- 特になし _____

3. 本研修の中に追加してほしい内容は、どのような事項か。その事項名や項目名、その事由などを下欄に記入する。

（複数回答可）

- Statistics Literacy (Terminology) _____

4. 本研修のセッション数は、適当であった。「はい」又は「いいえ」のいずれかを○で囲む。

- はい 半日の研修は都合がよい。午後の勤務が可能なので。
 いいえ → 何セッションぐらいが適当だと思いますか。 _____セッション

5. その他、本研修もしくは研修全体に関して意見等。

本研修の終了後、受講者が Import & Export Statistics (Annual) の報告書を EXCEL化した。これにより、報告書の刊行の早期化及び合理化ができた。したがって、本研修の成果は十分に上がっており、今後も研修の継続を希望する。

観光省統計課におけるヒアリング（基本事項）

1. ヒアリングの相手方

Mr. Kong Sopheareak, Acting Director,
Statistics and Tourism Information Department, MoT
Mr. Monh Ty, Deputy Chief,
Statistics and Tourism Information Department, MoT
Mr. Tum Monirath, Mr. Seng Sithikun,
Statistics and Tourism Information Department, MoT

Mr. Kim Net, Bureau Chief, Bureau of Social & Labor Statistics, NIS

2. ヒアリングの日時

平成 18 年 10 月 16 日 午後 3 時～

3. 聴取事項

観光省は、カンボジア省庁の 1 つである。観光省統計課は同省の 11 の課 (Department) の 1 つとして所在している。

(1) 観光省統計課の職員数

観光省内に統計専属の職員が 3 名配置（課の正規職員は 8 名）されている。

(2) 観光省の人事・採用

(3) 観光省統計課職員の教育レベル

大卒 2 名、その他の 1 名の職員は高卒である。

(4) 観光省統計職員の研修歴

Tourism Satellite Account (TSA、ADP Project)、I T 研修 (JICA、日本)、
統計研修 (Bangkok)

(5) 観光省の P C 配置数

観光省には P C が 6 台配置（うち旧型 4 台）されている。そのうち、2 台がインターネット回線に接続されている。E-mail アドレスは 5 つある。

また、利用している P C の O S は、WindowsXP（2 台のみ）である。

(6) 観光省統計課の主な統計業務

- ① Tourism Statistics（毎月）
- ② Web-Development
- ③ Press release

(7) 観光省統計課の主な統計刊行物 (独自のもの)

- ① Tourism Statistics (Annual) 1992 年版以降
月報は公表資料のみ。
- ② パンフレット

(8) 観光省統計課職員のPC利用度

統計課職員の2名がパソコンの利用が可能である。ただし、プログラミングはできない。

(9) 研修の必要性

TSA研修、Web-Development 研修 (本プロジェクトの研修期間より長く詳細な研修) が必要である。

4. 観光省における問題点

本統計課には以下の問題点がある。

- (1) 人材の不足。
- (2) 専門家の不足。

観光省におけるヒアリング（研修内容）

本質問表は、受講者の本研修に対する率直な意見を聴取し、本研修の改善に資することを目的としている。

1. 本研修の中で、現在又は将来の業務に有用と思われる内容は、どのような事項であったか。該当する教材の単元名や項目名、その事由などを下欄に記入する。（複数回答可）

- Survey Design Population Statistics
 EXCEL Formulation

2. 本研修の中で、不要と思われる内容は、どのような事項であったか。該当する教材の単元名や項目名、その事由などを下欄に記入する。（複数回答可）

- _____ _____

3. 本研修の中に追加してほしい内容は、どのような事項か。その事項名や項目名、その事由などを下欄に記入する。

（複数回答可）

- Web-Development Tourism Survey

4. 本研修のセッション数は、適当であった。「はい」又は「いいえ」のいずれかを○で囲む。

ア はい 半日の研修は都合がよい。午後の勤務が可能なので。

イ いいえ → 何セッションぐらいが適当だと思いますか。 _____セッション

5. その他、本研修もしくは研修全体に関して意見等。

○他省庁がレベルの高い職員を研修に出していないので、講師は低いレベルで講義をしなければならないようであった。（上級コースの増設が必要）

○研修項目をもっと絞った方がよい。

コンポントム州計画局統計課におけるヒアリング（基本事項）

1. ヒアリングの相手方

Mr. Treng Savuth, Director of Planning Department, Kampong Thum

Mr. Oum Ein, Deputy Director of Planning Department, Kampong Thum

Mr. Sin Samnag, Bureau Chief of Statistics Unit, Planning Department, Kampong Thum (Participant of JICA Training Course)

Mr. Tong Kin, Staff of Statistics Unit, Planning Department, Kampong Thum (Participant of JICA Training Course)

Mr. Hem Sokum, Staff of Statistics Unit, Planning Department, Kampong Thum (Participant of JICA Training Course)

Mr. Kim Net, Bureau Chief, NIS

2. ヒアリングの日時

平成17年10月17日 14:15～15:15

3. 聴取事項

コンポントム州計画局は、各州に所在する計画省直轄の州事務所の1つである。コンポントム州計画局統計課は同事務所（職員18名）課の1つとして所在している。また、郡計画事務所の職員19名を含めると、コンポントム州の計画省職員数は合計37名である。

コンポントム州は、首都プノンペンから約200km北に位置しており、トレンサップ湖の東側に面している。

(1) 州事務所統計課の職員数

州事務所内に統計専属の職員が3名配置されており、また郡計画事務所（8か所）では1～2名の（必ずしも統計専属ではない、統計と計画の担当）統計担当職員が配置されている。

なお、統計職員のほか、コンポントム州計画局のほぼ全員（37名）が1998年人口センサスの経験がある。

(2) 州事務所の人事・採用

州事務所の職員は、基本的には地元採用の者である。（現在はいないがプノンペンから派遣される場合もある。）

(3) 州事務所職員の教育レベル

全員高卒以下である。

(4) 州事務所職員の研修歴

統計職員のうち1人が、NISでの全体的な統計研修（General Course）を受けている。

(5) 州事務所のPC配置数

州事務所には中古のPCが10台配置されている。しかしそのうち8台が故障しており、稼動しているのは2台のみである。2台ともインターネットへは接続しておらず、E-mailアドレスも保有していない。

また、利用しているPCのOSは、Windows98である。

なお、既存のパソコンの保守、サービスは、簡単な修理はコンポントムで行っているが、多くの場合はプノンペンへ修理に出している。

(6) 郡(District)計画事務所のPC配置数

郡計画事務所にはPCが配置されていない。

(7) 州事務所統計課の主な統計業務

- ①NISから指示される調査の実施 (Socio-Economic Survey, Population Listing)
- ②郡Profile及びCommune Profileの作成
- ③Commune及びVillageのデータ収集
- ④CPIのデータ収集 (最近始まったばかり)

(8) 州事務所統計課の主な統計刊行物 (州独自のもの)

- ①郡 (District) Profile
- ②Commune Profile

(9) 州事務所統計課職員のPC利用度

州事務所職員のうち6名がパソコンを利用可能である。

(10) 行政区域の境界線の変更状況 (1998年人口センサス以降)

- ①州(Province)の境界線の変更はない。ただし、変更計画はある。
- ②郡(District)の数に変更はなく、郡の境界線の変更はない。
- ③Communeの数は80で、その境界に変更はない。
- ④Villageの数は増加し737 (うち承認されているVillageは732) となった。この増加は人口増加によるものである。2008年人口センサスでは、新たな調査区地図が必要である。コンポントムでは人口増加に伴い、経済活動も活発になっている。また、郡部には病院等の施設がないため、これが都市部への人口移動を促進している。

(11) 小地域統計に対するニーズ

小地域の統計については、州政府からの需要がある。特に州都であるStung Sen郡の統計に対するニーズが大きい。Commune別データのニーズも高く、貧困地域の生活水準向上を図るための基礎資料として必要である。その他、民間企業が稲作経営に投資するための基礎データとして利用されている。

(12) 研修の必要性

統計分析、基礎統計、パソコン等の研修が必要である。
特にコンピュータプログラミングの研修を希望している。

4. コンポントム州事務所における問題点

コンポントム州計画局長の言では、本事務所には以下の問題点がある。

- (1) 州事務所 (借上げの建物) の設備が古く、メンテナンスが必要である。
- (2) ITに関する設備が不足している。

コンポントム州計画局統計課におけるヒアリング（研修内容）

本質問表は、受講者の本研修に対する率直な意見を聴取し、本講義の改善に資することを目的としている。

1. 本講義の中で、現在又は将来の業務に有用と思われる内容は、どのような事項であったか。該当する教材の单元名や項目名、その事由などを下欄に記入する。（複数回答可）

- EXCEL WORD
 実務の Village Frame (Village Name DB 2008) が教材に使用されたこと。

2. 本講義の中で、不要と思われる内容は、どのような事項であったか。該当する教材の单元名や項目名、その事由などを下欄に記入する。（複数回答可）

- 特になし _____

3. 本講義の中に追加してほしい内容は、どのような事項か。その事項名や項目名、その事由などを下欄に記入する。

（複数回答可）

- (英語) _____

4. 本講義のセッション数は、適当であった。「はい」又は「いいえ」のいずれかを○で囲む。

ア はい 半日の研修は都合がよい。午後、復習が可能なので。

イ いいえ → 何セッションぐらいが適当だと思いますか。 _____セッション

5. その他、本講義もしくは研修全体に関して意見等。

- ・ MS-OFFICE のバージョンが本研修と職場では異っているため、研修内容が職場では生かせない部分がある。
- ・ 数学の授業が難しい。(学校卒業後、長期間が経過しているため。)
- ・ 英語での授業は通訳がついていても難しく、進行も速い。
また、テキストが英語であるため復習が難しい。
- ・ PC を使うのは初めてであったので難しい。
また、職場には PC がないので、復習できなかつた。
- ・ DSA は妥当な金額であった。

コンポントム州における調査区実地踏査

本プロジェクト（フェーズ1）では、カンボジア 2008 年人口センサスも支援しており、その活動の中に調査区設定に対する技術協力が含まれている。フェーズ1は、2006 年度末で終了するため、終了時評価作業の一環として、調査区設定作業時に作成された Village map 及び EA map（調査区要図）の精度を確認するために、調査区の実地踏査を行った。今回、実地踏査を行った場所は、コンポントム州である。

1. 実地踏査の場所

コンポントム州(Kampong Thum Province)
スタンセン郡(Stung Sen District)
コンボンロー(Kampong Rotes Commune)
コンボンロー村(Kampong Rotes Village)

2. 実地踏査の日時

平成 17 年 10 月 17 日 16:30～17:30

3. 実地踏査への随行者

スタンセン郡計画事務所統計職員
コンボンローCommune 評議員(Commune Councilor)
コンボンロー村長(Village Chief)

4. 問題点等（別添 Village map 参照）

(1) Village map 及び EA map の記入誤り

- ①地図に記入されている道路が、実際には既になくなっている。
- ②地図には記入されていない道路がある。
- ③調査区境界にズレがある。地図では道路が境界となっているが、実際にはフェンスが境界である。
- ④その土地のランドマークである Commune Office が地図には記入されていない。
- ⑤家が記入されている場所と実際の場所にズレがある。

(2) Village map 及び EA map の記入内容が同じ

本来、EA map の方が Village map よりも詳しく記入されるべきであるが、記入内容が同じであった。

(3) 衛星写真や航空写真では判別できない道がある

道の上が木々で覆われている場合があるので、このような場合は、衛星写真や航空写真では判別できない。

(4) 道の整備状況が悪いため、雨季などは水溜りで通行できない。

プルサット州計画局統計課におけるヒアリング（基本事項）

1. ヒアリングの相手方

Mr. Chhim Phaveit , Director of Planning Department, Pursat
Bureau Chief of Statistics Unit, Planning Department, Pursat
Participants of JICA Training Course

H.E. San Sy Than, Director-General, NIS

Mr. Kim Net, Bureau Chief, NIS

Ms. Zeynep Orhun, Associate Statistician, Statistics Division, UNESCAP

2. ヒアリングの日時

平成 17 年 10 月 19 日 14:00～15:30

3. 聴取事項

プルサット州計画局は、各州に所在する計画省直轄の州事務所の 1 つである。プルサット州計画局統計課は同事務所（職員 19 名）の 5 つの課の 1 つとして所在している。また、郡計画事務所（6 か所）の職員 16 名を含めると、プルサット州の計画省職員数は合計 35 名である。

プルサット州は、首都プノンペンから約 200km 北に位置しており、トレンサップ湖の西側に面している。

（1）州事務所統計課の職員数

州事務所内に統計専属の職員が 5 名配置されており、また郡計画事務所（6 か所）があるが、このうち 2 か所の事務所では、統計職員が引退したため、現在は統計職員がいない。統計職員がいる事務所には 1～3 名の（必ずしも統計専属ではない、統計と計画の担当）統計担当職員が配置されている。

なお、統計職員のほか、プルサット州計画局のほぼ全員が 1998 年人口センサスの経験がある。

（2）州事務所の人事・採用

州事務所の職員は、全員地元採用の者である。

（3）州事務所職員の教育レベル

大卒の職員は 2 名であり、それ以外は高卒者である。

（4）州事務所職員の研修歴

統計職員のうち 1 人が、NIS での全体的な統計研修（General Course）を受けている。

(5) 州事務所のPC配置数

州事務所には中古のPCが5台配置されている。5台ともインターネットへは接続しておらず、E-mailアドレスも保有していない。

また、利用しているPCのOSは、WindowsXPが3台、Windows98が1台、Windows95が1台である。

なお、既存のパソコンの保守、サービスは、プルサットで行っている。

(6) 郡(District)計画事務所のPC配置数

郡計画事務所にはPCが配置されていない。ただし来年PCを配置する計画はある。

(7) 州事務所統計課の主な統計業務

- ①NISから指示される調査の実施 (Socio-Economic Survey, Population Listing)
- ②郡Profile及びCommune Profileの作成
- ③Commune及びVillageのデータ収集

(8) 州事務所統計課の主な統計刊行物 (州独自のもの)

- ①郡 (District) Profile
- ②Commune Profile
- ③Population Statistics (Annual)

(9) 州事務所統計課職員のPC利用度

州事務所職員のうち10名がパソコンを利用可能である。

また2名のITスタッフがおり、JICAの研修へも参加している。

(10) 行政区域の境界線の変更状況 (1998年人口センサス以降)

- ①バタンボンとの州(Province)の境界線に変更あり。
Ministry of Urban Constructionによる行政管理上の問題。
- ②郡(District)の数に変更はないが、境界変更あり。
- ③Communeの数は49で、境界変更あり。
- ④Villageの数は減少し501となった。
プルサットの人口は、1998年人口センサス以降、減少している。2008年人口センサスでは、新たな調査区地図が必要である。

(11) 小地域統計に対するニーズ

小地域の統計については、州政府からの需要がある。

(12) 研修の必要性

Mapping (District別主題図)、パソコン等の研修が必要である。

4. プルサット州事務所における問題点

プルサット州計画局長の言では、本事務所には以下の問題点がある。

(1) PCが不足しているため、地方へPCを配置して欲しい。

現在ではPCを利用可能な職員も増えており、また、セキュリティ面でも問題はない。

さらに、エアコンも設置が可能であり、PCの設置環境には問題ない。

(2) 若手職員を中心に研修が不足している。

プルサット州計画局統計課におけるヒアリング（研修内容）

本質問表は、受講者の本研修に対する率直な意見を聴取し、本講義の改善に資することを目的としている。

1. 本講義の中で、現在又は将来の業務に有用と思われる内容は、どのような事項であったか。該当する教材の単元名や項目名、その事由などを下欄に記入する。（複数回答可）

- 人口データの収集方法 EXCELによるグラフの作成方法
 人口密度、人口増加率などの基本的な人口統計の算出方法

2. 本講義の中で、不要と思われる内容は、どのような事項であったか。該当する教材の単元名や項目名、その事由などを下欄に記入する。（複数回答可）

- 研修に使用されたデータが1968年のデータで古すぎる。

3. 本講義の中に追加してほしい内容は、どのような事項か。その事項名や項目名、その事由などを下欄に記入する。

（複数回答可）

- 出生率の算出方法 統計分析の手法

4. 本講義のセッション数は、適当であった。「はい」又は「いいえ」のいずれかを○で囲む。

ア はい 半日の研修は都合がよい。復習する時間があるため。

イ いいえ → 何セッションぐらいが適当だと思いますか。 _____セッション

5. その他、本講義もしくは研修全体に関して意見等。

- ・ 本研修の受講後、EXCEL等により Commune Profile の作成が改善された。
- ・ Monthly Population Listing、Consumption and Investment Price (CIP)の計算、Socio-Economic Survey の実施等に本研修で習得した知識を利用している。
- ・ DSA は適当。

プルサット州における調査区実地踏査

本プロジェクト（フェーズ 1）では、カンボジア 2008 年人口センサスも支援しており、その活動の中に調査区設定に対する技術協力が含まれている。フェーズ 1 は、2006 年度末で終了するため、終了時評価作業の一環として、調査区設定作業時に作成された Village map 及び EA map（調査区要図）の精度を確認するために、調査区の実地踏査を行った。今回、実地踏査を行った場所は、プルサット州である。

I. サンパウミー郡(Sampaov Meas District)

1. 実地踏査の場所

プルサット州(Pursat Province)

サンパウミー郡(Sampaov Meas District)

プチャープライ (Phteah Prey Commune)

チャムカー チェイ カン トボン村(Chamkar Chek Kang Tbong Village)

2. 実地踏査の日時

平成 17 年 10 月 19 日 16:30～17:30

3. 実地踏査への随行者

サンパウミー郡計画事務所統計職員

プチャープライ Commune 評議員(Commune Councilor)

チャムカー チェイ カン トボン村長(Village Chief)

4. 問題点等（別添 Village map 参照）

(1) Village map 及び EA map の記入誤り

①道路が実際には地図とは反対方向に曲がっている。

②道路の辻にある家は目印として大変重要であるが、地図には記入されていない。

(2) 当該 Village の範囲しか記入されていない

①周辺の Village との隣接地域は地図に記入しておくべきである。

例えば、道路が当該 Village の外まで続いているが、当該 Village の範囲しか記入されていないので、地図では行き止まりのように見える。また、Village 境界線の対面には、良い目印となる学校が隣接しているが、地図には書かれていない。

(3) Village map 及び EA map の記入内容が同じ

本来、EA map の方が Village map よりも詳しく記入されるべきであるが、記入内容が同じであった。

Ⅱ. バカン郡(Bakan District)

1. 実地踏査の場所

プルサット州(Pursat Province)

バカン郡(Bakan District)

スナンプリー(Snam Preah Commune)

アンドンソンボー村(Andong Sambour Village)

2. 実地踏査の日時

平成 17 年 10 月 20 日 9:30～10:25

3. 実地踏査への随行者

バカン郡計画事務所統計職員

スナンプリー Commune 評議員(Commune Councilor)

アンドンソンボー村長(Village Chief)

4. 問題点等（別添 Village map 参照）

(1) Village map 及び EA map の記入誤り

①地図には記入されていない道路（通り抜け可能又は行き止まり）がある。

家などのランドマークがないため、調査区境界になっている道路と行き止まりの道路の違いは、地元の人でないと区別がつけられない状況である。

②家が記入されている場所と実際の場所にズレがある。

(2) 当該 Village の範囲しか記入されていない

①周辺の Village との隣接地域は地図に記入しておくべきである。

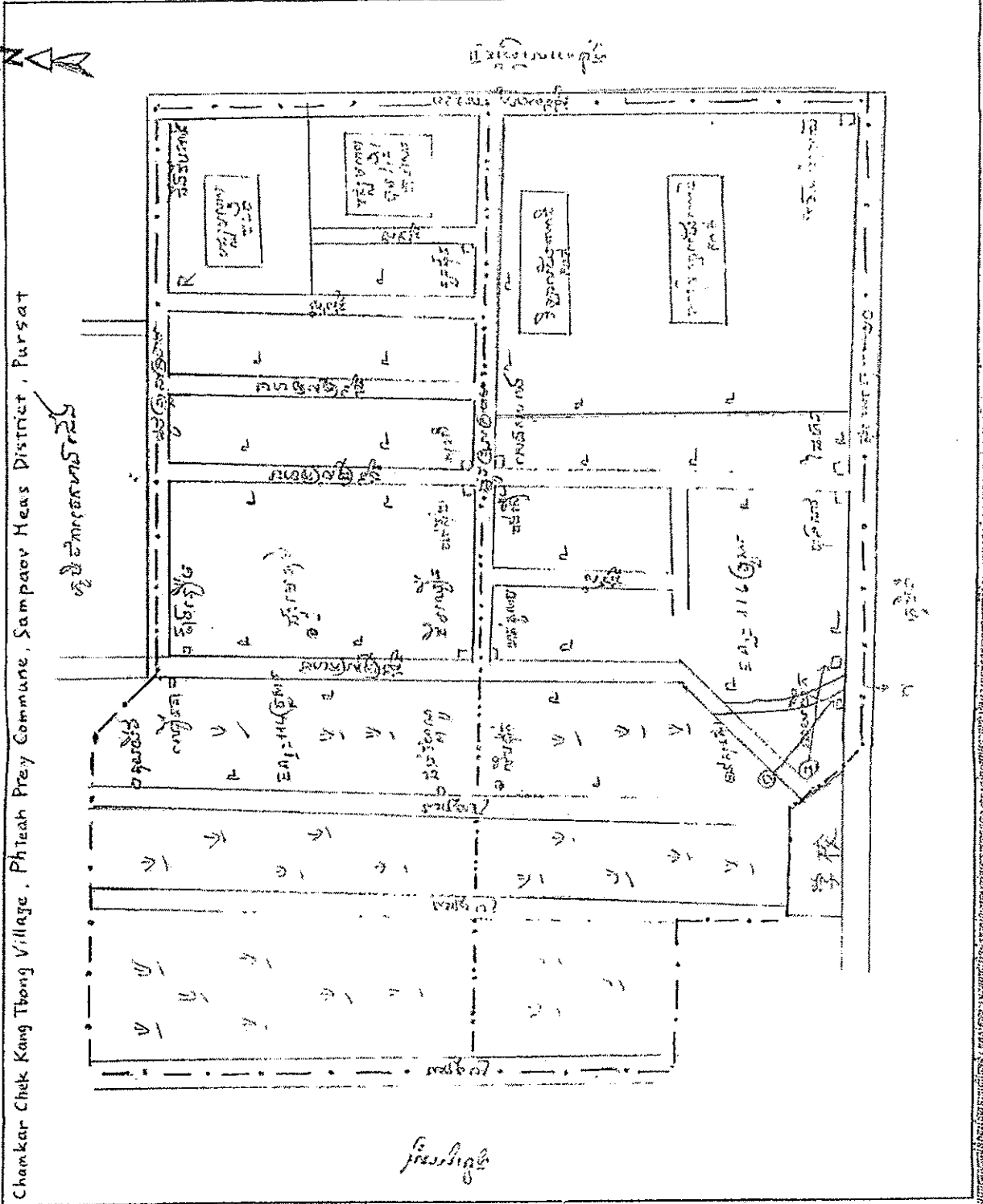
例えば、道路が当該 Village の外まで続いているが、当該 Village の範囲しか記入されていないので、地図では行き止まりのように見える。

(3) Village map 及び EA map の記入内容が同じ

本来、EA mapの方が Village mapよりも詳しく記入されるべきであるが、記入内容が同じであった。

พื้นที่ ๓๗๘	พื้นที่ ๐.๕	พื้นที่ ๐.๑๕	พื้นที่ ๐.๓๕	พื้นที่ ๐.๑๕	พื้นที่ ๐.๑๕	พื้นที่ ๐.๑๕	พื้นที่ ๐.๑๕	พื้นที่ ๐.๑๕
----------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

ถนน ๗/๓๗๘๐๑๕

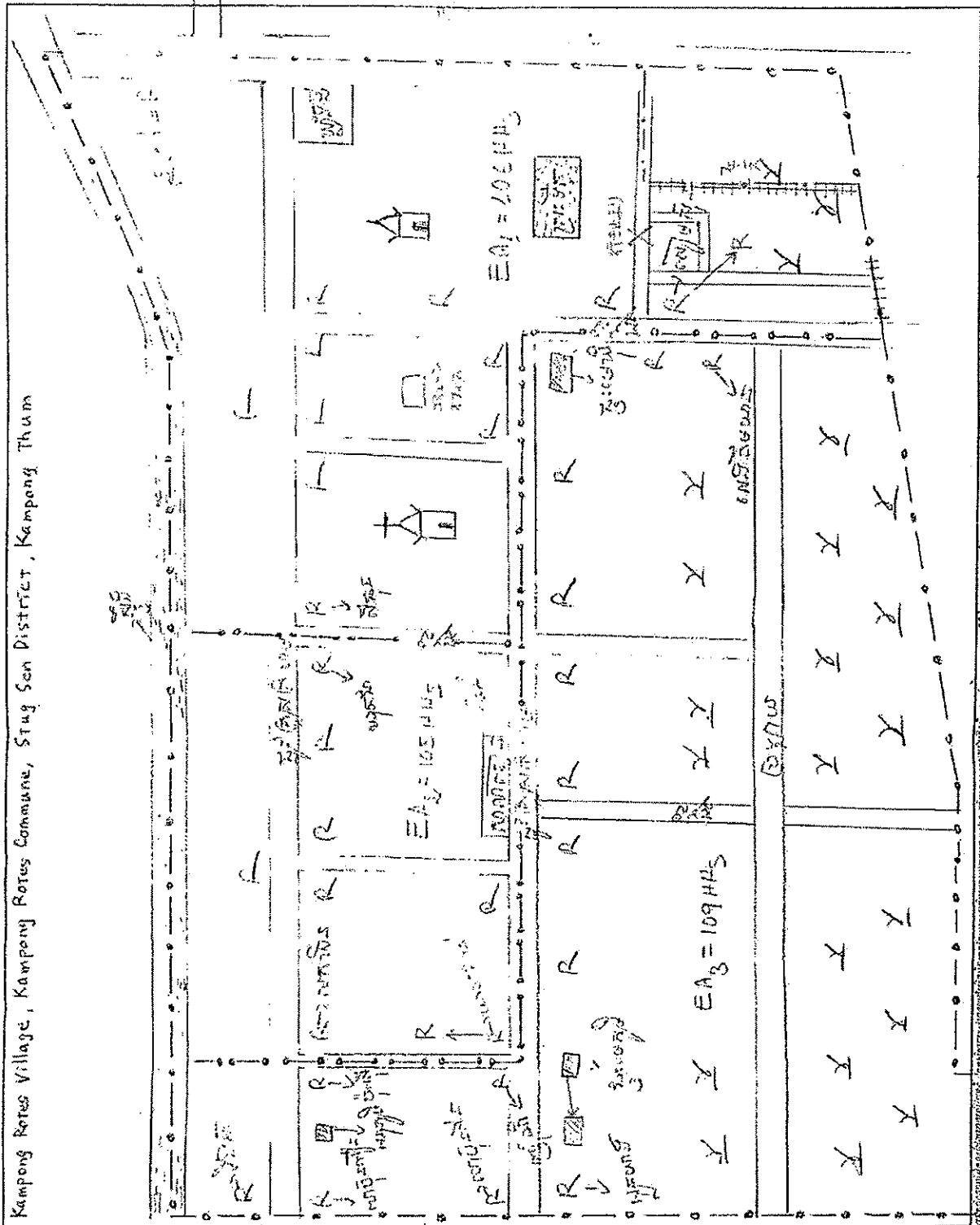


1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10

ឃុំ/សង្កាត់	ឃុំ/សង្កាត់	ឃុំ/សង្កាត់	ឃុំ/សង្កាត់	ស្រុក/ខេត្ត
ស្រុក/ខេត្ត	ស្រុក/ខេត្ត	ស្រុក/ខេត្ត	ស្រុក/ខេត្ត	ស្រុក/ខេត្ត
លេខផ្លូវជាតិលេខ	លេខផ្លូវជាតិលេខ	លេខផ្លូវជាតិលេខ	លេខផ្លូវជាតិលេខ	លេខផ្លូវជាតិលេខ
លេខផ្លូវក្រសួង	លេខផ្លូវក្រសួង	លេខផ្លូវក្រសួង	លេខផ្លូវក្រសួង	លេខផ្លូវក្រសួង
លេខផ្លូវក្រសួង	លេខផ្លូវក្រសួង	លេខផ្លូវក្រសួង	លេខផ្លូវក្រសួង	លេខផ្លូវក្រសួង

ផែនទីប្រជាជន



ស្រុក/ខេត្ត	ស្រុក/ខេត្ត	ស្រុក/ខេត្ត	ស្រុក/ខេត្ត
លេខផ្លូវជាតិលេខ	លេខផ្លូវជាតិលេខ	លេខផ្លូវជាតិលេខ	លេខផ្លូវជាតិលេខ
លេខផ្លូវក្រសួង	លេខផ្លូវក្រសួង	លេខផ្លូវក្រសួង	លេខផ្លូវក្រសួង

១) ប្រជាជន
 ២) ប្រជាជន
 ៣) ប្រជាជន

លេខផ្លូវជាតិលេខ: ៣៧
 លេខផ្លូវក្រសួង: ៣៧
 លេខផ្លូវក្រសួង: ៣៧